

難関中学対策

社会の最強攻略本

合格戦略を
大公開!!

難関中学受験 社会科専門塾

ガチシャカ!

目次

開成中学校	P 2 ~ P 32
桜蔭中学校	P 33 ~ P 50
慶應義塾中等部	P 51 ~ P 72
慶應義塾普通部	P 73 ~ P 98
慶應義塾湘南藤沢中学校	P 99 ~ P 126
早稲田中学校	P 127 ~ P 147
早稲田実業中等部	P 148 ~ P 173
豊島岡女子中学校	P 174 ~ P 193
青山学院中等部	P 194 ~ P 220
浦和明の星女子中学校	P 221 ~ P 234

転載・コピー・譲渡等の禁止

本冊子「社会の最強攻略本」は、弊社にて難関中15年分の過去問を独自に分析したものです。個人または学習塾などの教育関係者・法人が、本紙から得た情報を一般公開（電子メディアによる配信・複製・複写・転載・加工・販売・当ファイルを第三者へ譲渡・学習塾の授業や面談およびパンフレットなどでの利用）することを禁止します。

開成中学校

15年間の入試分析 社会科の傾向と対策とは？

開成中学校の社会科のポイント

試験の特徴—試験時間・配点・問題数

- ・試験時間は40分
- ・70点満点
- ・解答小問数は約70問
- ・1問に約36秒の解答時間
- ・ここ数年、地理の難易度が上昇し、時間が足りないのが特徴

開成中学校の社会科の難易度は？

開成中は難関中学校の割に社会科の入試は時間が余ることがよく聞かれます。

しかし、ここ数年にいたっては、問題の解答数が70問、地理に至っては難易度が急上昇しています。つまり、難易度がアップ、相まって解答数も多いことから時間が足りない、余裕がないことがあげられます。もちろん、この傾向はいつまで続くかわかりません。しかし、他の難関中学校でも難易度がアップしているため、そう簡単にやさしくなるとは思えません。入試は難化していると思われるので、過去のこと（昔はそれほど難しくはなかった）に引きずられることなく、この数年のレベルに準じた対策をすることが有効です。

開成 15 年間に出了記述問題 (地理・歴史・公民)

R 2

【地理】 多くの地域が () の江戸川区はほとんどの地域が浸水する。

【地理】 (1) 合流式の下水道ではどのようなときに処理しきれない下水が川や海に流れてしまうか。

(2) 東京都では、(1) にあげた欠点がある合流式の下水道がなぜ整備されたのか。

H 3 1

なし

H 3 0

【地理】 地場産業における同業者集積のメリットとは？

H 2 9

【歴史】 江戸時代、日本から朝鮮へはどの藩を通じ、朝鮮のどの都市に渡ったか。

【歴史】 江戸時代、江戸に大名屋敷が置かれた理由

【地理】 中国の発展に伴い、人件費が高騰していることを空欄補充する

【公民】 訪日外国人に対し「消費税の免除マーク」の絵があり、これは何かを説明する

H 2 8

【地理】 東京の勝鬃橋が 1970 年以降開かれなくなった理由を 10 文字以内で 2 つ説明

【地理】 液化天然ガスを日本に輸入する際、なぜ天然ガスを液化するのか？

【地理】 2011 年以降、日本に液化天然ガスの輸入量が大幅に増加している理由

H 2 7

【歴史】 朝鮮戦争によりなぜ日本の景気がよくなったのか？

H 2 6

【歴史】 征夷大將軍のもともとの役割とは？

H 2 5

【地理】 日本企業がアジアに工場を移転して生産を拡大するメリットとは？

H 2 4

【歴史】黒曜石の分布より、縄文時代の人々がおこなっていたこととは？

【地理】ダムを1つ書く

【公民】関税とはどのような税のことか

【地理・公民】農業関係者らがTPPの加盟に反対する理由を説明

H2 3

【歴史】木簡に記載してある語句があり、それを抜き出し、木簡の使用目的を書く

【地理】高速道路の無料化について問題文の空欄に補充する問題

H2 2

【歴史】1925年の選挙改正でどのような人に選挙権が与えられたか

【歴史】非核三原則をすべて書く

【公民】国会はどのような地位を有しているか2つ書く

H2 1

【歴史】東大寺の正倉院に奈良時代の戸籍が残存している理由

【地理】2つの雨温図を比較し、気候と降水量の季節の移り変わりを説明

【地理】2つの日本の分布図が、どのような分布図かを説明

H2 0

【公民】この国会（当時）の議長は何党の議員から選ばれたのか。

なぜその政党から選ばれたのかを書く。

H1 9

【地理】関東内陸工業地域を選んだ理由を15文字以内で書く

【歴史】中里貝塚ではどのようなことが行われていたと考えられるか。

H1 8

【地理・歴史】人口ピラミッドより、aとbで示した世代の人口の様子について説明する

【地理】羽田空港全体を北東方向に拡大・移転させたおもな理由を2つ書く

H1 7

【地理】北海道に示された都市がこの40年間に約10分の1に減少した。その理由を地域の産業と結びつけて説明する

地理の記述のポイント

●「産業」が重要ポイント

産業の発展に伴う人件費が高騰

産業の海外移転に伴うコストカットと国内の産業の空洞化

産業の集積のメリット・デメリット

産業構造の変化

●「輸送（輸送する場所も）」が出題

空港の移転や拡張

高速道路の無料化

資源の輸送

河川における物資輸送の衰退

●気候（雨温図）・人口は開成の地理で頻出、記述でも出題されている。

今後も出題が予想されるので、この分野は必ずやっておくこと。

歴史の記述のポイント

●記述の解答の中に「移動」が伴うことが頻出されている。

H29 対馬から釜山への移動

参勤交代にて大名が江戸へ移動

H27 軍需物資の調達（移動）

H24 縄文人の交易に伴う移動

H23 調を都まで運搬するための移動

●縄文時代が2回出題されている。

15年間で縄文時代が2回出題されているのが特徴。

縄文時代は注視しておくこと。

●開成中はクセがある。「大嶋郷」というキーワードが2回出ている。

公民の記述のポイント

公民の出題率は少ない。時事と絡むことがみられる。

●「税」の出題が目立つ → 消費税・関税について過去出題されている

●「国会」が出題されている

時事をからんでいることがある

地理のポイントと対策とは？

地理は難易度が高い

開成の地理は難易度が高いです。

とくに H31・H30 はグラフの複雑で受験生は頭を悩ませたはず。

ここ数年は、地理・歴史・公民において、地理が一番難しく、時間がかかる。いかに地理を正確に速く解答できるかが、開成中の社会科の合格のポイント。

地理の大問は1つ（解答数は約25問）

ここ数年、地理の大問は1つであり、解答数は25問前後で推移しています（2020年は地理の解答数が13問と少なかった。年度によって異なるのが開成の特徴。また、地理と歴史は年によって順序が変更したり、融合する場合もある）

地理の割合は？

解答数は全体が70問としたら、地理の割合は30～40%（年度によってバラバラでもある）

本番の試験時間の使い方には要注意！

この数年、地理は複雑で時間がかかる問題（H31・30）が目立つ。

開成中はひと昔前、全体的にやさしく、過去問の解説などを読むと時間が余るなど書いてあったが、この数年は話が180度変わってしまった。

とにかく時間が足りないのが、今の開成中の試験。特に、地理！

2020年は問題数こそ少なかったものの、作図や記述、計算問題と、時間がかかる問題が出ている。しかも、この年は地理が最後の大問で出題されていた。これも出題者の意図である。公民や歴史の基本問題を大量に出題し、疲れ切って、時間が少なくなったところで、一気に難しい問題を出してきたのです。

だからこそ、地理以外のものをゆっくりやっていると最後に時間がなくなるし、

地理は時間がかかると思って試験に取り組まなければならないのです。

地理の解答時間を15分（2020年は10分。年度によって時間配分も異なる）とすると、1問36秒しかない。あくまでも15分というのは目安であり、実際はあと5分必要になってくると思われる。

時間配分にいかに気をつけないと、全体の時間配分にも影響を及ぼすので注意が必要なのです。

漢字指定がある

毎年1～2問、漢字の指定が問われる。ふだん勉強するとき、記号問題でも「漢字」で書くようにすること。そうすれば自然と漢字指定の対策になる。すべての解答を漢字で書くくらい、気にかけることが大切。

地理の「出る分野」を押さえる！

- 国名
- 南鳥島
- 森林
- 災害
- 公害
- 世界遺産
- 輸入品・輸出品
- 東京の特別区
- 計算問題
- 人口・人口増加率
- 船舶
- 北海道の農産物
- 防風林
- 米作り
- 伝統工芸品
- 港
- 工業
- 地形図
- 自給率
- 気温・雨温図
- 河川
- 国後島
- 緯度・経度
- 農産物のデータ
- 県・都市の特徴
- 自動車の保有台数
- 第1・2・3次産業
- 水産業

- ダム
- 外国人・観光客
- 発電
- 海流
- 交通

地理のポイントは、事前の準備ができるかどうか

ここ数年の開成中の社会のポイントは、難易度を突破できるかどうか（そのくらい地理は難しいと
思ってた方が良かったです）。そのため、時間が足りないのが現状。

過去問で時間配分を体得（皮膚感覚で時間をつかむ）することが重要（とくに2020年、H31・
H30の地理の難易度を想定して本番に向かうことをすすめます）。

地理の問題を解く時間は15分程度が目安（最大でも20分）これ時間以上、地理に時間をかけら
れない。

頻出の「地理の出る分野」は徹底しておく。なぜなら、事前に出そうなところをやっておくことで、
問題の解く速さが速くなるから。また、ミスをしにくくなる。

でも、普段はゆっくりていねいな勉強を心がける（普段は正確さ・理解度を中心にやる）。試験2ヶ
月前から解くスピードを速くしていくこと（速くするというの自分ではわかりにくいので、必ず
タイマーをつけてやる）

地理「出る分野の順位」

- 1位 輸入品・輸出品
- 2位 工業
- 3位 気温・雨温図
- 4位 人口・人口増加率
- 5位 計算、緯度・経度

データは最新のを頭に入れる！

開成中は地理のデータ（輸入品・輸出品、農産物、自給率、工業の出荷額、貿易港の輸出・輸入品、人口統計など）が出題される

そのため、地理のデータは最新のを頭に入れておくこと（過去問の古いデータ、とくに10年以上まえのものは覚えてはいけない）。

データは、書籍「日本国勢図会のジュニア版・日本のすがた」を参考にして下さい。

地理はいかに時間を短縮できるかが勝負

歴史は単純問題（一発回答：決してやさしいというわけではなく、解答に至る過程が一回程度で治るという意味）が多いが、地理は解答に至るまで、2～3回の過程を踏む（グラフを読み取るため）。そのため、時間がかかる（解答数も多いのでなおさら）。

時間がかかるということは、歴史や公民の解く時間への影響も出るということ。歴史や公民にもっと時間をかけたいのなら、地理の時間をいかに短縮できるかが重要になってくる。

地理でやってはいけない勉強とは？

- 開成は地理の難易度が上昇していて、地理で合否が決まるくらい重要だとわかっていない。
- 最新のデータを頭に入れていない。
- 出る分野を知らないこと
→ 地理は時間がかかるため知っていると時間の短縮につながる。
- 普段の勉強から試験時間の時間配分を考えていない。
→入試前2ヶ月は速く解く練習、その前は丁寧に取り組むこと。

歴史のポイントと対策とは？

歴史の出題

歴史は、「問題文の空欄補充」・「一問一答」・「絵・写真」・「絵・写真」・「正誤問題（誤っているものを選択がよく出る）」・「四択」・「語句の並べ替え」から出題される。開成中の歴史の勉強法これらを押さえることである。

歴史の出題割合は？

大問1が（基本的に）歴史

歴史の解答数は30～35問（全体が70問）で、40～45%が歴史

歴史の記述のポイント

開成中の記述はどう対策すべきか、わかっているでしょうか？

開成中だから「応用」「難問」と思い、難しい問題ばかりの対策をしていませんか？

これは非常に的外れであり、効率の悪い勉強です。

たしかに記述問題の対策は頭を悩ませます。

どこを勉強すれば受験対策になるのか、どのような分野をやれば点数につながるのかと。

しかしながら、開成中の過去15年を分析すると、ある一定の法則が導けます。

開成中は、「記述の解答の中に「移動」が伴うことが出題されている」のです。

もちろん、このパターンが開成中の歴史にすべて当てはまるわけではありません。

しかし、このパターンが繰り返し出題されているのが事実なのです。

H29 対馬から釜山への移動

参勤交代にて大名が江戸へ移動

H27 軍需物資の調達（移動）

H24 縄文人の交易に伴う移動

H23 調を都まで運搬するための移動

開成中の記述の対策を効率的におこないたいなら、塾の問題集（自分の問題集）などで「移動」に関する問題が出てきたらマークすることです。そしてまとめておくことが重要です。

東京問題が出ていること自体、歴史の出題にはクセがある

社会科は各学校クセがあり、学校ごとのクセが目立ちます。開成中のクセは何と言っても歴史に東京問題が出題されていることです。

開成中は東京問題の対策をしておかなければ点数をとることはできないのです。

東京問題との関連性

開成中の歴史のポイントは、「東京問題」と関連性があることです。

開成中の歴史を勉強するとき、教科書的な「歴史」の勉強だけしては点数につながりません。

教科書的な出題方法と異なる歴史の出題がされるからです。

開成中の歴史で点数をとりたければ、東京問題の歴史をしっかりと取り組んでおくことが重要なのです。

例えば、

東京タワーができた当時の首相は岸信介

増上寺のそばの芝丸山古墳には伊能忠敬の測定の起点の記念碑がある

八重洲の地名はヤン・ヨーステンの屋敷があったことに由来

東京駅丸の内口は原敬が暗殺された場所を示す掲示板がある

日本橋の橋柱の文字は徳川慶喜が書いた

神田明神は平将門を祀った神社

上野公園には西郷隆盛の像がある

明暦の大火のあと、火除け地として広小路がつくられた

寛永寺は比叡山延暦寺をイメージ

近藤勇が官軍の侵攻を防ぐことができなかったのは甲州街道

1940年に夏季オリンピックが予定されていたが、日中戦争の影響で中止

浅草寺は、推古天皇のころ漁民が観音像を拾いあげ祀ったのが始まり

千住大橋の南側の回向院には前野良沢らが死刑者のふわりに立ちあつたことを記念した観臓記念日がある

勝鬨橋は1905年に日露戦争における旅順陥落の祝勝記念として「勝どきの渡し」が設けられたのが由来

新宿の京王電鉄や小田急電鉄は関東大震災後に開通した

開成中の歴史 出る時代順

- 1位 江戸時代
- 2位 明治時代・戦後史
- 3位 平安時代・鎌倉時代
- 4位 戦時中（昭和時代）
- 5位 奈良時代・室町時代・安土桃山時代
- 6位 飛鳥時代・大正時代
- 7位 縄文時代・古墳時代
- 8位 弥生時代・南北朝時代

問題文の長さ・問題形式・漢字指定

ここ数年は2,000文字以上の文字数の問題文が出題されている。

問題形式は、「空欄補充」「正誤問題」「一問一答」「記号の四択」「記述問題」が出題されている。

ただし、問題形式はこれらが均一に出題されるのではなく、その年によって問題形式が異なる。

空欄補充が飛び抜けて多い年もあれば、正誤問題、一問一答が中心の年がある。

年度によって傾向が変わるのが開成中の特徴。

記述問題は出る年と出ない年がある。出ても1問のみ。

漢字指定は年によって異なる。

2020年はなし（算用数字指定が1つあった）、H31は4個、H30は2個となっているが、H29は13個、H28は14個と漢字の指定が多くなっている。

ふだん問題を解くにあたって記号問題であっても漢字で書くこと、また、漢字で書けなかったものは「漢字で書けなかったものまとめ」としてノートなどにまとめておくとよい。

歴史の史料は出るか？

史料＝これは何の史料か？という問題は出題されにくい。

- ① 史料としては、「俳句」や「短歌」が出題されやすい。
- ② 史料が出たとしても、史料の中身が解答になりやすい。

例えば、十七条の憲法や五箇条の御誓文の内容の正誤が出題され、内容（史料でよく出るもの）が正誤で聞かれてくる。

並べ替え問題は出るか？

R 2 ニ・ニ六事件・国連の脱退・アメリカが自国の石油を日本に輸出を禁止を年代順に並べ替え

H 3 0 浅間山の大噴火・太田道灌が江戸城を築く・玉川上水がつくられる・日比谷入江の埋め立てについて、古い順に並べ替え

第一次世界大戦・日中戦争・日露戦争・日清戦争の起こった順に並べ替え

H 2 9 関東大震災・世界恐慌・国連脱退・日中戦争のうち2番目に古い出来事は？

H 2 2 国連脱退・満州事変・南京占領・北京郊外で日中軍の衝突・満州国建国の古い順に並べ替え

H 3 0 には東京問題についての並べ替えが出題されている。それ以外は、明治から昭和（戦前）の戦争や災害についての出来事の並べ替えが出題されている。

並べ替え問題の頻度は低いですが、出題はされているので対策はしておくこと。

絵・写真の問題は出ているか？

- H31 日本と中国の地図（日本へ割譲された地域を選択するものとして使用）
- H30 世界地図（世界の国を選択する解答として使用）
- H29 江戸図屏風として8枚の絵が出題。絵をヒントに問題文の空欄補充をしていく
東海道五十三次の浮世絵4枚が出題。品川宿のものを選択
- H19 開成学園周辺のようすが描かれた「道灌山虫聞之図」
1885年と1899年の日本の輸出品と輸入品の円グラフ

開成中の正誤問題のクセとは？

- ① 理由を聞く問題が出題
- ② 語句そのものを聞く問題が出題
- ③ 時間を聞く問題（時期・その時代の出来事・時間のズレ）が出題

歴史の「出る分野」はこれだ！

縄文時代

- ・記述問題がH24・19で出ている。
- ・正誤問題が出題されており、縄文時代とそうでないものを見分ける力が必要。
- 縄文時代の設問自体は少ない。それにも関わらず、記述の割合が高いのが特徴。

弥生時代

- ・頻度が低いのが特徴。過去15年間で3問（魏・環濠集落・正誤問題が出題）しか出題されていない。
- ・見た目は古墳時代の問題で、古墳時代の誤りを選択という問題で弥生土器の「赤褐色」が聞かれたこともある。

古墳時代

- ・仏教の伝来（百済・聖明王）
- ・古墳の名称（稲荷山古墳は3回出題・大仙古墳の名称と場所）
- ・正誤問題が出題されている。古墳時代のできごと、そうでないものを見分ける力が必要。

飛鳥時代

- ・飛鳥時代の天皇（推古天皇・天智天皇・持統天皇）の設問が出る
とくに推古天皇が頻出（解答にも、選択肢にも多く出題）されている。
天智天皇のできごととして、水城が築かれた理由を選択する問題も出題。
- ・正誤問題が出題されている。飛鳥時代のできごと、そうでないものを見分ける力が必要
- ・聖徳太子自体が解答になることは少ないが、問題文には出てくるので聖徳太子の内容は必ず理解しておくこと。

奈良時代

- ・聖武天皇の「紫香樂宮」が過去3回出題されている。
- ・奈良時代の税に関するもの（とくに租・調・防人・木簡）が記述を含め、細かいところまで出題されている。
- ・その他、日本書紀と古事記・行基、大極殿、平城京が碁盤の目・山上憶良・遣唐使の正誤、などが出題
- 出る分野をカテゴリー分けすると、「聖武天皇の遷都（紫香樂宮）」「奈良時代の税」の2つに大きく分けられる。遷都が「紫香樂宮」だけ聞かれるのは特有なこと。また、奈良時代の税は税率や記述問題など、細かいところまで聞かれるので、時間をかけた対策が必要。
- その他、カテゴリーに分類できないものが多方面から出題。奈良時代は全体を包囲できるような知識が必要。奈良時代の出題の仕方は室町時代に似ている（後述の室町時代を参照）。

平安時代

- ・平安初期のできごと（794年・桓武天皇・金剛峯寺・延暦寺）
- ・菅原道真（名称・京都で亡くなった人でないものを選択）
- ・平将門と神田明神・藤原純友（名称が頻出！）
- ・平泉と義経（名称）
- ・平清盛（大輪田泊・平治の乱・太政大臣・正誤・宋・巖島神社・平家納経）
- ・源平合戦（○○の戦い：富士川・一の谷・壇ノ浦・屋島・石橋山・源義仲）
- 開成中学校は平安時代の頻度が高い（出題率、全体に対する問題数）のが特徴。
- 平安時代の出るところは上記にほぼ分類できる。ポイントがしぼられるため非常に勉強しやすい。これらの勉強を知らないで勉強しては効率が悪く、時間ばかり無駄になる勉強になる。
- 平将門と神田明神は東京問題で何度も出題されている。
- 国風文化や藤原氏、院政の出題が非常に少ない。
- 源平合戦のポイントは、「源頼朝は○○の戦いに勝つ、破れる」と、源頼朝が主語になった戦いがよく出ている。

鎌倉時代

- ・鎌倉の武士（流鏑馬・武芸の訓練・武士の館はまわりが堀・幕府との主従関係・守護と地頭）
 - ・鎌倉という場所（若宮大路・切り通し・伊豆国・鎌倉街道）
 - ・鎌倉仏教（浄土宗・日蓮の題目）
 - ・元寇（北条時宗・弘安の役・元の襲来の正誤・元軍の火薬兵器の有無について）
 - ・北条政子（執権・頼朝の妻・承久の乱での訴え）
 - ・承久の乱（後鳥羽上皇・史料）
- 開成中学校は鎌倉時代の頻度が高い（出題率、全体に対する問題数）のが特徴。
- 御成敗式目、北条泰時、産業と経済（二毛作・定期市）、鎌倉文化、徳政令の出題がこの15年間では見当たらない。開成中は出やすいものは極端にでる一方、出にくいものが急に出ることもあるため、目を通しておくことが肝心。
- 鎌倉という地、鎌倉の武士に関する出題の頻度が高い。この分野は時間をかけて勉強しておくことが重要である。

南北朝時代

過去15年間で2問のみ出題（建武の新政、吉野、足利尊氏と基本問題が出ている）。

室町時代

- ・足利義満のころのできごと（足利義満は2回・世阿弥2は回）
 - ・その他、高利貸し、農村の正誤、応仁の乱、小袖、首里、管領、関東の上杉氏などが出題。
- 出題としては、足利義満の時代の内容が出やすい。そのほかの設問は、出題の内容がバラバラであり、カテゴリーの分類ができないのが現状。また、他の学校で出題される足利義政や銀閣、それに伴う東山文化などは出題されていない。

安土桃山時代

- ・ 戦国大名について (川中島の戦い・今川義元・北条氏と小田原は4回出題・下剋上・分国法の正誤)
- ・ 豊臣秀吉 (1590年・朝鮮出兵・朝鮮侵略の正誤2回・秀吉に関する正誤=解答は刀狩・大阪城の前は石山本願寺・秀吉の位について、征夷大將軍であるかどうか)
- ・ 織田信長は1回だけ出題。解答の選択肢や信長と関連のある人物として今川義元があげられる。
- 安土桃山時代の出題の特徴は、「戦国大名」と「豊臣秀吉」に関する問題が出題されるということです。とくに戦国大名は北条氏、小田原のキーワードが頻発、豊臣秀吉は朝鮮出兵に関する出題が多くみられます(検地や刀狩は出題頻度が非常に低い)。勉強で大切なことは、まずはこれらのことを優先して勉強すること。そして、そのあとに他のこと(織田信長・桃山文化・南蛮貿易)をやっていくこと。つまり、優先順位をたててやるのが肝心。

江戸時代

- ・農業・商業・産業・生活（名主・菜種・農民の全人口の割合・隅田川で花火・勸進相撲・天ぷらなどの屋台・花見）
- ・徳川家康のこと、この時代の出来事（徳川家康を漢字・関ヶ原の戦いの年号・朝鮮通信使とプサン・朝鮮国との交流の記述・朝鮮通信使の正誤・ヤンヨーステン・三河は現在のどこの都道府県かは2回出題・親藩）
- ・徳川家光のこと、この時代の出来事（徳川家光を漢字・武家諸法度・武家諸法度の史料・参勤交代は3回出題・江戸に大名屋敷が置かれた理由とは？・鎖国に至る過程の語句の並べ替え・ポルトガル船の来航禁止）
- ・徳川綱吉のこと、この時代の出来事（徳川綱吉を漢字）
- ・五街道（頻出！とくに最初の宿場町名は絶対に押さえる！）
- ・元禄文化（近松門左衛門は2回出題）
- ・化政文化～幕末（歌川広重・錦絵・打ちこわし・大塩平八郎・天保の改革・ペリーの来航の年は？・日米和親条約・日米修好通商条約の内容2回・安政の大獄・吉田松陰・薩摩と長州・坂本龍馬は2回出題・勝海舟・徳川慶喜）
- ・徳川将軍が出る（秀忠も漢字で書かせた）
- 江戸時代は、開成中の歴史の中で一番出題率の高い時代。
一番多く出題されるからこそ、時間をかけること（時間をかけるといっても試験の傾向に沿った対策に時間をかけるということで、江戸時代の勉強をただ単にやればいいものではない。）
- 東京問題の視点から出題もされやすい（隅田川の花火・杉田玄白の腑分けなど・明暦の大火など）ので、東京問題についてノートにまとめておくとよい。
- 三代改革についての設問はできることはあるが、非常に頻度が低い。
- 元禄文化より化政文化の出題頻度は高い。ただどちらも基礎問題が中心。
- 五街道は非常に出る。最初の宿場町名、宿場町の風景画、どんなルートか、押さえておく。
- 幕末に関しては基本問題が多いので、時系列に出来事をおさえ、そして語句は「漢字」にて書くようにしておく（漢字指定があるため）。
- 徳川将軍（1・2・3・5・15代）の名前を漢字で書かせた。
- 朝鮮通信使に関する問題が、空欄補充・記述・正誤と出題。細かいところまで勉強すること。

明治時代

- ・ 明治時代の初期のできごと (五箇条の五誓文・五箇条の御誓文の内容一致・西南戦争・西郷隆盛が長州出身・征韓論・太陰暦から太陽暦)
- ・ 富国強兵 地租改正 (3%が2回、米価との関係、地租反対一揆・選択肢)
 徴兵令 (20歳以上、徴兵反対一揆・選択肢)
- ・ 殖産興業から産業革命 (富岡製糸場は3回・群馬県・生糸・紡績業)
- ・ 1889年 (年号・1889年と内容一致・伊藤博文)
- ・ 日清戦争 (日本に割譲した地域を選択・下関条約の年号、1896に近いものとして三国干渉
 下関条約の正誤)
- ・ 日露戦争 (旅順が2回、樺太が2回、1902年よりイギリス、日本海海戦、与謝野晶子2回、
 ポーツマスが結ばれたアメリカ)
- ・ 1910年 (年号・朝鮮国を空欄補充)
- 1860年後半～70年後半にかけてのできごと＝「明治初期のできごと」「富国強兵(地租改正と徴兵令が中心)」「殖産興業」の出題率が高い。
- 日清戦争と日露戦争の出題率が高い。
- 日露戦争の出題の割合が高いが、近年は日清戦争の出題率が高い。
- 司馬遼太郎「菜の花の沖」に出てくる正岡子規、秋山兄弟のことは頭に入れておいた方が良い。
 それについて夏目漱石も出題されている。
- 勝鬃橋の東京問題から日露戦争の派生問題も出題されている。東京問題を東京問題のみで終わらせるのではなく、派生問題もやるのが重要。
- 岩倉使節団に関する事、条約改正(2020年に正誤で出題)、自由民権運動、帝国議会の出題は低い。

大正時代

- ・第一次世界大戦（年号・オリンピック中止の理由・日本の捕虜としてハムの作り方を伝えた国は・日本も参戦した、ドイツに宣戦布告した、3・1独立運動・船成金）
- ・普通選挙法（記述・内容一致・治安維持法・普通選挙法の成立は原敬内閣×）
- ・関東大震災（年号・防災の日）
- ・国際連盟の設立（並べ替え）
- ・大正時代のできごと、そうでないものが正誤で聞かれている2回
- 第一次世界大戦の出方が他の学校とは異なるため、細かくやっておくとよい。
とくに「ドイツ」に関することが目につくので、大正時代の日本とドイツの関係は常に意識をおきながら勉強をやることが重要。

昭和時代・戦前

- ・ドイツについて（三国軍事同盟・ポーランドへの侵攻・アウシュビッツ・杉原千畝・米英の戦勝記念は1945年の何月？・ヒトラー・ポツダム宣言）
- ・戦時下の日本の生活状況（学童疎開・身体体重の低下・学校での戦闘訓練・米不足の代替品とは？）
- ・戦前の出来事の語句の並べ替え
- ・満州国の成立から国連脱退の過程
- ・日中戦争（731部隊・盧溝橋事件・南京占領）
- ・太平洋戦争（真珠湾・パールハーバー、東條英機・東京大空襲・広島への原爆投下）
- ・細かい数字（沖縄戦の死者数・ドイツのポーランド侵攻の年号・米英戦勝記念日は何月か？・東京大空襲はいつ？日本軍の南京の占領はいつ？アメリカの日本への石油輸出禁止）
- ドイツについて、日本の戦時下の状況など、出題にひとクセある。
- 語句の並べ替えや細かい数字の穴埋めなど、戦前は「数字」を意識した勉強が大切である。

昭和時代・戦後

- ・民主化政策（小作人・民主化の正誤・GHQの政策にあてはまらないもの）
- ・ソ連について（東側と西側のそれぞれの主義とは・1991年まで存在した・1991年に消滅
 - ・ソ連についての正誤・社会主義国でない国は？・北方領土の国後島を選択・
選択肢にソ連の解体・ソ連の指導者は？・冷戦終結の場所はマルタ島）
- ・朝鮮戦争（警察予備隊創設のきっかけとは？・38度は2回出題・景気がよくなった理由を記述）
- ・サンフランシスコ平和条約（名称が2回出題・1952年に効力を発揮した条約名）
- ・日米安全保障条約（名称・正誤・岸信介・1960年・新安保）
- ・日韓基本条約（名称・年号・選択肢）
- ・1972年（沖縄復帰・日中共同声明）
- ・1960年代（東京オリンピック＝新幹線の一致・正誤）
- ・三種の神器（冷蔵庫・選択肢）
- ・国連の本部の場所2回
- 大正時代や戦前は「ドイツ」についての出題が多く、戦後は「ソ連」の出題が多い。そういった点を勉強するのが受験勉強であり、開成中の受験で点数をとるためのポイントでもある。
- 東西冷戦についての設問（とくに「ソ連」について）が頻出！！ソ連については詳しく勉強しておくこと。また、冷戦にまつわる朝鮮戦争やサンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約もさまざまな角度から出題。多様な問題に触れておくと良い。
- GHQの民主化政策は、正確な内容を頭に覚えておくこと（うる覚えはしないように！）。正誤が出題されやすいので、惑わされないようしっかり頭に覚えておくことが大切。

東京問題のポイントと対策とは？

東京問題とは？

開成中特有の江戸・東京に関する問題です。

江戸時代～現代にかけての歴史や地理が出題されます。

東京問題の勉強法とは？

東京問題をやらないといけません、いきなり「問題を解く」はしてはいけません。

まず大切なのは、東京（東京の歴史）の知識をつけることです。

そこでおすすめしたいのが、以下の書籍です。

●『超雑学 読んだら話したくなる江戸・東京の歴史と地理 安藤優一郎著 日本実業出版』

→ 非常に読みやすく、東京（江戸）の全体像がわかる本です。受験生はこの本を必ず一読してください。

●『新・歩いて見よう東京 五百沢智也著 岩波ジュニア新書』

→ こちらの本から、開成中の過去問の問題文に引用されたことがあります。つまり、この本のレベルが入試のレベルになっています（内容が入試に出るようなものが多いです）

●『東京 江戸紀行 原田興一郎 実業之日本社』

→ こちらの本は開成中で引用したとは書いていませんが、この本の「上野」の内容は過去問にそっくりそのまま出題されていました。この本は読んでおく価値があります。

●『あり先生の名門中学入試問題から読み解く江戸時代 瀧島有著 エネルギーフォーラム』

→ さまざまな学校の中学入試の東京問題をわかりやすく解説・説明している本です。入試直結の知識が得られるのでぜひ読んでみてください。

東京問題で河川は要注意

開成中の試験では、荒川・江戸川・利根川・隅田川・多摩川など東京の河川が聞かれます。

設問の形式は、文章が出題され語句を挿入する空欄補充で河川の名称を出題されたことがある一方、河川の位置、河川の作図、河川の歴史、河川の災害など、多岐にわたってきます。

河川はさまざまな角度から深くやることが重要です。

東京問題はこの分野が出題！

歴史的分野

- 東京オリンピック
- 東京オリンピック関連
- 東京タワー
- 東京駅（丸の内・八重洲）
- 上野
- 御徒町
- 秋葉原
- 神田
- 日本橋
- 五街道
- 浅草
- 新宿
- 東京の地下鉄
- 東京の台地と低地
- 東京の歴史（江戸～東京スカイツリーあたりまで）
- 開成学園の周辺の歴史
- 利根川
- 隅田川
- 多摩川・江戸川
- 両国
- 下総国
- 下総国大嶋郷の戸籍について
- 鐘淵紡績
- 明暦の大火

- 江戸城
- 小池百合子

地理的分野

- 荒川区（位置：地図より選択）・都電の残っている理由
- 東京23区の昼夜間人口について（計算問題も出題）
- 位置 → 東京湾・山手・下町・多摩川・荒川・低地
- 都市災害

公民のポイントと対策とは？

公民が出題されていない年がある（この15年間において）

公民は毎年出題されているわけではない。

以下の年度は公民の出題はなかった（一方、時事の出題はあった）

H19

H28

H29

公民の出題方法とは？

公民は、「記号選択」・「正誤問題」・「一問一答」「空欄補充」から出題される。

公民分野の記述問題の出題は過去15年間で1問のみ。

→ 関税はどのような税かを説明する問題が出題（H24）

「TPPの農家に与える影響」「2007年8月の国会にて参議院の議長選挙がどの政党から選ばれたかを説明」も出題されているが、時事的な要素が含まれている。

公民の出題の割合

解答数は2020年が15問、H31が15問、H30は7問、H29は出題なし、H28は出題なし、H27は8問と、

年度によりバラツキがある。

ただし、平均すると公民は10問程度出題されている。

公民は6～10分程度の時間配分が目安。

公民の出る分野とは？

- 憲法改正（国民投票）
- 平和主義 → 9条の空欄補充
- 憲法の条文 → 1条・13条・96条・97条
- 天皇の仕事
- 新しい人権
- 国会の仕事
- 内閣の仕事
- 裁判所について
- 非核三原則
- 国連について
- NGO・青年海外協力隊

出題頻度と時間配分

問題の構成は、公民が最初に来たり、地理もしくは歴史（地理と歴史の融合）のあとに公民（公民でないときは、地理・歴史・時事の融合）に出題されたり、地理と歴史の中に公民が融合されたりと、毎年構成が異なる。

そのため、時間配分を予測できない学校でもある。過去問を通じ、「構成が変わることが普通」という認識を持ち、時間配分（地理と歴史で30分ちょっとで終わらせなければならない）を意識した演習の取り組みが肝心。

特に、模試は点数がとれた、とれないが重要ではなく、時間配分を意識（時間内に解くことができたかどうか）することが重要。なぜなら、この数年、小問数が60～70問あり、かつ地理が難しいため時間に押されてしまう傾向があるからである。模試は時間配分を考えるのに最適なものとして位置付けることが望ましい。

公民の難易度と勉強方法

レベルは基本問題が中心。また出題の範囲も15年間を分析するとかなりしぼられる(前述を参照)。受験勉強で大切なことは、「基本問題を徹底すること」「出題の範囲(出やすいところ)に時間をかけて押さえること」が大切。出題範囲がせまく、基本事項が中心のため、勉強はしやすいと思われる。

ただし、基本が出るから簡単と高をくくっていると痛い目に合う。なぜなら、張子の虎、つまり、うるおぼえの状態になっているからである。基本は忠実に、1つ1つ確認が絶対である。全体を包括的に理解してはじめて基礎の完成といえる。

塾の学習を忠実に身につける

塾で公民の学習をするときは力を抜くことなく徹底して取り組みましょう。

小学5年の後半から小学6年にかけて算数や国語の苦手分野が思うように克服できず、あせっている子がたくさんいます。算数・国語は今のうちに!となり、算数・国語に時間をかけていきます。そうすると、しわ寄せになるのは公民です。あとでやればいい、何とかかなると思ひ、復習がおろそかになるのです。

公民はあとからやる時間はありません。最後にやろうと思っても、あせって手につかなくなります。大切なのは、授業と並行し、身につけるべきものはその時期にやってしまうことです。本気で取り組んだものはすぐ思い返せますが、適当に勉強したものは思い返すどころか、頭にすら入っていないことさえあります。

成績のことで悩みの多い時期ですが、目の前のことを後回しにせず、一つひとつ丁寧に身につけていって下さい。

開成中の時事は「何」が出ているのか？

時事そのものを聞く

軽減税率（一問一答・漢字）

バルセロナを中心とする州で分離独立の賛否の住民投票をした州の名を書く（一問一答）

民泊（一問一答）

阿蘇カルデラ一帯が「ジオパーク（空欄補充）」に認定

西之島新島（一問一答）

TPP について（内容の正誤・環太平洋パートナーシップ協定の環太平洋の空欄補充・TPP の加盟国・TPP 加盟による国内の農業への影響を記述）

八ッ場ダムの位置（地図より選択）

2008年（試験の前年）に日本人2名が受賞したノーベル賞は何賞か（一問一答）

外務大臣の職についたことのない人で小池百合子（一問一答）

東京都知事で小池百合子（一問一答）

外国人・外国語

●日本にいる外国人の登録者数・静岡県ではブラジル人が多いこと・沖縄県ではアメリカ人が多いこと・外国にいる日本人の数（日本にいる外国人、外国にいる日本人を把握している省庁は？）

●駅の標識に何語が書かれているか（標識の言語を見て言語を答える）

ロシア語のあいさつ・韓国語のあいさつの外国語の表記を選択

選挙・国会

2009年（試験の前年）の衆議院選挙の内容について（民主党の選挙のスローガン・民主党の選挙公約の内容・議席を伸ばしたみんなの党）

2007年（試験の前年）8月の臨時国会にて参議院の議長は何党から選出されたか。

気温

(試験の前年の) 8月に最高気温を記録した都市の名前を書く

開成中の時事の対策はどうすればいいか？

開成中の時事は傾向がバラバラである。そのため、何が出るか見当がつかないというのが作者の回答である。しかし、深く分析すると、時事のほとんどは「地理の出る分野」「公民の出る分野」から出題されていることがわかる。

時事は対策をしなければいけない一方、見当違いの勉強をしていては時間の無駄である。

時事の勉強をするときは、まずは「地理の出る分野」「公民の出る分野」の時事に関するものを勉強していくことが的外れの勉強にならないのではないかと思う。

ぜひ、参考にしてみてください。

地理の出る分野

- 国名 ● 島 ● 森林 ● 災害 ● 公害 ● 世界遺産 ● 輸入品・輸出品
- 東京の特別区 ● 計算問題 ● 人口・人口増加率 ● 船舶 ● 米作り
- 伝統工芸品 ● 港 ● 工業 ● 地形図 ● 自給率 ● 気温・雨温図 ● 河川
- 緯度・経度 ● 農産物のデータ ● 県・都市の特徴 ● 自動車の保有台数
- 第1・2・3次産業 ● 水産業 ● ダム ● 外国人・観光客 ● 発電
- 海流 ● 交通

公民の出る分野

- 憲法改正 (国民投票) ● 平和主義 ● 憲法の条文 ● 天皇の仕事 ● 新しい人権
- 国会の仕事 ● 内閣の仕事 ● 裁判所について ● 非核三原則 ● 国連について
- NGO・青年海外協力隊

下線部は過去に出題されているものです。時事でその範囲があれば注意しておくこと。

桜蔭中学校

15年間の入試分析 社会科の傾向と対策とは？

桜蔭中の社会科のポイント

試験時間・配点・問題数

- ・試験時間は30分
- ・60点満点
- ・小問数（解答数）は約50問
- ・1問につき36秒（30分を50問で割ったもの）しかかけられない。

桜蔭中の記述問題のクセを知らずに受験勉強していますか？

- R2 地理2問
歴史2問（奈良時代1問・大正時代のもの2問）
- H31 地理1問（表向きは江戸時代の問題だが、解答は地理的思考の問題30文字以内）
歴史2問（歴史は江戸時代から2つ出題で1つが30文字以内）
- H30 地理1問・歴史2問（歴史は2問とも江戸時代から出題）
- H29 地理2問（50文字・30文字）
歴史2問（平安時代・江戸時代のもの1問ずつ出題）
- H28 歴史3問（明治時代のもの50文字以内、昭和の戦時中のものが出題、戦後史）
地理・歴史・公民以外が1問
- H27 地理2問（理由を2つ書く）
歴史1問（江戸時代から出題）
- H26 地理2問
歴史1問（昭和の戦時中から出題）
地理・歴史の融合1問（繊維産業の後発国の利点について30文字）
- H25 地理1問（指定された3つの語句をすべて用いて説明する）
歴史1問（鎌倉時代と江戸時代の融合）
- H24 地理1問（問いに対し、自分の考えを書くもの）
歴史1問（江戸時代から出題・20文字以内）
- H23 地理1問（30文字以内）
歴史1問（24文字以内で記述。明治時代の出来事であるが、その出来事の原因は江戸時代の条約の話）

- H2 2 地理2問（1つは地理の分野。もう1つは地理の分野から出題だが、解答は江戸時代の知識が必要）
 歴史2問（鎌倉時代の「ご恩」の説明・戦後史の1946年の選挙の内容）
- H2 1 地理1問（30文字以内）
 歴史2問（どちらも江戸時代から出題）
- H2 0 地理1問（「表」と「指定された語句」を用いて記述）
 歴史1問（弥生時代）
- H1 9 地理2問
 歴史2問（平安時代・鎌倉時代）
- H1 8 地理1問
 歴史1問（安土桃山時代の検地の「ます」について）
- H1 7 地理2問（日本の工場の分布とその理由）
 歴史2問（江戸時代から出題：日本と琉球藩の関係・中国と琉球藩の関係）

- 記述問題の文字数指定は平均的に30～50文字。ただし、年度によっては100文字近く書かせた年もある。
- 桜蔭中の記述は「クセ」がある。単純に知識を問うような問題よりも、思考問題（問題文自体がクセがある）が頻出している。問題文を見て考え、文字に落とすまで、記述問題に当てられる時間は2分程度。これが桜蔭中の記述の難しさである。
- 毎年、地理と歴史から記述が出題される。ただでさえ時間がない（試験時間は30分）のに、記述、それも50文字も出題されるので、記述に慣れておく必要がある。
- 公民の記述はこの15年間出題はない。
- 歴史の記述は50%が江戸時代から出題されている。そのほかで多いのは平安時代と鎌倉時代、昭和の戦前。江戸時代からの出題が突出しているので、江戸時代の記述対策は江戸のことをすべてやればよいものではない。
 江戸時代で出題されるのは「経済」「産業」「貿易」が中心。とくに農民に関する話（人馬の提供・糞便の肥料・商品作物・作物作りの技術向上・干鰯）は頻出！また、貿易である「日米和親条約の港の開港」「領事裁判権の内容」「横浜の港で使われている言語」「日本と琉球、中国と琉球の貿易」が出題されている。時代的には江戸の幕末の内容が多い（錦絵なども出題されているため）。江戸時代が出るんだ？とって、江戸時代の記述を隅から隅までやっても時間のムダである（効率的な勉強法ではない）。まずは出るところに焦点を当て、対策をしていくことが肝心であり、合格するための方法なのである。

大問の構成と重要ポイント

1～4の大問で構成。

最後は公民分野になるが、前半は地理と歴史が分かれているときもあれば、融合した形で出題されることもある。年度によって地理と歴史の出題の傾向が変わる。

傾向が毎年一定ということは過去問から時間配分が想定できる。しかし、大問の構成が違うということは時間配分が想定できない。もっと言えば、見た目が毎年のように異なるので「傾向が変わっている」などと錯覚して焦ってしまうことすらある（出題には一定の傾向がある）。

つまり、大問の構成に変化があるというのは、時間配分の点、傾向が変化しているのではという疑念を持たせる点に影響をもたらす。

前述したように、桜蔭中学校の社会科の傾向は一定のものがあります。大問の構成が変わっているからといって戸惑わず（大問の構成が違うのが普通・変わっていて当然と思うこと）に問題に当たることが肝心です（このような情報を事前に耳に入れ、なるほどと思えば、落ち着いて問題に取り組めるのです）。

正誤問題を「勘」でやっているうちは合格できない

正誤問題の割合が高いのが特徴。

あ～えより当てはまるものを1つ選択が出題される。

→ 時間は40～1分程度しかかけられない。

→ 瞬時の分析・判断能力が問われ、選択肢は1回読んで判断をしなければならない。

見直す時間はない。

漢字はスラスラ書いて当然。悩んでいたらタイムアウト

桜蔭中学校は地理・歴史・公民・時事すべてにわたり漢字の指定がある。

漢字指定の数は年度によって異なるが、平均5～10問出題される。

漢字に強くなるため、自分で問題をやるときは記号問題でも漢字で書くようにする。

本番は速く書こうとするとミスをしやすいため、書いたら必ず見直すこと（ふだんから毎回見直すクセをつけておかないと本番では見直す行為が自然とでなくなる。自然と見直すことができるよう、ふだんから漢字を書いたら逐次見直すようにすること）。

試験時間が30分と制限されている中、漢字指定の数も多いため、漢字を考えていたらその時点で時間はなくなってしまいます。

地理のポイントと対策とは？

地理のポイント

地理は全解答数50問のうち、15～20問出題されている。

試験時間は30分のため、地理にかけられる時間は10～12分しかない。

見直しはもちろん、ゆっくり考えている時間は許されない。

問題文の穴埋めが出る！（6問程度）

問題文は1,000文字程度

前後の文章を読み、いかに「速く」「正確に」空欄を埋められるかが問われる。

出題の方法としては、

- 漢字で書く
- ひらがなで書く
- 記号を選択

地理の出題分野

- 省庁
- 発電に関すること（日本と世界）
- 自然災害
- 自動車
- 移動全般
- 食べ物
- 漁業
- 気候
- カタカナ
- 地形図

「カタカナの語句」はこのように出題される！

R2 ドローン（空欄補充）

H3 1 エコドライブ・シェアリング・水素ステーション
（これらの語句が文章中に適切に使用されているか正誤）

H3 0 光ファイバー（空欄補充・書かせた）

H2 3 ハイブリッド（空欄補充・書かせた）
ゼロエミッション（一問一答形式・記号選択）

H2 1 トレーサビリティ（一問一答形式・書かせた）

H2 0 エコツアー（一問一答形式・記号選択）
ハイブリッドカー（正誤）

- 地理は時事にからめ、「カタカナの語句」が出る！
- カタカナは、「意味」「使い方」をノートにまとめておくこと。
- カタカナの語句をなんでも覚えればよいものではない。

桜蔭中で出題されやすい「自動車」「通信」「環境」「移動」に関する分野のカタカナを中心にまとめていく。

地理は、日本地図・世界地図が出る！ 「都道府県（空港・港）」「河川」 「世界の国（世界の河川）」を1問30秒で 解けるかが桜蔭中攻略のカギ！

都道府県

地理は「都道府県」が出題されます。

出題率をみると、

- 1位 北海道（7回）
- 2位 富山（5回）
- 3位 静岡・沖縄・福井・長崎・東京・兵庫（4回）
- 4位 鹿児島・奈良・青森・愛知（3回）
- 5位 千葉・宮城・茨城・福岡・滋賀・秋田・大阪・岩手・宮崎（2回）

出題の形式は、

都道府県の説明文 → 日本地図から選択

都道府県の説明文 → 都道府県名を漢字で書く（地図から選択しない）

都道府県の説明文 → 都道府県の形と一致させる。

勉強方法は、

- 都道府県は出る順で勉強していく。
- 都道府県ノートをつくり、説明文や上記のことをまとめておく。
問題集をやり、知らなかった説明文はその都度つけたしていく。

日本の港湾・空港

出題形式は、

港湾・空港の説明文 → 港湾・空港の位置を地図より選択

勉強方法は、

- ノートに日本の港湾・空港の説明をまとめ、位置も調べておくこと

河川

過去3回出題（R2・H29・26・24）に出題。

河川の説明文が出て、地図中の河川を選択する内容一致問題。

河川の位置＝内容（上流・中流・下流・河口に何があるか）を頭にいれておくこと。

1回の試験に4～5つの河川の問題が出る。

筑後川が4回出題されている。

十勝川・釧路川・多摩川が解答（河川の場所＝説明文の内容）になるなど、広範囲、かつ細かい対策をしなければならない。

世界の国々

R2 イラクの位置を地図より選択

H31 各国の乗用車の保有台数 → 韓国を選択

イランの位置を地図より選択

H30 日本を訪れる外国人の順位 → 第2位の韓国を選ばせた

H28 インドネシアの説明 → インドネシアの国名を書かせた

H27 ロシア・中国・カナダ → 地図・文章の内容一致

H24 ライン川・長江・ナイル川・チャオプラヤ川 → 地図・文章内容一致

H23 中国・ブラジル・南アフリカ・ドイツ → 地図・文章内容一致

H22 南アフリカ・インドネシア・中国・ブラジル・サウジアラビア → 地図・文章内容一致

H21 日本が水産物を多く輸入している国はどこか → 中国

H20 スイス・モンゴル・カナダ・サウジアラビア → 地図・童話の内容一致

重要ポイント

世界の国々が出題される（出題頻度が高い！）

基本事項として、地図で国の位置を覚える（問題集で出てきた国は位置を暗記）

アジアの国の出題比率が高い。

国の説明＝地図＝国名は必ず押さえる。

近年は内容一致のみならず、「統計（順位）」で国名を聞いてくる。

問題集に出てきた統計（順位など）は「暗記カード」にまとめておく。

桜蔭中は出題傾向にクセがある。

→ 赤毛のアンを舞台にした島がある国のカナダが出題。

→ 過去、アメリカが出題されていない。

歴史のポイントと対策とは？

歴史のポイント

歴史は全問題数50問のうち、20～25問出題されている。

桜蔭中は地理・歴史・公民の中で歴史の割合が高いのが特徴。

試験時間は30分のため、歴史にかけられる時間は10～12分程度。

見直しはもちろん、ゆっくり考えている時間は許されない。

問題文の文字数・出題形式とは？

問題文（800～1000文字程度）が出題。

●問題文に下線部がある

→ 一問一答・四択の記号選択・正誤の出題へ

●問題文に空欄補充がある

→ 四択の記号選択・語句記入の出題へ

→ 空欄前後の情報を何度も読み直している時間はない

入試に出る時代の順位

1位 江戸時代

2位 明治時代

3位 奈良時代

4位 昭和時代（戦後史）

5位 平安時代

6位 昭和時代（戦時中）

7位 古墳・鎌倉・室町・安土桃山時代

8位 縄文・弥生・飛鳥・大正時代

歴史の各時代のどのようなところが出題されているのか、分かっているでしょうか？

桜蔭中を受験するには各時代どのようなところが出題されるのか知っていなければならない。

なぜなら、そこが点数の要であり、桜蔭中学校のクセであるからである。

歴史の勉強において優先順位をつけ、頻度の高いところからやることが、点数を伸ばす最高の手段なのである。

縄文時代は「遺跡中心（H31は細かいところまで聞かれた）」

弥生時代は「卑弥呼の頻度が低い」

古墳時代は「大山古墳・稲荷山古墳が頻出」

飛鳥時代は「改新の詔が頻出！」

奈良時代は「聖武天皇（正倉院・行基）と税が中心」に出題

平安時代は「国風文化と源平合戦」の頻度が突出している

鎌倉時代は「農業経済分野が中心」に出題

室町時代は「室町時代の出来事」の四択が頻出。祇園祭や茶も出る。

安土桃山時代は「信長・秀吉・桃山文化」が中心。南蛮貿易の出題ほぼない。

江戸時代は「家康や三代改革」が出にくい。

「家光・五街道・近松門左衛門・本居宣長・長州藩・生糸について」が出題

明治時代は「条約改正（特に小村寿太郎）・征韓論の対立・明治の文化と自然科学」が出る

大正時代は「第一世界大戦・関東大震災・普通選挙法」が頻出！

昭和時代（戦前）は「語句の並べ替え」「正誤に細かい知識が必要」

「当時の一般市民の戦時下の状況が記述で出題」

昭和時代（戦後）は「条約名とその内容」が頻出！とくにサンフランシスコ平和条約が出る！

世界史の分野も出題されている

- H30 アフリカがヨーロッパに（植民地）化されたこと。
- H26 イギリスでは産業革命がおこり、（労働組合）が結成された。
- H23 アメリカの初代大統領であるワシントン（一問一答）

並べ替え（とくに戦前）が出る！

※語句は略称で記載しています

- R2 出題なし
- H31 国連脱退・軍人のクーデター・日中戦争・太平洋戦争・日独伊三国同盟
- H30 長篠の戦い・桶狭間の戦い・室町幕府を滅ぼす
- H29 沖縄戦の開始・ソ連の宣戦布告・東京大空襲・広島への原爆投下
- H28 出題なし
- H27 2問出題
国連脱退・盧溝橋事件・一部の軍人が首相を暗殺
アメリカが日本への石油輸出を停止・人や物を動員できる法律・日独伊三国同盟
- H26 出題なし
- H25 出題なし
- H24 日中戦争・国連脱退・満州国建国・日独伊三国軍事同盟
- H23 倶利伽羅峠の戦い・一ノ谷の戦い・壇ノ浦の戦い・富士川の戦い・石橋山の戦い
- H22 第二次対戦勃発・日本軍がインドシナ半島南部へ進駐・盧溝橋で衝突・国連脱退
- H21 日中平和友好条約・大韓民国と国交・国連に加盟・中華人民共和国と国交
- H20 出題なし
- H19 小村寿太郎が条約改正に成功・陸奥宗光が条約改正に成功・ノルマントン号事件
日露戦争の講和条約を結ぶ・日米修好通商条約を結ぶ・岩倉使節団
- H18 出題なし
- H17 関税自主権の回復・伊藤博文の暗殺・治外法権の撤廃・日英同盟を結ぶ

設問や解答に「世紀」・「年号」が頻出される！

R2

昭和元年の西暦を書く

H31

18世紀後半に一揆が起きた理由

1890年の輸入品の1位を選択

H30

1894年の条約を一番最初に結んだ国はどこか

H29

16世紀後半に千利休が侘び茶を大成

18世紀の出来事として正しいものを選択

1859年には生糸に次ぐ輸出品として茶が輸出

1970年代の出来事を選択

H28

1880年、政府はどのような国家体制を目指したかを記述

H27

7世紀の出来事（文章）を選択

H26

20世紀初頭には生糸の輸出が世界一

日米修好通商条約の年号を書かせる

1923年に関東大震災がおこる

1930年の繊維産業の衰退の原因を記述

1972年の沖縄返還

H25

宮沢賢治（1896～1933）のいた時代の内容の正誤

1950年後半から1970年代にかけての日本の発展の時代を漢字6文字

H24

京都が荒廃した出来事はいつか？ → 15世紀後半（選択）

日本の占領統治の終了の年はいつか（書かせた）

日韓基本条約を結んだ年はいつか（記号）

H23

1567年のころの出来事を選択 → 桶狭間の戦い

H22・21

出題なし

H20

8世紀のはじめ奈良の平城京に都が移された

1590年に滅ぼされた戦国大名は誰か

1918年～1928年の出来事（文章）を2つ選択

1974年以降の出来事を2つ選択

H19

11世紀後半～12世紀後半の出来事を選択

H18

出題なし

H17

1950年に起きた出来事は何か

例えば、15世紀というとだいたい1500年代じゃないの？と思っていませんか？

15世紀は1401年～1500年までで、意外と世紀がわかっていない人が多いです。

桜蔭中は、年号はもちろん、「世紀」が設問や解答に出題されます。必ず「世紀」を押さえておくようにして下さい（何となくではなく、○～○年までと正確にわかるようにすること！）

公民のポイントと対策とは？

公民の大切なポイント

- 公民は全問題数50問のうち、10問出題されている（最後の大問）。
- 公民は時事問題と融合して出題される（時事は10問中、2～3問）。
- 現在の出題形式になったのはH26から。
- 出題方法は、問題文の空欄補充（用語記入・用語選択・空欄に入る内容の正誤問題）
- 記述問題の出題がない（過去15年間において）
- 試験時間は30分のため、公民にかけられる時間は5分前後しかない。
- いかに速く正確に解けるかが合格へのカギ！
 - 5分で10問（1問につき30秒しかない）。そのうち半分は用語の記述。
 - 見直しはもちろん、ゆっくり考えている時間はない
 - 時事で知らないことがあると試験時間はすぐなくなってしまう。そのため時事対策は必須。
 - 正誤問題も出題。30秒の中で情報処理能力が試される。
 - 最後の大問に時間を残せるよう、地理・歴史の時間配分が重要。

公民の出る分野

- 基本的人権
- 衆議院・参議院
- 国会
- 国の政治（正誤問題で出題）
- 内閣
- 裁判所
- 三権分立
- 地方自治
- 社会保障
- 国連
- アルファベット
- 法律
- 税・財政

桜蔭中の公民の「クセ」や「難易度」を知る！

公民

範囲が広範囲にも関わらず、出題数が少ない。

毎年1問程度（10問中）、難易度が高いものが出題される。

基本問題が中心なのでそこを確実にとれるかが重要。

記述問題の出題はない。

時事

この5年間をみると基本問題が中心に出題されている。

時事の内容はこの1年間の時事の基本事項をつかんでおくこと。

桜蔭中の「時事」はここが出題されている！

R2

なし

H31

2018年に民法が改正

アメリカと北朝鮮の会談 → 韓国・北朝鮮の内容の正誤が派生問題で出題

2018年に50周年をむかえた出来事 → 日中平和友好条約

H30

2016年7月、参議院選挙が行われた

2017年、イギリスのEU離脱が出題。派生として、EUに加盟していない国を選択

日本を訪れる外国人の順位

H29

PKOにて自衛隊は南スーダンに派遣されていることが出題

H28

ギリシャの危機を支援したのはドイツ

2016年の参議院選挙から18歳以上の国民が投票可能

2015年に日本は非常任理事国に加盟

2017年4月から消費税は何パーセントになるか

2009～2015年の衆参議院選挙の5回連続で最高裁は違憲の判断をしている

H27

この年は時事の出題はない

H26

2013年、バングラデッシュの首都郊外でビルが崩壊した

2013年、最高裁は違憲立法審査権を行使し、民法の相続に関する規定がに違反するとした

H25

国際収支についての正誤問題（黒字・赤字の基礎問題）

H24

日本の財政の正誤

H23

2010年のできごと（有罪の人が無罪になった・公立高校で授業料の無償・選挙に向かい新しい政党の発足）はどの人権に当てはまるか。

時事の派生問題のため、時事がわからなくても解くことは可能。

H22

2009年のできごと（消費者庁の発足・鞆の浦の工事について裁判所が中止命令・都市部と農村部で選挙の投票の問題点）はどの人権が当てはまるか。

H21

2008年の国会にて「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が成立した

2001年にテロ対策措置法により、インド洋付近のアメリカ軍に対し、燃料や水などの補給をする活動を開始した

H20

最近の政治に関する正誤問題

H19

2005年の出来事としての正誤

H18

2001年～2005年までの世界の情勢について。

あ～おの説明文があり、しれに当てはまる世界の国を地図より選択する。

また、日本が自衛隊を派遣した国や地域として誤っているものを地図より選択。

H17

2003年の国会予算の収入の内訳に関する文章の正誤を判定する。

日本が2004年から国連の非常任理事国に選出され2年間つとめたかどうか正誤を判定する。

慶應義塾中等部

15年間の入試分析 社会科の傾向と対策とは？

慶應中等部の社会科のポイント

試験時間・問題数など

- 試験時間は25分
- 50点満点
- 全小問数は約50問 → 20分
- 最後に記述問題 → 5分（できればそれ以下におさえる）

1問にかけられる時間は25～30秒程度。高度な分析力、処理能力が試される。

難易度は一般的に「易しい」と言われるが、真に受けてはいけません。たしかに、（自宅などで）問題を解くだけなら確かに易しいかもしれませんが。しかし、試験という「時間の中」で解くとなると非常にレベルの高い試験になっています

また、近年、問題自体が難しくなっています。

心配なのは、問題が易しいというだけで、対策が適当になることです。つまり、対策が乏しいと点数がとれず、不合格になってしまうのです。なので、「問題が易しい」というウワサに流されてはいけません。

入試の大幅な変更点・新傾向

H30から最後の問題にて「記述問題」が出題されるようになりました。

記述問題は地理・歴史・公民の内容ではない。

H30より大問数が増加している。

H29までは地理と公民で記述問題が出題されていたが、

H30からは地理・公民の記述は出題されていない。

H29までは「日本の生活・伝統文化」の特殊な問題が出題されていたが、H30より出題されなくなった（重要なことは、過去問の対策は新傾向をもとにやらないといけないということ。いくら過去問をやってもこの分野はこの数年出題されていないため）

試験はここが大事

すばやい情報処理能力と正確さが求められる。とにかく、「スピード」が重要！

大問1つを5分以内に処理していく素早さと正確さを持ち合わせていなければならない。

見直す時間はほぼないため、わからない問題を後回しにすることはしてはいけないのです。

平成30年の試験より問題の傾向が変わっています。

今まで出題された日本の伝統問題・生活に関わる問題がなくなり、最後の大問に社会科とはあまり関係のない論述問題が出題されるようになった。

毎年、地理・歴史・公民の大問の順序がバラバラ。過去問から（事前に）時間配分を推測するのは困難。大問の順序がどの年も異なることから、入試本番では「傾向が違う」と思ってしまいがち。なので、大問の順序は「変わる」ものとの前提で試験に臨むこと。順序は違えど、入試の問題内容の本質（傾向）は変化していない。

時間がないのにも関わらず、漢字指定がある。ミスを防ぐため、漢字を書いたらその場でもう一度見直すことが肝心。

正誤問題の選択肢の読み返しは最大2回まで。3回見直し、確かめている時間はない。

歴史のポイントと対策とは？

歴史のポイント

歴史の問題数は、

地理は8～10問、公民は5～8問。それ以外が歴史（全部で約50問）。

試験時間は25分のため、歴史にかけられる時間は10～12分しかない。

歴史の割合が突出しているのが特徴。

ふだんの勉強も歴史の勉強に時間をかけること。

1問にかけられる時間は25秒程度。スピードが非常に重要！

知識を頭に入れ、解答につなげる高度な情報処理能力が試される。

記号選択が中心であるが、漢字の指定もあるため普段から用語は漢字で書くこと。

歴史は「テーマ（史跡・史料・旧国名など）」で出題されやすい

- テーマごとの対策をしっかりとやることが合格のカギとなる。
- よく出るテーマとしては、

1位 史跡・遺跡の名所

- ①遺跡・史跡の名前を覚える（大山古墳・岩宿遺跡など）
過去問・問題集に出てきた遺跡・史跡名を一つずつ覚えていく
- ②遺跡・史跡と都道府県名（地図にて出題）をつなげる
- ③遺跡・史跡をキーワードでつなげる
発見した人物 相沢忠洋＝岩宿遺跡
発見されたもの ワカタケルの名の鉄剣＝稲荷山古墳
- ④遺跡・史跡の名称を漢字で書けるようにしておく
- ⑤遺跡・史跡名は出題頻度が高い！
- ⑥勉強方法は？
遺跡・史跡のノート作る。1ページに1つの遺跡・史跡
問題集をやった出てきたらノートに付け足していく

2位 史料

①史料の「一行」を見て見分ける力をつけることが大事

②史料＝史料の名前（法令名・条約名など）

③史料＝史料に関係のある人物

④史料の穴埋め問題も対策をしておく

⑤勉強方法は？

問題集の史料のページに付箋をはっておく

史料の大事な一行にマーカーをつける（先生に聞くこと！）

史料のとなりに関係のある人物を書いておく

付箋のところを繰り返し見直すこと（復習が大事）

3位 旧国名

①旧国名＝現在の都道府県をつなげる

※旧国名を読めるように！

②穴埋め問題も出題される

琵琶湖は（近江）国

江戸城は（武蔵）国

鎌倉幕府は（相模）国

③勉強方法は？

問題集に出てきた旧国名は暗記カードにまとめておく

問題集をやり、知らない情報が出たらそこに書き足していく

→ 勉強方法としては、歴史全体を勉強することが重要！

全体を把握せず、テーマばかり勉強しては部分だけ（かいつまんだ）勉強になるのでNG。

まずは全体をしっかり頭に入れ、テーマは全体の中のどの部分にあたるのか、全体を確認しながら取り組むことが重要。

よく出るキーワードをおさえる

卑弥呼・ワカタケル・平清盛・福沢諭吉・咸臨丸・二条城など
慶應中等部には繰り返し出題されるキーワードがある

キーワードをおさえる理由

- ミスを防ぐため
- 事前に出る知識を頭に入れることで解答処理を速くする

並べ替え問題に強くなること

慶應中等部の歴史の並べ替えとは？

- (1) 語句の並べ替え
- (2) 語句の細かい知識が問われる 例：モリソン号事件・秩父事件など
- (3) 並べてあるもの自体の間違い探し問題が出たことがある
- (4) 語句の数が多いのが特徴 ※年度による
5～6つの語句を並べ替えて、2番目・4番目を答える
- (5) 1回の試験で並べ替え問題が3～5つ出題されることもある

漢字指定がある

慶應中等部は歴史に漢字の指定がある。

- 問題をやるときは漢字で書くようにする。
- 本番は速く書いているとミスをしやすいので、書いたら見直すこと。

慶應中等部の歴史でよく出る人物

相沢忠洋・岩宿遺跡

相沢忠洋と岩宿遺跡はつなげて覚える
岩宿遺跡はどの都道府県にあるのか
岩宿遺跡はどんな層から発見されたか

卑弥呼

中国のどこの国に使いを送ったのか
史料として魏志倭人伝の内容が出る
卑弥呼は弥生時代。卑弥呼に関係なく弥生時代の内容が正誤で出る

ワカタケル

ワカタケルの文字が刻まれた鉄剣の古墳名とは
この古墳は現在の何県にあるか
ワカタケルと刻まれたものが鉄剣であること

小野妹子・遣隋使

当時の天皇名と日本の時代名
小野妹子は誰によってどの国に送られたか
遣隋使と関係ある人物を写真の中より選択

菅原道真

唐との関係の交流を中断しようとした人物は
いつの時代の人物か
当時の天皇の名前
どこに左遷されたか
どこで亡くなったか
北野天満宮は出ていない
ここ数年は出題されていない

平清盛

平清盛を漢字で書けるように
平清盛の写真
政治の内容が細かく出る
どんな位に就いたか
どこの国と貿易をしたか
厳島神社がよく出る

足利義満

3代将軍
遣明船を派遣
鹿苑寺＝公家と武家の融合

織田信長

桶狭間の戦いに関連する人物を2人選べ
織田信長と今川義元の国とは
武田氏の国とは

豊臣秀吉

山崎の戦いに関係する人物を2人選ぶ
刀狩の史料が出題
豊臣秀吉はどここの国を征服しようとしたか

徳川家康・陽明門

徳川家康は陽明門を作ったのか、それとも作っていないのか
徳川家康が関わった戦い（小牧・長久手の戦い、大坂夏の陣）が出題
徳川家康がおこなった貿易とは
陽明門の造りとは
陽明門は現在どの都道府県にあるのか

徳川家光のころの出来事

徳川家光のことに武家諸法度に加えられた内容とは
徳川家光を漢字で書かせた
鎖国までの流れ
→ポルトガル船の来航を禁止（並べ替え）
→出島（正誤問題・並べ替え）
江戸幕府が貿易をおこなった当時の中国の名前は

十返舎一九

江戸時代の化政文化の人物として出る
東海道中膝栗毛＝十返舎一九の形が出る
慶應中等部は元禄文化よりも化政文化の出題が多い
→ 葛飾北斎＝富嶽三十六景
歌川広重＝東海道五十三次、江戸日本橋の絵から作者を選択

井伊直弼・彦根城

井伊直弼の暗殺された門の名称

井伊直弼が暗殺された都道府県とは

彦根城は国宝か国宝でないか

彦根城はどの都道府県にあるのか・彦根城の別名とは

ペリー・開国と貿易

ペリーが浦賀に来航した語句の並べ替え

ペリー来航の様子を写真から選択する

1858年に日本がアメリカと結んだ条約の名称と5カ国の国名（2回）

日米修好通商条約より前の出来事とは

福沢諭吉

福沢諭吉のできごと（江戸に蘭学塾を開く・学問のすすめを著す・適塾にて学ぶ・咸臨丸で渡米）
がいつであったかを聞いている

中津について（派生問題として大分県のこと詳しく出題されている）

学問のすすめの史料

文久遣欧使節について細かく出題

慶應中等部の歴史でよく出る用語

三内丸山遺跡

漢字で書かせた

場所を日本地図より選択

三内丸山遺跡の内容を押さえておくこと

大森貝塚

大森貝塚を発見した博士の名前とは

大森貝塚を発見するに至った場所とは

金印

金印の発見された場所はどこか

刻まれた内容が出る

並べ替え

法隆寺

法隆寺の写真

法隆寺の細かい知識（金堂の釈迦三尊像・玉虫厨子）が出る

世界最古の木造建築物がヒント

東大寺・聖武天皇

東大寺・聖武天皇の関連語句をつなげられるかどうか問われる
東大寺のつながり＝聖武天皇＝奈良県＝世界遺産＝平城京＝並べ替え
聖武天皇のつながり＝大仏＝正倉院は何造りか＝国際色豊かな文化

平等院鳳凰堂

平等院鳳凰堂に関して正しい文を選択する
平等院の阿弥陀堂の屋根に飾られているものとは

中尊寺・奥州藤原氏

中尊寺・奥州藤原氏の本拠地は現在のどこの県にあるか。
中尊寺はだれが作ったか
浄土のあこがれという語句がキーワード

巖島神社

平家一族の神社であること
場所が出る
平家が納めたものが出る
世界遺産であること

承久の乱

当時の執権は誰か

当時の上皇は誰か

当時の上皇が流された場所とは

承久の乱の際の北条政子の史料が出題

承久の乱の後に京都に設置した六波羅探題を書かせた

元寇

日本に大軍を送り、博多湾に上陸したのはどこの国か

元が攻めてきたときの日本の執権は誰か

蒙古襲来絵巻（写真）を見て、日本の御家人が戦っている相手とは

鉱山

江戸幕府の直轄地として金の産出をした佐渡島が出る

→ 日本地図での場所・正誤問題

江戸幕府が直轄したものとして佐渡島のほかに石見銀山も押さえておく

咸臨丸

咸臨丸の艦長の名前とは

咸臨丸がアメリカに到着した現在のリンコンバレー位置を選択

正誤問題にて咸臨丸が出題された

二条城

漢字で書かせた

二条城は現在のどの都道府県にあるか

1867年、徳川慶喜の大政奉還が行われた場所

下関条約

史料として条文が出る。条文を押さえる

条約の内容を頭に入れる。正誤で聞かれる

サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約

戦後日本が結んだ条約として正しいものとは

サンフランシスコ平和条約の語句が並べ替えにて出題

サンフランシスコ平和条約の条文の内容が正誤にて出題

日米安全保障条約の条文から条約名を選択

地理のポイントと対策とは？

地理の重要ポイント

地理の問題数は、大問1つで8～10問（全小問数は約50問）。

地理にかけられる時間は4分程度しかない。

1問にかけられる時間は25秒程度。スピードが非常に重要！

知識を頭に入れ、解答につなげる情報処理能力が試される

わずか4分しかない中、地形やグラフなども出ることがある。読み取りの時間をようするため、ここで時間をとられないようにすることが重要。

記号選択が中心であるが、漢字の指定もあるため普段から用語は漢字で書くようにすること。

「日本の地方」がベースに出題される

慶應中等部の傾向は、

「日本の地方」を基本にし、農業・工業・伝統工業・地形・島・山・川・湖・半島・湾・世界遺産・漁業・都市の設問が「空欄補充」「一問一答」「4択」にて出題される。工業生産や農業生産のグラフ（特に帯グラフは頻出）も出題される。

地方がテーマではないときは、新幹線や農業などが大問のテーマで出題されている。

2020年には「世界農業遺産」について「トキとドジョウの関係」「ススキと茶の関係」「クスギとしいたけの関係」「梅と炭の関係」が出題されている。かなり細かいところまで出題されていた。

地方はここが出題！！

H31 北海道から九州（領土・島が中心）

H30 神戸市

H28 北陸地方

H25 北海道から九州

H24 東北地方、中国・四国地方

H23 東北地方

H22 関東地方

H21 大分県

地理の勉強方法は？

地方ごとに「特徴（農業・工業・伝統工業・地形・島・山・川・湖・半島・湾・世界遺産・漁業・都市など）」を把握する。

- 「島」に関しては頻出しているので、島は深く勉強しておくが良い。
- 一番南の○○など、「東西南北」に関する地形がよく出る。
- 工業生産・農業生産（地方・都道府県どちらも）のグラフは出やすいので、データを頭にいれておく。
- 新幹線の細かい知識が重要（特徴となる駅・分岐駅など）。
また、新幹線が通過する海峡・河川なども頭にいれておく。
- 大分県は福沢諭吉の故郷。
大分県の地形図（特に中津市）・雨温図・農業・伝統工芸・路線などをまとめておくこと。

過去問を分析すると、山や河川に関し日本地図にて出題されるよりも、問題文での出題（空欄補充など）が大半をしめる。しかし、慶應中等部は傾向が変わりやすいため、日本地図のどこにあるかなど必ず確認をしておくこと。

並べ替え問題は特有のクセがある

慶應中等部の地理の並べ替えとは？

- (1) 並べ替えにクセがある
語句を北から・東から順に並べ替える問題が出る
- (2) 並べ替えの語句として、
河川名・平野名・再開発地域・工業地帯・旧街道がある

普段の勉強にて、語句がどの位置にあるかを一つひとつ確認すること

漢字指定にクセがある

慶應中等部は地理に漢字の指定がある

- 普通なら記号選択で出るような「弘前市」などの名称が漢字指定にて出たことがある。
- 問題をやるときは漢字で書くようにする。
- 本番は速く書こうとするとミスをしやすいため、書いたらその場でもう一度見直すこと

公民（時事も含む）のポイントと対策とは？

公民（時事）の重要ポイント

公民は大問1つ出題され、問題数は5～8問（全小問数は約50問）。

公民にかけられる時間は3～4分程度しかない。

1問にかけられる時間は25秒程度。スピードが非常に重要！

知識を頭に入れ、解答につなげる情報処理能力が試される。

わずか3～4分しかない中、時事もからむ（時事は初見の問題が多い）ので非常に厄介。

出る分野は深くやっておく。ミスをしないため、解く時間を短縮するため。

時事は時間がかかる。そのため、公民分野は事前の演習をしっかり行い、いかに解く時間を短縮できるかが攻略のカギとなる。

公民の出る分野

●国会

国会の種類：常会・特別国会・臨時会・緊急集会
憲法の改正

●衆議院・参議院（選挙がらみで出る）

●内閣

●裁判所

●日本国憲法の条文

出る範囲がせまいのが特徴。

地方自治・税・社会保障などは出題されにくい。

選挙の年はその内容も確認しておく。また、選挙の歴史も頭にいれておくこと。

全体としては、正誤（正確な内容）・数字（正確に暗記）が問われる

時事の重要ポイントとは？

慶應中等部は時事が出題される。しかし、非常に偏っているのが特徴である
入試に出題されるポイントを知るかどうかで、勉強の効率が圧倒的に変わる。

2020 環境問題

H31 平昌オリンピック → 長野（1998年）・北京（2022年）

羽生結弦選手の国民栄誉賞

ロシアのワールドカップ → 時差を聞く問題

テニス全英オープン → 時差を聞く問題

H30 （集团的）自衛権

H29 リオの夏のオリンピック → 時差を聞く問題・ジカ熱

ブラジルに関する時事関連問題

H27 2014年の出来事

沖縄県の慶良間諸島が国立公園の指定へ

消費税が5%から8%へ

若田光一さんが国際宇宙ステーションから帰還

H26 出雲大社の60年に一度の平成の大遷宮

伊勢神宮では20年に一度の式年遷宮

H25 2020年のオリンピック候補地である

イスタンブール・マドリードの国名を書く

H24 TPPによる日本の農業への影響を論述

H23 2010年のAPEC開催都市はどこか

H22 2016年のオリンピックの開催国はどこか

慶應義塾中等部の時事の勉強法！

オリンピックの開催・候補地・過去の開催都市が出題される。

→ 2020年の入試では、オリンピックの開催に向けて、開催日程とそれともなう国民の祝日について出題された。

スポーツや会議（ASEANは頻度が高い）などは出題される傾向が高い。

しかし、サミットは一度も出題されたことがない。

その年に話題になった人物が出ることもある。

しかし！ノーベル賞関連は出題されていない。

世界の出来事（今まではスポーツの話題）が出題されるときは時差の問題が出やすい。気をつけること！

オリンピックの開催の年はオリンピック関連になることが予想される。

世界の出来事は特にスポーツのことを押さえておくこと！

また、国内のできごとは全般を押さえること。とくに世界遺産に関してはさまざまな角度で出題されるので万全な対策が必要。

2020年では「環境問題」について出題された。環境問題、災害、感染症などは、この数年の大きなテーマであるので、対策をしっかりとっておくことが重要（いつ出題されてもおかしくないため）

慶應義塾普通部

15年間の入試分析 社会科の傾向と対策とは？

慶應普通部の社会科のポイント

試験時間・小問数

試験時間は30分（100点満点）

小問数は50～55問

1問にかけられる時間は36秒しかない（50問を30分として考える）

見直しの時間はほぼないを考える。

記述は1回で書き終える（書き直す時間はない）

算数・国語・理科・社会すべて100点満点で評価

中学入試は一般的に「理科」と「社会」の配点が低いことがあげられます。

しかし、慶應義塾普通部は「理科」も「社会」も100点の配点があります。

すべての教科、絶対に手を抜けない試験となっています。

時間がないのに語句を書かせる！（記号が少なすぎる）

試験時間は30分。そして問題数は50～55問。1問に40秒をかけられない厳しい試験にも関わらず、試験の解答は語句・用語を書かせる形式となっています（記号選択は少なく、語句・用語を書くことが解答の8割近くを占める）。

一度、過去問の「解答」をご覧くださいけるとびっくりするでしょう。解答に記号が少なく、文字がびっしりと詰まっているからです（慶應義塾湘南藤沢中とは正反対。慶應義塾湘南藤沢は記号が9割以上）。

しかも、漢字指定、記述問題、地理が驚くほど難しくなっている（時間が足りない）。そんな中で語句・用語を書くとなると、それだけで時間は足りなくなります。相まって、速く書こうとすると「ミス」を招きます。

慶應義塾普通部は、解くスピードが非常に重要視されること、語句を丁寧に正確に速く書けることが要求されます。まずは過去問1年分をタイマーで30分の時間をはかりやってみて下さい。時間は十分足りたのか、足りなかったのか、語句・用語を書く時間は問題なかったか、書く時間が必要だったか、自分の実力をみて下さい。そこから何が足りないのかを突き詰め、一步一步、試験に必要な実力をつけていくことが大事だと思います。

大問数が多い

大問の数は平均5～6個。

大問の順序としては、基本的に、地理→歴史→公民・特殊問題となっている。

試験時間が30分なので、1つの大問につき5分で解かなければならない。

容易に解ける大問もあれば、時間がかかるものもあり、難易度の起伏が激しいのが特徴。

時間配分、つまり、悩みすぎて先に進めないとあっという間に時間はなくなる。

記号問題が少なく、語句を書くことが多い。また作図・記述問題もあり、時間が足りないのが慶應普通部の社会科の特徴である。

慶應普通部の記述問題を大解剖・大公開！

H3 1は鎌倉時代の歴史的流れを150文字以上で記述。今まで鎌倉時代の記述は出題されたことがある(H2 3)が、文字数が150文字以上の記述はない。H3 1の新傾向であり、これが続くのかは今後の試験を数回みてみないとわからない。2020年は10文字程度の記述1題だけであり、H3 1年のような文字数の多い記述問題は出題されなかった。

こういった新しい流れができたことは受験生にとって厄介なこと。つまり、今までは10～30文字の記述が中心であり、それをやっておけば問題がなかったが、H3 1で150文字の記述が出たことにより、今後の入試対策は、10～30文字の記述対策と、150文字以上の記述対策の両方必要と判断しなければいけないからです。記述の方向性、傾向がわかってくればどちらかの対策でいいかもしれませんが、今はどっちにいくか(150文字以上のままか、10～30文字に戻るか)その過渡期の状態です。なので、受験生には大変ですが、方向性がある程度わかるまでは両方の対策をすることが大事です(慶應義塾湘南藤沢中のように記述の頻度が低いなら対策に時間をかけなくてもいいです。しかし、慶應義塾普通部は毎年記述問題が出ること、出る年度は地理・歴史・公民からすべて出題されていることを考えると、記述の対策は絶対に必要だと感じます)。

- R2 (歴史) 台場に大砲を設けた理由
- H3 1 (歴史) 鎌倉時代の歴史的流れを説明する(文字数150文字以上・新傾向)
- H3 0 (地理) 2枚地形図を比較してどう変化したかを記述
 - (歴史) 問題文の空欄補充。日本と中国の関係について、どう動物が使われたか?
 - (公民) 問題文の空欄補充。昨年度の衆議院選挙についての記述
- H2 9 (地理) 高速道路の開通による影響
 - (公民) 非正規雇用について
- H2 8 (特殊) 鶴の一声の意味
 - (特殊) 救急車の車体の前の文字について、問題文の空欄補充
- H2 7 (地理) 濃縮還元の説明
 - (歴史) 戦時中の東京の人口減について(グラフの読み取り)
- H2 6 (地理) 堤防が危険である理由
 - (地理) 山地で水が流出しないためには?
 - (公民) 法律以外での基準になるものについて
- H2 5 (地理) 地形図を比較して記述
 - (地理) 稲作が効率よく行われるようになった理由
 - (公民) 老老介護の意味
- H2 4 (地理) 問題文が旅行の話。旅行に行った時期のわかる理由とは?
 - (歴史) 沖縄は1972年までどのような統治をされてきたか

- H 2 3 (地理) 甲府市とほかの都市の移動者に関する問題
(歴史) 戦い後、武士が不機嫌になった理由 (時代名は明記されていない)
(特殊) 悪銭身につかずの意味
- H 2 2 (歴史) 賠償金を手にれた理由
(特殊) ドッチボールにて各自の強さを反映する採点方法を説明
- H 2 1 (歴史) 1830年代、1940年代、墓が多い理由
(特殊) 選挙運動になぜルールを決めているのか?
- H 2 0 (地理) 昔の宿場町が残っている理由
(歴史) 日米修好通商条約の不平等の内容
(特殊) CDの生産の減少についての理由
(特殊) 全乗用車と軽自動車の新車の販売台数についてグラフの読み取り
- H 1 9 (地理) 愛媛県を訪れる観光客が1999年に増えた理由
(公民) バーコード・QRコードのマークが多く使われるようになった理由

地理の記述傾向

「移動」に関する記述（下線部を確認）

自然災害・災害の後の変化（地図の読み取り）の記述

歴史の記述傾向

R2は「暗記・定番・紋切り型」の記述

H31は「暗記・定番・紋切り型」の記述

H30は思考的な記述

H30より前は「暗記・定番・紋切り型」の記述

まずは、暗記・定番・紋切り型の記述を中心に勉強する。思考問題を予測（予想）した勉強は困難だが、常に歴史的事柄について「なぜ」という問いかけをして物事に取り組むことをすすめます。

1940年代の空襲は過去2回出題。これこそ、慶應義塾普通部のクセ。論点は同じだが、問題の作り方を変えて出題してくるので、この時代の時代状況は説明できるようにしておくことが肝心。

公民（時事）の記述傾向

基本的に教科書の内容が中心（ストレート・直球、クセのない問題が多い）。

教科書の内容を中心とした記述対策をしていれば問題なし。

特殊問題の記述傾向

慣用句の意味が出る。国語の勉強のときに時間のある範囲で、慣用句の意味を確認しておくこと。

その他の特殊問題は、思考的なもの（暗記ではない）なので、冷静に考えれば解答に結びつく。大事なことはあせらないこと。特殊問題が出れば誰でも戸惑う。でもあせらずに丁寧におさえていけば解答に結びつける（特殊問題は最後に残し、丁寧に解いた方があせらずにできるはず）。

地理のポイントと対策とは？

地理のポイント

地理は20～25問（全小問数50～55問）。

地理にかけられる時間は12～14分程度しかない。

1問にかけられる時間は36秒程度（50問を30分として計算）。

地理の時間が押され（地理は後述しているが、非常に時間がかかる）、歴史や公民・特殊問題で慌ててミスをするのが想定される。

過去問で地理が難しい年度は自分で時間を計り、時間がオーバーしているのか、していないのか、もしオーバーしているなら地理のどのような部分が身についていないのか（思考が甘いのか）を確認し、日々の勉強につなげてください。

模試はできるかできないではなく、時間配分を身につける練習をするために活用することをすすめます。

記述は1回で書き終える（書き直す時間はない）。

地理は非常に難易度が高い

慶應義塾普通部の地理は、非常に難易度が高いのが特徴。

試験では大問が約6個出題され（試験時間は30分）、1個の大問につき5分で解いていかなければならない（地理は大問2個出題）。

地理は複雑で、難しいため、大問1つを5分で終わらせることは到底困難と言える。そのため、歴史や公民の時間がなくなり、慌ててミスをするのが想定される。

大切なことは、過去問をやるときは自分で時間を計り、時間がオーバーしているのか、していないのか、もしオーバーしているなら地理のどのような部分が身についていないのかを確認し、日々の勉強につなげることが重要。

また、模試はできるかできないではなく、時間配分を身につける練習をするために活用することをすすめます。

大問の数は？

大問は2つ出題。基本的に、大問1・2が地理になっている。

ふだんの勉強と入試本番の「解くスピード」は同じではいけない！

普段はゆっくり丁寧にやること。普段から速く解くことだけを意識した勉強は頭に残らないためです。普段はゆっくり丁寧に、語句の理解と暗記を意識した勉強を心がけることが重要。

ゆっくり、一つひとつ丁寧にやっていたら「解くスピード」は「自然」と速くなります。

速く解くこと（時間を計ってやること・速く解く意識をすること）は入試2ヶ月前からで十分。

速く解こう、解こうとしても速くなんて解けません（解けたとしてもミスや失点ばかり）。速く解こうではなく、理解しよう理解しようを心がければ、理解がどんどん深まり、自然と解くことができます。

漢字指定は頻出！漢字をじっくり考えている時間などない！

地理の漢字指定の数は、1個～8個と年度によってバラツキがある。

とくに、県名や県名と異なる県庁所在地名を漢字で書かせることが何度も出ている！

県名や県庁所在地名なんて書けるよ！と安易に考えていると、ミスをする。

県名や県庁所在地名がすべて書けるかどうか、全部書いてみて確認をすること。

こんなの覚えているから大丈夫というような気持ちは持たないこと。

漢字は書いたら、一度は見直しをしてほしい（時間がないとササッと書くためミスをしやすいのが理由。書いたら一旦見直す習慣を普段からもつけること。また、普段からも記号問題などは漢字で書くことを意識してやること）

また、漢字を考えている時間はないと考えた方がいいです。そのくらい時間がありません。漢字がすぐ頭から出るくらい、ふだんの勉強では「漢字」に注視することが肝心です。

R2 1個

H3 1 7個

H3 0 3個

H2 9 8個

H2 8 3個

H2 7 1個

過去の地理の記述傾向

「移動」に関する記述（下線部を確認）

自然災害・災害の後の変化（地図の読み取り）の記述

- H30（地理） 2枚地形図を比較してどう変化したかを記述
- H29（地理） 高速道路の開通による影響
- H26（地理） 堤防が危険である理由
（地理） 山地で水が流出しないためには？
- H25（地理） 地形図を比較して記述
- H23（地理） 甲府市とほかの都市の移動者に関する問題
- H20（地理） 昔の宿場町が残っている理由 → 解答は「移動」に関するものになっている
- H19（地理） 愛媛県を訪れる観光客が1999年に増えた理由

記述問題の新傾向

H31は傾向が大きく変化した。いつもは20～30文字程度の記述であったが、H31は歴史において150文字（解答用紙も4行）の記述に変化した。地理も150文字以上の記述を書かせるかは今後の試験を見て判断しなければならない。

用語を「書く」ことが多い！

解答の語句を記号ではなく「書く」ことが多いので、それだけでも時間をとってしまうのが慶應義塾普通部の厄介なところ。「書く」時間に時間をとられ、問題を考える時間を圧迫してしまう。

30分という短い時間の中、「書くこと」、「考えること」をパッパッと効率よく解いていくことが求められる。

受験勉強は傾向をやること

地理には過去問からわかるように一貫した出る傾向があります。

過去に出題された傾向を勉強（受験勉強）できるかどうか、効率のいい勉強にもつながり、また、ミスや失点をなくし、得点をとることもつながります。傾向を熟知し勉強することが点数につながるのです。

地理で出る2つのポイントとは？

① 都道府県の特徴

② 出る分野

緯度とメルカトル図法

世界の国々

地形図

海岸線（湾・半島・岬・河川・平野・景勝地・リアス海岸）

災害

分水界（分水嶺）

外国からの訪日

沖縄について

③ 並べ替え問題が出る

慶應普通部は「都道府県」の勉強で合否が決まる！ 都道府県の勉強を細かくできるかどうか重要！

入試では、設問の前に、さまざまなヒントをもとに都道府県名を割り出していくことが求められる。つまり、都道府県名を割り出し、それをもとにして設問にあたっていく。

解答を出すために2段階踏まなければならないのが慶應義塾普通部の難点であり、時間のかかるところ。

47都道府県はここを押さえる！！

- 都道府県の説明文で、どの都道府県かを一致させる（1番多く出題される！）
- 県庁所在地名が異なるものを書く（漢字指定が多い！漢字で書けるように！）
- 人口（県・県庁所在地・政令指定都市・都市）
- 人口密度
- 米・野菜・畜産・果実など、農業生産額に占める割合
- 工業生産出荷額
- 漁獲量
- 伝統工芸品・祭り
- 河川・湖・山脈
- 新幹線が通過しているか、していないか
- 世界遺産
- 「何藩」だったか？
- 歴史上の有名な場所（○○の戦い・遺跡など）
- 場所
 - どの地方に属するか、どの都道府県と隣り合わせか？
 - 東から並べ替えたなら何番目か？
 - 旅行に関する問題の出題が多く、通過していない県は？

地理の出る分野の傾向とは？

緯度・経度とメルカトル図法

メルカトル図法の読み取りができるようにしておくこと！

世界の国々

新傾向として、世界の国々が出題された。世界の国々の勉強も必要になってきている・歴史では世界の国も出ている

地形図

災害とからめて出題されやすい。地図の読み取りで時間がとられる

災害

時事だけではなく、過去の災害も出題されているので注意！

海岸線（湾・半島・岬・河川・平野・景勝地・リアス海岸）

海岸線を示す図の読み取りが非常に細かいところが出る

距離

〇〇から〇〇までの距離を答えたり、それをヒントに答えたりする問題が出題！

作図

分水界・県境の作図が出題されている。また、歴史も作図が出題されている。

外国からの訪日

インバウンドに関する時事的なキーワードを押さえておくこと！

沖縄について

1回の試験に出る沖縄についての出題量が多い

並べ替え問題が出る

並べ替え問題は頻度が高い。

また、1問につき30秒程度で解答しなければならない。

内容は、河川を上りの方角へ並べ替え・面積の広い順・地震が起きた順・海岸線の図を西から並べ替え・県（ヒントをもとに県名を推測）の並べ替え・世界遺産を東から並べ替えなど出題。

歴史のポイントと対策とは？

問題数（小問数）

歴史は20～25問（全小問数50～55問）

時間配分は？

- 歴史にかけられる時間は12～14分程度しかない。
1問にかけられる時間は36秒しかない（50問を30分として考える）
- 地理の時間が押され、歴史で慌ててミスをすることが多いに想定される。
- 試験が始まったら時間配分を考えること。歴史も難易度が年度によって異なるが、地理の難易度のが大きく変化する。そのため、地理は時間配分を十分に気をつけることが、歴史にも大きく影響してくる。その対策として、過去問で地理が難しい年度は時間を計って歴史が無事時間内に終わるかどうかなを確認すること。
- 模試はできるかできないではなく（できないものは復習、覚えれば試験までに間に合う）、時間配分を身につける練習をする。時間配分は緊張やあせりなど、メンタルに関わる部分が多い。冷静な判断ができるかどうか、模試で演習につとめることが重要。
- 記述は1回で書き終えるのが理想（書き直す時間はほぼないと思った方がいいです）

大問数の数は？

大問2つ（基本的に大問4・5が歴史の場合が多い）が出題

歴史はテーマで出題されやすい

遺跡・城・建物などのテーマの出題されやすい。

1～3行程度の文章が出るそれを推測しながら設問を解いていく。

漢字指定がある。多いときは8個も出題！

年度によって漢字指定の数は変化する。以前は漢字指定が0個の年度もあったが、ここ数年（以下参照）は1個～8個と年度によって異なる。

試験で漢字は書いたら、その場で見直しをしてほしい（時間がないとササっと書くためミスをしやすいの理由。書いたら一旦見直す習慣を普段からもつけること。また、普段からも記号問題などは漢字で書くことを意識してやること）

R2 3個

H3 1 6個

H3 0 1個

H2 9 5個

H2 8 7個

H2 7 8個

H2 6 1個

記述問題に大きな変化

記述は毎年出題されているが、歴史の記述は数年に一度の割合で出題されていた。

出題形式はこの10年間で「知識一般の紋切り型」から「思考型」の記述問題に移っていた。しかし、H3 1は傾向が大きく変化。いつもは20～30文字程度の記述であったが、H3 1は150文字（解答用紙も4行）の記述に変化した。

今後について、150文字の記述が地理や公民にも影響を及ぶかは試験をみていかないとわからない。

試験は手を動かす試験！

過去問の解答をみて下さい。記号選択がほとんどないことがわかります。

書くことが重視の試験。

しかも、30分の時間制限。1問36秒でこなしていかなければならない。

解答は記号ではなく「書く」ことが多いので、それだけでも時間をとってしまう。

書くことにふだんから慣れていないと、試験が最後まで終わらない。

解答は書くことが多い。よって「考える時間」を少なくさせる。

限られた時間の中、思考を働かせ、同時に解答を「迅速に」「正確に」「丁寧に」「漢字のミスをしなないように」の手を動かせるかどうか、これが慶應普通部の難しさ。

ふだんのこととして、問題を解いて、記号の解答であっても、あえて「書く」ようにしておくことが重要。

歴史の出る分野とは？

地理と比べ、歴史の方が過去問から繰り返し出題されている（出る分野が明確）

過去の出題の傾向を勉強（受験勉強）できるかどうか、効率のいい勉強にもつながり、ミスや失点をなくし、得点をとることにもつながる

- 聖徳太子に関する事
- 東大寺（大仏・正倉院・行基）
- 平安貴族・文化
- 運慶・東大寺南大門金剛力士像
- 元寇
- 応仁の乱
- 織田信長
- 豊臣秀吉
- 南蛮人（南蛮貿易）
- 徳川家康と陽明門
- 江戸城天守閣
- 徳川家光のころの出来事
- 本居宣長
- 十返舎一九
- 大塩平八郎
- ペリーに関する事
- 大政奉還

- 明治維新のころのできごと～鉄道
- 西郷隆盛
- 大日本帝国憲法
- 伊藤博文
- 条約改正
- 日清戦争
- ポーツマス条約
- 明治時代の医学
- 第一次世界大戦
- 米騒動
- ラジオ
- 満州について
- 1940年代、東京の空襲の戦死者
- 東京タワー
- 沖縄と守礼門
- 1972年

史料の頻出度は低い

H3 1 文章（2～3行）の下線部の内容＝刀狩令・寛永の武家諸法度の内容を一致させる問題

H2 9 ペリー来航に関する史料

リットン調査団の報告書に対する日本の反対演説（この史料は9月18日がヒント）

元の襲来の防御のために石塁の建設を御家人に命ずる文書

鉄砲の伝来に関する日本側の史料

歴史の史料問題の出題頻度は低い（過去15年間の分析より）が、出ると細かいところまで聞かれるので、史料はやっておきましょう。

絵・写真が出る！

- R 2 遺跡を真上から見た図面 → 五稜郭・前方後円墳・環濠集落・寺院の伽藍配置
- H 2 9 元寇の襲来・岩倉使節団の横浜出航の様子
- H 2 8 はにわ
大日本帝国憲法発布式の様子
江戸時代：将軍に大名が頭を下げている様子
- H 2 4 守礼門
- H 2 3 日清戦争に関する国際関係の風刺絵
軍国主義にもとづく国定教科書の中身
武士の館を一遍上人が訪ねているところ
- H 2 0 近畿地方の地図（信長に関係深い場所を選択する問題）
- H 1 9 鎌倉から室町にかけての牛馬耕の絵
日比谷焼き討ち事件の写真
元の襲来に対し、守りに行く武士のようす（背後に石塁がみえる）

正誤問題の出題頻度が低い

他の学校は正誤問題が頻出だが、慶應普通部の歴史に関し正誤問題は出題がされにくい。

問題文の特徴

1～3行の歴史に関する文章が縦に羅列される

文章の中に迅速に「キーワード」を探せるかどうか、攻略の秘訣

文章からいかに迅速に的確に正確に、この文を知るキーワードを見つけ出し、文の内容を理解できるかが重要。

普段から問題文をササッと読むのではなく、丁寧にキーワードをおいかける訓練（読む訓練）をすることが重要。

実際の例：

「二度目の外交交渉」「前の年にもう一度やってくると宣言」「外交交渉は成功。2つの国が認め合う」 → 日米和親条約のこと

時間軸が聞かれる

文章と文章の一致（年代が近いもの同士を結びつける）させる問題が出る。

文章の人物らの年齢を若い順に並べる。

年号があり、年号に関する文章を選択。

場所が聞かれる

実際の問題として文章の下線部から、国際連盟の都市名は？

大きな大仏が下線部。大きな大仏と都の位置を示した図（平城京）として正しいものは？

場所（例：世界遺産の名称が4つほど書かれている）を東や南より並べる。

城や門の説明はよく出る（城や門が解答につながるわけではなく、派生問題が中心になるが、城や門の内容は押さえておくこと。ミスを防ぎ、解答が速くなるので）

文章の内容が、現在の都道府県のどこにあるのかを聞いてくる。

人物が聞かれる

ポイントは何をした人物かを聞いてくる。文章から「誰か」を読み取る。

読み取る際のポイントは、「何をした人物か？」「出身地は？（どこの都道府県）」「どこに留学したか？」を押さえておくこと。

文の並べ替えが出る

2～3行の文章自体を時代順に並べる問題が頻出。しかも、「並べたとき、○番目・○番目のものを選べ」という解答形式で出題される。ただでさえ時間がないのに、○番目まで指定されるのは厄介であり、あせっているとミスをしやすいところでもある。速い解答の一方で、丁寧さや正確さが追求される。

歴史の勉強ではじめにやること！

いきなり問題を解くような勉強はダメ！！

はじめにやるべきことは問題文の内容理解！！

2～3行（1行のときもある）の歴史に関する文章が羅列される

例：「二度目の外交交渉」「前の年にもう一度やってくると宣言」「外交交渉は成功。2つの国が認め合う」 → 日米和親条約のこと

歴史で一番重要なことは、問題文の内容を理解すること。

何の内容を言っているのかを理解することが非常に重要。

勉強方法としては、

問題集をやり、○×をつけて終わらせる勉強はダメ！！

問題文を理解すること、問題文を研究することが重要！！

問題文を研究する材料としては「1問1答の問題文」が非常に有効。

知らない文章や語句（キーワード）があれば必ず調べ、ノートにまとめておく。

問題集の「問題文」を読み、

キーワード（語句）に印をつけ頭に入れていく。

時間軸 → 時間的に近い出来事を確認する

場所 → 日本のどこに位置するか

建築・学ぶ場所・城や門について記述があればどんなものか内容をしっておくこと

人物 → 何をした人物か・出身地は・どこに留学したか

並べ替え → その文章がどの時代のものかを確認しておくこと

公民・特殊問題・時事のポイント

公民・・・・・・・・・・最初の大きいもしくは最後の大きいで出題されやすい

特殊問題・・・・大きい6個あるうち、どこかで出題されやすい

時事・・・・・・・・・・公民や特殊問題とからめて出題されやすい。

時事が問題作成のベースになることもある

社会の試験は、大きい6個出題されるそのうち、2個を公民と特殊問題が占める
大きい1つを制限時間5分で行わなければならない。

※今までは、最後の大きいに公民分野がきたが、この数年は、最初の大きいに公民や地理と
公民が融合したものが出題されやすい。

※H3 1は最初の大きいにて一問一答が出題され、すべて漢字で書かせた。

公民のポイントと対策とは？

公民は6～7問（全小問数50～55問・試験時間は30分）

公民にかけられる時間は5分前後

公民は最初の大問もしくは最後の大問で出題されやすい。

今までは、最後の大問に公民分野がきたが、この数年は、最初の大問に公民や地理と公民が融合したものが出題されやすい。

H31は最初の大問にて一問一答が出題され、すべて漢字で書かせた。

公民は最初の大問、もしくは最後の大問で出るよということを思っておくとよい。

もう一つ、大事なこととして、

公民は、「時事が問題作成のベース（時事問題が数問出題）」になることもあれば、「特殊問題が大問すべてを占める」ときもある。

公民か、時事か、特殊問題か、どれが来るかは予測が不可能。

これを制限時間5分でおこなうとなると時間が全く足りない。

しかし、公民であれば、3つのテーマにわけられるので、公民の勉強をするなら、まずはこの分野から手をつけていくことが重要である。

公民の出る分野

- 選挙
- 少子高齢化
- お金・税・価格
- 日本国憲法が下敷きになっている（基本的人権・義務・地方自治・天皇の国事行為）
- 裁判
- 国民の祝日について

出にくい分野とは？

- 国会・内閣
- 憲法の改正
- 財政

一般常識の知識も問われるので注意！

六法全書・街頭演説・肖像権の使用など

慶應普通部だけに出る特殊問題の ポイントとは？

特殊問題は5つのパターンから出題される

◆ 知識を問う問題

H3 1 詐欺・書かせる（ひらがなでも良い） ← 一問一答

H2 8 「鶴の一声」の意味を説明

H2 3 「悪銭身につかず」の意味を説明

問題文の空欄補充 → 「金は（天下の回りもの）」

知識問題は「ことわざ」「慣用句」「熟語」のこと（わざわざ社会科でやる必要はない）

国語のときの勉強ではより注視すること。

知識問題は知識を思い出し、できるだけ解くように努める。もしできないなら、他の問題でカバーするよう、他に意識を集中させる（逆を言えば、捨てるものは捨てて、頭の切り替えをする）。

◆ 思考を必要とする問題

R2 コンビニの経営的視点

H3 1 太陽暦と太陰暦について、空欄補充 → 一（週間）、（時計）の表し方

H2 8 集団就職の「集団」の意味は？＝地方出身者・記号選択

騒音について集団訴訟の「集団」の意味は？＝周辺住民

救急車の車体の前側に書いてある文字（救急）が、反対になっている理由を
問題文の空欄補充

ある標識（図）について、述べた文を選択

ある標識（図）について問題文の空欄補充 → （津波）の避難場所をあらわしている

H2 2 ドッジボールにおいて各自の強さを反映させる採点方法を説明する

H2 1 立体的な建物は、平面図の地図のどこに当てはまるか？当てはめていく問題

思考問題は暗記ではなく思考を必要とするもの。

思考問題は一般的に時間を必要とするため、本番では最後にまわし、最後に集中してやることをすすめる。

途中でやることで時間がかかりすぎてしまったり、他の問題を残して思考問題をやると他のことがきになってあせって思考問題にうまく取りかかれないことがある。思考問題は最後にやることでこのようなことを防ぐ働きがある。

◆ お金・価格に関する視点

お金の動き・ものの売買の動き・お金やものを動かす視点（経営的視点）を常に考えることが重要。

◆ 情報に関する視点

◆ マークについて

慶應義塾湘南藤沢中

15年間の入試分析 社会科の傾向と対策とは？

慶應湘南藤沢中の社会科のポイント

試験の特徴

試験時間は25分（50点満点）

25分の時間に対し、小問数40問（正確には37～42問）と、問題数が多いのが特徴。また、漢字指定、記述、正誤と時間がかかる問題が多い。首都圏の入試の中でも非常にレベルの高い試験の一つである。

難解な正誤問題の勉強法

慶應湘南藤沢中は正誤問題の比重が高いのが特徴。

しかも、見分ける力を要する（難易度が高い・細かい知識が問われる）。

普段の勉強は、問題を解いて答え合わせをするような勉強から、内容理解（問題文の選択肢を調べる、問題文をじっくり読む、問題文の知らない語句を調べる）に力点を置くことが大切。

試験は速く解かなければいけないから、普段も速く解くような勉強をしなさいと言われている人もいるが、それは大きな間違い。普段からササッと、内容の薄く、適当な勉強をしていては、内容理解に努めるのは困難。普段はじっくり丁寧に、理解することを軸に勉強に取り組むこと。この姿勢を続けていくと正誤問題は見分けられるようになる。

記述問題も出題される

H29 公民 エコレーンマークのついている商品が地球環境にやさしい理由とは

H28 歴史 江戸幕府が財政難に苦しめられた理由（50文字）

H27 地理 歴史的な風景を残しながら手を加えるにはどんな注意を必要か

H25 公民 ねじれ国会とはどのような状態の国会か（20文字）

H24 地理 地図中に地域のレタス栽培の特色を説明する

特色は、頻度が低いこと（出る年度と出ない年度があること）、傾向がつかめないこと、地理・歴史・公民のどの分野から出るかわからないことがあげられる。

漢字指定はこれが聞かれた！

- R 2 空欄補充 → (大阪府) の百舌鳥古墳群
空欄補充 → 参勤交代
空欄補充 → (文部科学) 省検定済教科書
- H 3 1 出題なし (用語の記述はあるが、漢字指定はない)
- H 3 0 出題なし (用語の記述はあるが、漢字指定はない)
- H 2 9 空欄補充 → (一億総) 活躍社会
- H 2 8 空欄補充 → (合区) が初めて導入
一問一答 → 総務省
- H 2 7 一問一答 → 持続可能 (漢字 4 文字)
空欄補充 → (地租) 改正
- H 2 6 空欄補充 → 国会が (発議) して
- H 2 5 一問一答 → 関門海峡
一問一答 → (金) 肥
- H 2 4 一問一答 → 輪中
空欄補充 → 政府 (開発) 援助
空欄補充 → 侵すことのできない (永久) の権利
一問一答 → 高知県 (旧土佐藩の現在はどこか)
空欄補充 → (関税) の撤廃
- H 2 3 空欄補充 → (国政) 調査
文に書いてある時代名を漢字で書く → 安土桃山・平安・飛鳥・奈良
一問一答 → 国債
空欄補充 → 完全 (失業) 率
空欄補充 → (秘密) 選挙
一問一答 → 重複 (小選挙区と比例代表の両方に立候補できる制度は?)
- H 2 2 図の名称 → 平城京 (漢字 3 文字)
一問一答 → 室町幕府
一問一答 → 南北朝 (漢字 3 文字)
一問一答 → (戦国) 大名
一問一答 → (麻生太郎) 内閣
- H 2 1 下線部の説明 → 鉄砲
一問一答 → (敬老) の日
- H 2 0 文章の説明 → 弥生時代
- H 1 9 空欄補充 → (門前) 町

H18 一問一答 → 四民平等

空欄補充 → (主要) 国首脳会議

H17 5つの下線部に共通する漢字を一文字で示す → 乱

地理・歴史・公民と、すべての分野から出題されているが、その中でも公民(時事)の分野からの出題が顕著である。

時事も漢字で書かせるので、時事の用語も漢字で書けるようにしておくこと(時事の漢字は基本事項でOK)

地理のポイントと対策とは？

地理のポイント

地理の大問数は平均2つ。

小問数40問（正確には37～42問）中、地理は10問

地理にかけられる時間は6～7分程度（試験時間は25分）。

1問にかけられる時間は37秒しかない（40問を25分として考える）

しかし、図の読み取りを考えると実際は8分は必要（その年度で難しい問題が出題されていれば、もっと時間をかけてもいいが、最大でも10分が限界）。

地理の時間が押され、歴史で慌ててミスをすることが多いに想定される。

過去問で地理が難しい年度は時間を計ってやってみる（時間をオーバーしてれば、問題を触れる量が少ない、理解力がまだ甘いことが考えられる。自分は大丈夫と考えず、時間という数字で自分を見ることが重要）

模試の場合も、できるかできないではなく、時間配分を身につける練習をすること。

問題数が少ない割に、解く時間がかかるのが地理の厄介なところ

漢字指定がある

地理は漢字指定が少なく、平均1問程度。

漢字は書いたら、一度は見直しをしてほしい（時間がないとササッと書くためミスをしやすいのが理由。書いたら一旦見直す習慣を普段からもつけること。また、普段からも記号問題などは漢字で書くことを意識してやること）

地理の出る分野

地理には過去問からわかるように一貫した出る傾向がある。

これが「出る分野」である。

過去の出題の傾向を熟知しているかどうか、効率のいい勉強にもつながる。ミスや失点をなくし、時間のなかで速く解く上でも傾向を体得していることが重要。

●地形図（雨温図も含む）

●貿易（輸出・輸入品）（中国・日本・アメリカの貿易額・貿易品目・貿易相手国）

●地球環境問題 → 非常に頻度が高く、時事的要素を含んでいる。

●人口に関するもの

●東京からの距離

●福岡県について

●世界の州について

●自動車について

●各都道府県の農業について（農業産出の割合・生産物順位）

●移動に関するもの

ふだんの勉強と入試本番の「解くスピード」は同じではない！

普段はゆっくり丁寧にやること。普段から速く解くことだけを意識した勉強は頭に残らないためです。普段はゆっくり丁寧に、語句の理解と暗記を意識した勉強を心がけることが重要。

ゆっくり、一つひとつ丁寧にやっていたら「解くスピード」は「自然」と速くなります。

速く解くこと（時間を計ってやること・速く解く意識をすること）は入試2ヶ月前からで十分。

速く解こう、解こうとしても速くなんて解けません（解けたとしてもミスや失点ばかり）。速く解こうではなく、理解しよう理解しようを心がければ、理解がどんどん深まり、自然と解くことができます。

慶應湘南藤沢中の「地理」の2つの特徴

1つ目はグラフ・図の読み取りが非常に多く出題されていること。

2つ目は正誤問題の比率が高く、20～30%出題されている

つまり、「グラフ・図（地形図も含む）の読み取り」と「正誤問題」ができるかが合否の決め手になってくる。

「グラフ・図（地形図も含む）の読み取り」は未見のものが多く、解くのに時間がかかる。そのため、時間をかけすぎたり、歴史の時間を圧迫してしまうこともある。時間の配分をする練習が非常に重要。

「正誤問題」は単純なものではなく、正誤の文章がまぎらわしいものが多い（解答と解答でないものを分けることができない）。正誤問題1問にかけられる時間は40秒程度。考えているとあっという間に時間がすぎてしまう（文章が正しいかどうか、誤りかどうか、文章を何度も行き来しながら読んでいると時間がなくなる）。正確に、しかも速く読み取り、1回で解答につなげられるかどうか重要である。

歴史のポイントと対策とは？

大問数・小問数

試験時間は25分（50点満点）

歴史の大問数は平均3つ。

歴史は15～20問（全小問数約40問から地理と公民を引いた残りが歴史）。

地理・歴史・公民（時事）分野の中では「歴史の割合」が一番多い。

古い順に並べ替える問題

※キーワードのみ抜粋

- R2 天武天皇の即位・大化の改新が始まる・大宝律令の制定・冠位十二階を定める
法隆寺・東大寺・平等院・中尊寺金色堂
アメリカによる日本への石油輸出禁止・日中戦争の始まり・日独伊三国同盟
第二次世界大戦のはじまり
- H30 後醍醐天皇・六波羅探題・元寇・史料A（御成敗式目）
日韓基本条約・日中平和友好条約・日ソ共同宣言・サンフランシスコ平和条約
- H28 徳川綱吉・徳川吉宗・新井白石・水野忠邦・田沼意次・松平定信それぞれの内容
- H26 鉄砲伝来・ラクスマン来航・オランダと貿易・ザビエルがやってきた・生麦事件
満州事変・国家総動員法・世界恐慌のはじまり・普通選挙法の成立
- H25 法隆寺の建立・最澄が延暦寺・聖武天皇が国分寺・親鸞や日蓮が民衆に布教
- H24 大日本帝国憲法の制定・初の女性国会議員の誕生・平塚雷鳥・民選議院設立の建白書
日本国憲法の施行
- H23 東海道五十三次・桶狭間の戦い・遣唐使の取りやめ・蘇我氏を滅ぼす・近畿地方に大王
桓武天皇が京都に都を移す・聖武天皇は各地に国分寺をつくる・武家諸法度を定める
- H22 徳政令・武士の窮乏・北条氏が地位を独占・元寇
もはや戦後ではない・バブル崩壊・戦後GNP2位・麻生太郎内閣・中東戦争
- H21 刀狩令・関ヶ原の戦い・太閤検地・朝鮮出兵
- H19 天皇や公家の性格を細かく制限・十七条の憲法の内容・天皇を中心とした行政組織
武士が作った最初の法律
- H18 大日本帝国憲法の発布・日米和親条約・帝国議会・戊辰戦争・大政奉還
日米修好通商条約

H17 九州のキリシタンの一揆・朝廷の監視・京都も焼け野原・大阪の元町奉行の役人が挙兵
佐賀で旧士族が挙兵

並べ替え問題は、

過去15年間で12回出題。

何度によっては1回の試験で2回並べ替えが出題されるときもある。

並べ替え問題の語句は、

江戸時代（8回）

鎌倉時代（5回）

飛鳥時代・平安時代（4回）

安土桃山時代・明治時代（3回）

奈良時代・大正時代・昭和の戦前（2回）

古墳時代・南北朝時代・室町時代（1回）

縄文時代・弥生時代は出題されていない

とくに、H22は鎌倉時代が細かいところ（徳政令・武士の窮乏・北条氏が地位を独占・元寇）
まで聞いてきたので、各時代、深いところまで押さえておくことが肝心。

歴史的な絵・写真の問題はでるの？

H31 雪舟の水墨画の絵が出題

H30以前～（14年間）は絵や写真の出題がない。

慶應義塾湘南藤沢中では、「絵・写真」の出題はこの15年でたった1回のみ。

ただし、H31で出題されたため、今後出題される可能性は否定できない。

勉強の優先順位としては高くなくてもいいが、自分で問題集をやってでてきた「絵・写真」はストックしておくことをおすすめします。

歴史の史料のポイント

H30

御成敗式目

よく出る史料ではあるが、H30の慶應義塾湘南藤沢中に出題された史料の部分はあまりみかけない。史料の中身、また問題文のキーワードから「推測」させる問題となっている。

H27

徴兵告諭 → (血)税・(20)歳 空欄補充にて出題

地租改正 → (地租)改正・・・史料の内容をみて、地租の空欄補充
100分の(3)の数字の空欄補充

殖産興業 → 2014年に登録された文化遺産は？=富岡製糸場

H25

史料が2つ(A・B)が出題され、ともに日露戦争直前の主張をわかりやすくした内容。

1～4の文章があり、その史料の内容と合致しているかしていないかを判別する問題が出題。

H24

魏志倭人伝(卑弥呼のこと)

承久の乱に際し、北条政子が御家人を前にしておこなった演説

あおによし奈良の都は～の和歌

日露戦争に出征中の弟をおもった与謝野晶子の歌

H23

寛政の改革の松平定信の政治を風刺した狂歌

紀伊国の荘園の農民が地頭の横暴を荘園領主に訴えた文書

1889年に憲法発布をひかえ、国民の喜んでいる様子をドイツ人医師が描いた日記

律令制度のもと、農民の労苦や貧困を示す内容

二条河原落書(建武の新政における混乱)の内容

- 史料は回数的に、10年に5回出題されている（2年に1回必ず出るというわけではない）。
頻度的には高い。
- 史料と人物を一致させるような単純な内容一致問題は出題されない。史料の内容を理解していないと解くことはできない（特にここ最近は顕著）。
- 未見の史料がよくでるので、見たことがなくても慌てず、問題文（もしくは史料の内容）から「ヒント」を得て推測する。
- 問題集に出てきた史料は自分でストックしておく。また、その史料を先生に見せ、どこが重要かを聞くといい。

歴史の「出る分野」を大公開！！

縄文時代

- 縄文時代の遺跡（三内丸山遺跡が出題）、出土品などをおさえておく（亀ヶ岡式土器が出題・縄文時代の土器の特色の正誤）
- 縄文時代のキーワード（磨製石器・土偶・貝塚・日本列島の形成など）をまとめ、縄文時代＝このキーワードということを手の中で整理しておく。

弥生時代

- 正誤 → 3つの文が出題。それぞれの文の正誤。亀ヶ岡遺跡は弥生時代かどうか・金印の説明の正誤・小さな国々の出現の正誤・小さな国々が大きくなった理由の正誤
- 卑弥呼
→ 邪馬台国の有力な場所の都道府県は？当時の外国の書物は？卑弥呼に関する説明から卑弥呼を選択・空欄補充で（邪馬台国）
その他、稲作が伝来した日本の時代名を漢字2文字で書く問題も出題されている。

古墳時代

- 正誤 → 3つの文が出題。それぞれの文の正誤。
- 空欄補充 → 稻荷山古墳の（鉄剣）・（前方後円墳）・
（百濟）から仏像と経典が伝来・（蘇我）氏と（物部）氏の崇仏論争

飛鳥時代

●聖徳太子の「法隆寺」「十七条の憲法」が頻出！

→ 世界最古の木造建築物は？十七条の憲法の内容より、十七条の憲法と聖徳太子を選択・聖徳太子の時代の文章があり、その時代の語句（十七条の憲法・法隆寺・飛鳥文化）を選択・6世紀の出来事を選べ＝推古天皇の摂政・世界最古の木造建築物の（法隆寺）

●空欄補充 → （白村江）の戦い・（蘇我）氏を滅ぼす。

飛鳥時代のポイント！

聖徳太子、とくに法隆寺と十七条の憲法については詳細にやっておくこと

奈良時代

●空欄補充

→ 鑑真は（唐招提寺）・正倉院は（校倉造）・地方には（国府）・（聖武）天皇は国分寺

●正誤

→ 大仏をつくったころの世の中の説明・遣唐使の与えた影響の正誤・防人の説明の正誤・鑑真について正しい文を選択・東大寺について正しい文・平城京の東西の市について正しい文・平城京に都がおかれていたときの土地制度として正しいもの・貧窮問答歌が作られた時代の政治状況は？＝天皇中心の律令にもとづいた政治

●並べ替え

→ 聖武・法隆寺・延暦寺・親鸞を古い順・

●内容一致

→ 元明天皇＝説明＝あおによしの和歌・大宝律令の内容＝大宝律令＝藤原不比等

●一問一答

→ 平城京の図より都の名称を漢字文字・平城京に遷都した年号・平城京に都があったときに成立したものは？＝日本書紀・古事記・貧しさに苦しむ農民の気持ちを表した歌の作者は？・大宰府

●和歌

→ あおによし奈良の都の和歌は2回出題されている。

奈良時代のポイント！

平城京（図・元明天皇・東西の市・年号・和歌）

律令（天皇中心の律令に基づいた政治・国府・大宰府・防人・墾田永年私財法）が出る！

聖武天皇（東大寺・正倉院・並べ替え）・鑑真（唐招提寺）

平安時代

- 平安初期 → (桓武) 天皇は京都に都を移す・最澄が延暦寺(並べ替え)・蝦夷の征討の時期と同時期のものを選択=中国より新しい仏教を持ち帰る
- 国風文化 → (紀貫之)は土佐日記を書いた・清少納言の(枕草子)・(遣唐使)をやめる・女性の作品でないものは? =土佐日記
- 律令制度の衰え → 荘園の寄進・国司の横暴(頻度は過去1回のみ)
- 武士の台頭 → 平将門の乱・(清和)源氏・前九年、後三年の役に源氏は(関東)の武士を率いた(頻度は過去1回のみ)
- 中尊寺金色堂 → 藤原清衡(2回)・(平泉)の地に建てた・金で覆われたお堂=中尊寺
- 平清盛 → 銅銭を大量に輸入・日宋貿易=平安時代・日宋貿易で(平清盛)は莫大な利益をえる。

鎌倉時代

- 一問一答
→ 北条泰時の地位は?・源実朝・金槐和歌集・牛馬耕や西日本に二毛作の時代名は?
六波羅探題・一遍・清浄光寺
- 内容一致
→ 北条政子=承久の乱のときの史料=北条政子の説明文、西日本に二毛作が広がる時代=宋銭が用いられて商業が活発・地頭=地頭の横暴を荘園領主に訴えた訴状
- 並べ替え
→ 親鸞・日蓮、六波羅探題、元が攻めてきた、御成敗式目、徳政令、恩賞が十分にもらえなかった、重要な地位を北条氏が独占、武士の支出が増えて借金、
- 正誤
→ 御成敗式目の史料より、法令の内容の正誤・鎌倉の幕府の正誤=全国を支配していない・石塁が築かれた頃の様子
の正誤・地方では弓や馬に慣れた武士があらわれたという内容の説明に関する正誤・禅宗の説明の正誤

鎌倉時代のポイント

細かい知識が必要(下線部のところが難しい)

鎌倉時代は語句の並べ替えがよく出る

正誤問題は単純なものではない(選択肢を簡単にわけられない)

南北朝時代

一般的に、南北朝時代はあまり出題されない。

しかし、慶應義塾湘南藤沢では、南北朝時代がよく出る。

史料まで出題されたので、この時代はしっかり押さえておいた方がよい。

- 後醍醐天皇 → 建武の新政・史料（二条河原落書の空欄補充）・吉野・承久の乱の100年後、幕府を倒すことに成功
- 足利尊氏 → （室町）幕府・建武の新政に不満の理由

室町時代

- 普通、室町時代の設問が出ても1回の試験に1～2問であるが、H19とH31は大量に出題されている。室町時代は出るときは大量であることも頭に入れておく。
- 応仁の乱の後が出る（年号も頻出！）
 - 文化が広まる（文化の内容まで出題：連歌・能楽・茶）
 - 幕府の力が衰えた。
 - 下剋上の世の中へ。
- 足利義満と日明貿易
 - 日明貿易の内容（倭寇・勘合）
 - 日明貿易の日本の港、貿易後の日本の様子。
- 産業と経済
 - 馬借・二毛作が全国へ・定期市が6回・水車などのキーワードが出る！

安土桃山時代

- 南蛮貿易 → ①日本の港の名前 ②鉄砲=ポルトガル人・キリスト教=スペイン人
③輸出品の「銀」について細かい知識が問われる。
- 織田信長 → 桶狭間で今川義元を破る（2回）・延暦寺の焼き討ち
- 豊臣秀吉 → バテレン追放令・有田焼は何時代？

江戸時代

●江戸幕府初期の内政

禁中並公家書法度（2回）

●初期の外交と鎖国

朝鮮国の窓口は対馬

朱印船貿易の貿易相手国の正誤

出島にて貿易はオランダ

キリスト教を禁止した理由の正誤

島原・天草の一揆がおきた理由の正誤

島原・天草の一揆のあとの幕府の方針の正誤

鎖国体制のあとの説明（正誤）

長崎の学問＝蘭学の内容を選択

●鉱山・農業・貨幣経済

幕府は金銀を直轄し財源としていた（文の正誤）

商品作物は何時代のことか？

金肥（一問一答）

問屋生家内工場は何時代のことか？

●江戸幕府の改革（徳川綱吉～水野忠邦）

徳川綱吉の政策の正誤

年表における期間の出来事＝元禄文化の内容を選択。

（新井白石）は長崎貿易を制限した。

（徳川吉宗）は上げ米の制をおこなった。

上げ米の制の政策の正誤。

「白河の清きに・・・」狂歌の史料＝田沼を選択。

（田沼意次）は株仲間の結成を奨励。

株仲間とは？正誤

（松平定信）は旗本や御家人の借金を帳消しにした。

ロシアのラクスマンは通商を求める。

幕府が財政難に苦しめられた理由を記述（50文字）

年表における期間の出来事＝噴火や天災、飢饉が起きた内容を選択。

大塩平八郎（一問一答）

大塩平八郎の乱のころの時代背景の正誤

天保の饑饉（一問一答）

（水野忠邦）は江戸・大阪を直轄地にしようとした。

● ペリーの来航～幕末

松下村塾は萩・出身者は伊藤博文

アメリカのペリー浦賀に来航

治外法権の内容（正誤）

貿易開始後の経済的混乱の内容の正誤。

（薩摩）藩士がイギリス人を殺傷・生麦事件がきっかけで戦争をした国は？

坂本龍馬＝薩長同盟を結びつける。

倒幕運動における3人の人物を選択。

政権を返上の前の出来事は？アメリカとの条約を結ぶ。

戊辰戦争（一問一答）

勝海舟と西郷隆盛（一問一答）

● 元禄文化と化政文化

歌舞伎の演目では（近松門左衛門）

近松門左衛門＝国姓爺合戦

松尾芭蕉＝奥の細道

葛飾北斎＝富嶽三十六景

（歌川広重）の東海道五十三次

明治時代

- 五箇条の御誓文（内容が聞かれる）
- 現政治への批判 → 四民平等・藩閥政治
- 殖産興業（富岡製糸場）から産業革命（綿糸・動力が石炭）
- 岩倉使節団 → 日本に残った人物・使節団の人物・留学生の津田梅子
- 征韓論
 - 西南戦争（特権を奪われた士族の不满・西郷隆盛）
 - 自由民権運動（板垣退助・民主主義思想から福沢諭吉）
- 大日本帝国憲法（年号は重要！）
- 日露戦争・日露戦争から韓国併合までの流れ（条約改正の出題は低い）

大正時代

- ① 第一次世界大戦の内容（第一次大戦の年号・日本の参戦内容が出題）
- ② 大正時代～昭和時代にかけての日本の輸出品・日本の輸入品・輸入場所について
- ③ 小問（過去に出たのは、東北出身のはじめての首相＝原敬・平塚雷鳥＝青鞥社）

昭和時代（戦前）

- 正誤の比率が高い（しかも難易度は高く、丁寧な理解度が要求される）
 - 1940年代の日本と北アメリカ・アジア・ヨーロッパの貿易の概要を把握しておく（頻出）
 - 1940年代の「切符制」「軍需品・工業製品の生産」「原油」「食料不足」「町内会・隣組（監視されていること）」「学徒出陣」「学童疎開」の内容理解をしておくこと。
- 満州に関すること（日本国民は満州に対してどういう行動をしたか・満州を作ったあとに日本軍はどうしたか、満州事変などの年号）が頻出！
- 1920年後半～45年までの「語句の並べ替え」「年号」が出題される。
 - 特に1945年は「月日」まで重要。
 - 年号と語句をつなげておけば、並べ替え問題ができるので、頭に入れておくこと。

昭和時代（戦後史）

●日本国憲法

日本国憲法施行、語句の並べ替え

●朝鮮戦争

年表の期間の出来事＝朝鮮戦争以降、経済の成長がおきた

朝鮮戦争をきっかけに、「もはや（戦後）ではない」といわれるまで経済が成長した

●55年体制

日本では（1955）年以来、自民党の単独政権が長く続いた

●戦後の外交

日韓基本条約・日中平和友好条約・日ソ共同宣言・サンフランシスコ平和条約の並べ替え

日本はGNPがアメリカに次いで世界2位になり、各家庭に（テレビ：選択問題）が普及した

日本は（1956）年にソビエトと国交を回復

1972年の日中共同声明により国交正常化の内容の正誤

●石油危機・バブル崩壊・リーマンショックなど

（中東）戦争をきっかけにOPECが石油の輸出を制限し、石油価格の上昇をまねく

土地や株価の値段が急激に上昇し、その後下落した。この変動を（バブル）崩壊

年表の期間（2000年以降）の出来事として誤り＝待機児童がいなくなった

アメリカの金融危機により世界不況となり、（麻生太郎）内閣では定額給付金は支給された

下線部は時事問題

もともと戦後は問題数が少ない。そのため、分野別に分けることが困難。

その中でも、朝鮮戦争や外交の分野で多く出題されている。

慶應義塾湘南藤沢中は「人物」が出る！

卑弥呼（2回）

倭の五王（2回）

蘇我氏・物部氏

聖徳太子（4回）

天武天皇（2回）

持統天皇

藤原不比等

山上憶良

聖武天皇（3回）

鑑真（2回）

桓武

坂上田村麻呂

最澄（2回）

空海

紀貫之

紫式部

清少納言

平将門

藤原道長（2回）

藤原頼通

藤原清衡（3回）

平清盛（2回）

源実朝

北条政子

北条泰時（3回）

親鸞・日蓮

一遍

足利尊氏（4回）

後醍醐天皇（4回）

足利義満（2回）

雪舟

ザビエル（2回）

織田信長（2回）

徳川家康
徳川秀忠（2回）
徳川家光
徳川綱吉
新井白石
徳川吉宗（2回）
田沼意次
松平定信
ラクスマン
水野忠邦
杉田玄白
本居宣長
大塩平八郎（3回）
吉田松陰
坂本龍馬（2回）
西郷隆盛（3回）
勝海舟
徳川慶喜
江戸の文化 → 近松門左衛門（2回）・尾形光琳・十辺舎一九・葛飾北斎・松尾芭蕉・井原西鶴・歌川広重
岩倉具視
伊藤博文（3回）
大久保利通
木戸孝允
陸奥宗光
福沢諭吉
津田梅子
板垣退助（4回）
大隈重信
与謝野晶子
小村寿太郎（2回）
原敬
平塚雷鳥
犬養毅
溥儀

正誤問題は3つに分けられる

語句の内容を問う正誤

東海道・朝鮮通信使・禅宗・室町時代・西南戦争・足利義満・金印・防人・徳川綱吉・株仲間・治外法権・大日本帝国憲法・五箇条の御誓文・藩閥政治・自由民権運動（語句自体の内容）

時期・理由や原因を問う正誤

下線部の時期の説明

下線部の内容の説明

下線部の前・以後・以降・後のこと・結果・・・日清戦争後の説明

下線部の理由・原因

一行文章の○×正誤

公民のポイントと対策とは？

大問数が多い！

公民の大問数は2つ。一般的に、中学受験では公民の問題数は少なく、しかも大問数は1つが多い。
しかし、慶應湘南藤沢中では公民の大問が2つ出題される。

小問数は？

公民の問題数は10問前後（H31は5問であった）。全体の小問数約40問。

時間配分

公民にかけられる時間は6～7分程度。しかし、時事問題が多いこと、漢字指定があること、正誤の読み取りが多いことなどを考えると、実際は8分は必要になってくる。

1問にかけられる時間は37秒しかない（40問を25分として考える）
見直しの時間はほぼないと考える。

試験の注意点

公民は、地理と歴史に時間が押され、慌てて問題を解き、ミスをすること（問題の読み違い）が多いに想定される。つまり、「時間配分」に気をつけなければいけない。
模試はできるかできないではなく、時間配分を身につける練習をする。

公民の漢字指定の割合は高い！

平均1～2問程度。

年度によって出るときと出ない時があるが、地理・歴史・公民（時事）の中では、漢字指定の割合が最も多いのが公民（時事）の分野。

漢字指定そのものは基本用語が多い。普段、問題集などで問題を解くとき（記号問題なども）は漢字で書くことを意識する。

- R2 一問一答 → 文部科学省
- H29 空欄補充 → （一億総）活躍社会
- H28 空欄補充 → （合区）が初めて導入
一問一答 → 総務省
- H27 一問一答 → 持続可能（漢字4文字）
- H26 空欄補充 → 国会が（発議）して
- H24 空欄補充 → 政府（開発）援助
空欄補充 → 侵すことのできない（永久）の権利
- H23 空欄補充 → （国政）調査
一問一答 → 国債
空欄補充 → 完全（失業）率
空欄補充 → （秘密）選挙
一問一答 → 重複（小選挙区と比例代表の両方に立候補できる制度は？）
- H22 一問一答 → （麻生太郎）内閣
- H21 一問一答 → （敬老）の日
- H20 文章の説明 → 弥生時代
- H18 空欄補充 → （主要）国首脳会議

地理・歴史・公民と、すべての分野から出題されているが、その中でも公民（時事）の分野からの出題が顕著である。

時事も漢字で書かせるので、時事の用語も漢字で書けるようにしておくこと（時事の漢字は基本事項でOK）

公民の「出る分野」とは？

- 日本国憲法（基本的人権）・・・参政権獲得の歴史
- 国会・・・国の予算（国会）・臨時会・緊急集会
- 内閣・・・内閣総理大臣と国務大臣の関係・総務省
- 裁判・・・違憲立法審査権・国民審査
- 選挙・・・比例代表選挙
- 税・国の財政と借金・社会保障・・・消費税・関税
- 国連
- 地球温暖化
- 情報・・・インターネット

1回のみ出題（大問でテーマになったもの）

裁判・地方の政治・自由貿易・働き方・憲法の改正・サミット・自衛隊の活動

上記の分野については、「時事」にも連動しており、時事で出やすい分野はこの分野から頻出しています。

慶應湘南藤沢中の時事対策って何をすればいいの？と思ったら、まずはこの分野の時事からあたってみて下さい。

公民は範囲が広い

公民のポイントは、「範囲が広いこと」です。

慶應湘南藤沢の公民は、出る分野がしぼられる一方、

裁判・地方の政治・自由貿易・働き方・憲法の改正・サミット・自衛隊の活動

など1回しか出題されない分野もあり、広範囲に出題されるという特徴があります。

勉強の方法としては、まずは出る分野をしっかりと勉強すること。そのあとに、

公民を広範囲にわたり押さえていくことが大切です。

慶應義塾湘南藤沢中の公民には気を引き締める

(1) 難語 (細かい知識) が出る!

例：国会

国会の成立の数の正誤 各議員の総議員の3分の2以上の出席・・・×

通常国会の正誤 通常国会は延長されることはない・・・×

例：内閣

国務大臣は内閣総理大臣による任命と (罷免)、天皇による (認証)

条約の締結にあたり、事前もしくは事後に国会の承認を得なければならない (正誤)

- (2) 漢字指定が頻出 (歴史・地理と比べ、公民の割合が高い)
- (3) 正誤が細かい (上記参照)。そのため試験の時間がとられてします。
- (4) 時事がからむ
- (5) 特定の出る分野がある一方、広範囲から出題される

公民を細かく勉強するための「良い参考書」は？

公民は細かく勉強する必要がありますが、すべての分野でそれをやる必要はありません。

まずは国会・内閣・選挙・日本の財政や社会保障・国連を中心に細かく勉強しましょう。

その際におすすめするのが、以下の参考書になります。とても良い本ですので、ご紹介いたします。

おすすめ書籍 「啓明舎が紡ぐ 中学入試 現代社会 (公民・環境・世界地誌)」

公民は「数字」が出る！

例：

定数を「10増10減」

憲法改正は96条

日本国憲法は昭和21年に公布

国連の分担金の順位

各議員の総議員の3分の1の出席で国会が成立

日本の借金の総額

地方議員の立候補の年齢と任期

日本の国の予算

あと10点とるには？公民をやるのがいい！

社会であと10点をとるにはどの分野が良いか？

おすすめは「公民」の分野です。なぜなら、受験生は慶應湘南藤沢の公民の特徴（例：国会・内閣が難しいこと）を知らないで勉強しているからです。つまり、点数をとるための勉強（どこをやれば点数につながるかどうかの勉強）をしていないのです（していないというよりもわかっていないのです）。そのため、このようなところを押さえるだけで、点数が驚くほど伸びるのです。

公民の過去問をやるときはデータに注意せよ！

試験では、データは新しいものが重要です。

しかし、過去問をみているとデータが古いものがあります。

古いデータをそのまま覚えておくと、失点の原因になりますので、過去問のデータには注意すること（古いものはそのまま覚えず、新しいデータにして覚えること）が重要です。

過去問の古いデータの例として、

H23 大問5（3） 日本国の借金の総額が700兆円と、現在と異なっている。

H26 大問7（5） 国連の分担金の順位が現在と異なっている。

公民で絶対にやってはいけない勉強法

慶應湘南藤沢中の公民は難易度が高い（細かい知識が問われる・正誤が細かい）のが特徴です。

そのため、「答えだけを覚える一問一答的な勉強」、「起伏のない勉強（出るところ、出にくいところがわからず、強弱をつけないで勉強すること）」は非常に危険です。

答えだけを覚えるような一問一答の勉強はしてほしくありませんが、「問題文」を理解し、問題文の知らない語句にマークしながら一問一答をやることには賛成です。つまり、一問一答をやり解答を出していただくだけの勉強はいけません。やるのなら、問題文まで理解し（知らない語句は覚えていく）、解答を出す勉強なら賛成です。また、問題集の解説や、あらゆる過去問の問題文などに触れ、内容を理解しながら、知識を取り組むことに時間をかけることをおすすめします。

早稲田中学校

15年間の入試分析 社会科の傾向と対策とは？

早稲田中の社会科のポイント

試験時間・問題数

試験の時間は30分（40点満点）

全小問数は、35～40問。1問につき、約45秒しか時間はかけられない。

大問の構成

大問1は地理、大問2が歴史、大問3が公民（時事）になっている

早稲田中の1回目・2回目の傾向は？

1回目も2回目も傾向・難易度は同じです。1回目の試験を受けるから1回目の過去問だけを勉強するのではなく、2回目の過去問もやるのが大事。

記述問題の内容

- R2① 大都市の近くで野菜を栽培する主な理由を2つ書く
- H3 1① 地熱発電と温泉の関係を文章中の空欄補充（20文字以内・地理）
官から民とはどのようなことか（字数制限なし・歴史と公民）
- H3 1② 内閣が総辞職するか、衆議院を解散するかを選択するのはどんなときか（公民）
- H3 0① 出題なし
- H3 0② イギリスの移民反対の理由とは？（時事）
- H2 9① 朝鮮戦争による日本への影響（20文字以内・歴史）
- H2 9② 出題なし
- H2 8① 領事裁判権が撤廃されたことについて、文章の空欄補充（10文字以内・歴史）
- H2 8② 八幡製鉄所がなぜ今の場所につくられたか（30文字以内）
- H2 7① 出題なし
- H2 7② 松島が津波の影響を弱めた理由（地理）
- H2 6① 地租とはどのような税のことか（15文字以内・歴史）
- H2 6② 出題なし
- H2 5① 他国と連帯を築く上で障害になることは（15文字以内・文章より抜粋）
- H2 5② 調についての記述（4～6文字・歴史）
- H2 4① 1609年はどんな年か。文章の空欄補充（12文字以内・歴史）
- H2 4② 平清盛の政治について、文章の空欄補充（9～13文字・歴史）
- 第1回目を①、第2回目を②と表記しています。

早稲田中の記述の約70%が歴史の記述

最近、公民（時事）の分野の記述が目立ってきている

出る分野を優先的に勉強すること

レベルは基本事項のものが多く、あえて応用などをやる必要は今のところない

記述の字数は、10文字～20文字

作文用紙などを使い、記述問題を「短くまとめる練習」をしておくこと（すごく重要！！）

H3 1は記述が2問出題（ここ最近にはない傾向）

100文字などの記述には手をださなくてもいい。短文にまとめる演習をすることが大事

地理のポイントと対策とは？

地理の問題数と時間配分

10～15問出題されている（地理は全問題数35～40問）

地理の割合が多いが10～12分前後しかかけることができない（試験時間は30分）。

見直しはもちろん、ゆっくり考えている時間は許されない。

早稲田中の地理はここが出る！

- 日本の地方区分
- 世界遺産
- 災害・国立公園・プレート（過去の噴火・地形）
- オリンピック・博覧会
- 世界の国

以下、これらを詳しく説明をしています。

日本の地方区分

河川（河川の名称・平野の名前・水源から河口までの特徴）

人口（その地方で一番多い県・県庁所在地と最大都市の人口の関係）

雨温図（1～12月の気温と降水量）

農業（野菜・果実の生産順位）

都市の特徴・都道府県の特徴 = 都市名・都道府県名

工業・地場産業・伝統工芸

地形名（河岸段丘など）・島

世界遺産

日本の世界遺産と海外の世界遺産の2つが出る！

その年の世界遺産が重要！

登録予定の世界遺産も出題される

世界遺産があるのはどの都道府県か

文化遺産と自然遺産を区別（数も聞かれる）し、位置関係を頭に入れる

世界遺産 → 派生 → 都道府県の特徴を問う問題

世界遺産の歴史的知識（例：小笠原諸島の返還時の首相は？）

海外の世界遺産とその国の内容（人口密度・時差は頻出！）・どこの国にあるか（世界地図で位置を確認すること！）

ユネスコが出る！本部・ユネスコ憲章・ユネスコを漢字で表記

災害・国立公園・プレート

災害に関し、過去の噴火や阿蘇山のカルデラなどの地形が出題

国立公園の内容と名前

日本近海のプレートと日本の境界であるフォッサマグナ
特に「糸魚川」の語句がよく出る！

オリンピック・博覧会

開催国と候補地の「時差」

今回開催国と次回開催国との「時差」

開催国の位置関係（緯度と経度・開催地の緯度は日本のどの位置か）

日本のオリンピック・万博

- 年号・その前後の出来事（オリンピック・万博）
- 開催地の場所・開催地の県の特徴（万博）
- 開催地の跡地のようす（万博）
- 次回開催地はどこか（万博）
- 日本の博覧会（つくば科学万博・沖縄海洋博も出ている）
- 長野オリンピックが出題されていない

世界の国

世界の国の特徴

人口（人口密度）・面積・貿易品・国旗・歴史的知識・河川・首都名・宗教は必ずおさえておく！また、時差・日本との位置関係は頻出！

どんな国が出たの？

中国（上海）・台湾・香港・韓国・カンボジア・インドネシア（ジャカルタ）・インド・トルコ（イスタンブール）・ロシア・フランス・スペイン（マドリード）・ブラジル・アルゼンチン（ブエノスアイレス）・エジプト・南アフリカ・オーストラリア

- オリンピック開催の国・開催予定の国
- 万博の開催予定の国
- 世界各国の世界遺産とその国の特徴（有名なものだけでOK）
- スペインは特に重要！

スペインの気候・国の特徴・有名建築物・有名料理など、これだけで大問になったことがある
スペインが大問全体に渡り出た。意表をつく出題もあると

これが早稲田中の地理の難しさ！ 早稲田中の地理の出題傾向とは？

世界遺産（潜伏キリシタン）→ 長崎県と（ A ）県

A県の特徴をア～エより選択

カツオ人間のご当地キャラ → この県の特徴をア～エを選択

中国最大の都市（ A ）で、Aの気候を選択

→ オーストラリアの気候（季節は逆だが、温暖湿潤気候である）を選択

群馬県のからっ風の「気圧配置図」をア～エより選択

鹿児島県の県章をみて、県章にのっていない島を大きい順に2つ答える

時差が頻出！しかし、解答を求めるための経度のヒントがない

人口密度が頻出！しかし、計算のためのヒントがない

択捉島が出る！漢字で書く・位置・写真から判断・東京からの距離・歴史的知識

海外の世界遺産が豊富に出題 例：紫禁城・アンコールワットなど

地理はここも注意！

グラフ・表が頻出！

グラフ・表の読み取りは慣れていないと時間がかかる。

速く解くために必ず「最新のデータ」を頭に入れておくこと！

- ・日本の輸入品・輸入先、中国やアメリカの貿易のデータを押さえる！
- ・雨温図（1～12月の気温と降水量）が頻出！出てきた雨温図はまとめておく！
- ・分布図（人口増加率・出生率・第1～3次産業比率など）をまとめておく！
- ・野菜・果物の県別順位の表が頻出！データを頭に入れる！

記述問題が出る！

記述問題の8割は歴史から出題され、地理分野からの頻度は低い。

今までの出題は、災害・国立公園の分野から出題されている！

漢字指定がある

ここ数年は、

択捉島・瀬戸大（橋）・小豆（島）・糸魚川・大西洋・信濃川・名古屋・福岡・火砕流
の漢字を書かせた。

早稲田中は地理・歴史・公民・時事すべてにわたり漢字の指定がある。

問題集をやるときはすべて（記号問題も）漢字で書くようにすること。

本番は速く書いているとミスをしやすいため、書いたら一回見直すこと。

歴史のポイントと対策とは？

歴史の問題数・時間配分

歴史は10～15問出題されている（全小問数35～40問）

試験時間は30分であり、歴史の割合が多いが10～12分前後しか時間をとることができない。

問題文のパターン

●テーマごとに出題（800～1,000文字程度）のパターン

→ 富士山について・リーダーについて・琉球について

●時代ごとに書かれた文章が縦に羅列のパターン

→ 日本の農業の歴史・古都について・税の歴史

●年表・語句が年代順に並んでいるパターン

→ 戦いや政変・日本と朝鮮の関係について

問題の出方とは？

問題文に下線部がある

→ 一問一答・四択の記号選択・正誤の出題へ

問題文に空欄補充がある

→ 四択の記号選択・語句記入の出題へ

入試に出る歴史の時代順位

→ 1位：江戸時代 2位：明治・奈良・平安時代 3位：鎌倉時代・戦後史

歴史の出る分野・人物

- 古墳・遺跡
- 仏教の伝来
- 鳥羽上皇
- 平清盛
- 円覚寺・鎌倉の臨済宗の寺院・栄西と道元
- 浄土真宗
- 枯山水
- 東山文化
- 織田信長・桶狭間の戦い
- 豊臣秀吉に関すること
- 慶長遣欧使節
- 江戸幕府の外交
- 本居宣長
- 幕末に関すること
- 廃藩置県
- 1873年の出来事
- 1881年
- 渋沢栄一
- 板垣退助に関すること
- 日清戦争・裁判権の撤廃
- 韓国併合
- 〇〇出身
- 国際連盟
- 犬養毅
- 山口県について
- イギリスについて
- 佐藤栄作首相
- 小笠原諸島

各時代の出題のクセが重要！

縄文時代～平成まで、各時代のポイントはわかっているだろうか？

受験勉強とはこのポイント（出るところ）をやることだが、このポイントを知らない人があまりにも多くいる。各時代の出方（クセ）を勉強すると驚くほど点数に結びつける。

- 弥生時代は卑弥呼について「難問（黒塚古墳・纏向遺跡）」が出る
- 奈良時代は「律令」の正誤が出る。一段階難しい知識が必要。
- 平安時代は「院政期」の出来事がマニアックに出題（鳥羽上皇・熊野詣・寄進など）
- 鎌倉時代は「前半（承久の乱まで）」の出題比率が高い。円覚寺や比企氏なども出る！
- 室町時代は「東山文化」！
- 安土桃山時代は「方広寺」が3回出題！
- 江戸時代は「慶長遣欧使節」「三大改革」「幕府の貿易・外交」が頻出！
- 戦後史は「佐藤栄作」「1968年のこと」「民営化」を押さえる！

歴史は記述問題が出やすい

早稲田中の記述問題の約7割は歴史が占める

文字数は10文字～30文字程度

内容は典型的なものが中心でクセはみられない

解答の時間は長くても2分程度。書き直しの時間はほぼない

史料の出題割合は？

歴史の史料は一般的に出やすいが、早稲田中は出にくい傾向がある。

絵・写真が「何」かを聞く問題が出る

- R 2 興福寺の中金堂の写真・平城京と平安京に興福寺はどの位置に当たるかを選択
- H 3 1 江戸開城への話し合いの絵より、西郷隆盛・勝海舟を漢字にて書かせた。
- H 3 0 龍安寺の庭園の写真より、枯山水を漢字にて書かせた。
- H 3 0 江戸時代の農具（4つ）があり、指定された農具の絵を選択。名前も書く
- H 2 9 5枚の人物の写真があり、この中から征韓論で敗れ政府を去った人物を2人選択
- H 2 9 山口県の歴史の文章より、山口県の「形」を選択
- H 2 7 富嶽三十六景の浮世絵より、作者の名が出題
また、この作者が活着している間に起きていることを選択
- H 2 6 関西地方の地図より、「平安京・飛鳥・福原」の位置を選択
- H 2 4 サンフランシスコ平和条約にて日本が領有権を放棄した場所を地図より選択
- H 2 4 北条時宗と関係あるものから、元寇の絵を選択

漢字指定がある

問題集をやるときは漢字で書くようにすること。

本番で速く書こうとするとミスをしやすいので、書いたら見直すこと。

選択問題の出題方法にクセがある

早稲田中の選択問題は単純ではない。

ただでさえ時間がないのに、解答方法にクセがある。

- 「～より前」「～より後」のできごとをすべて選びなさい。
- 選択肢を5～6つの語句の中から、2つ・3つ選べ。

正誤問題の割合が高い（3～4問）

早稲田中は「正誤問題」の割合が高いのが特徴。

正誤問題1問につき、解く時間はせいぜい1分程度しかかけられない。

正誤は設問数が多いので、ここを取れるかどうか重要になってくる。

正しいものを選び・誤っているものを選ぶの問題に強くなること。

「難語」が出る

難語は一問一答形式で出る。難語といえど漢字指定もある。

特に「古代～中世」の難問の頻度が高い。

R 2 国分寺の跡が1箇所もない県を選択

R 2 管領の職に就くことができる3家にふくまれる一族を選択

H 3 1 1945年前の義務教育の期間は6年

H 3 1 江戸時代、世界の都市で50万人以上の都市を選べ

H 3 0 舎人親王（選択）

H 3 0 枯山水（書く）

H 2 9 源頼義（書く）

H 2 7 熊野古道（書く）

H 2 6 不輸の権（書く）

H 2 6 源頼政（選択）

過去問は問題文が重要！

過去問は問題文を読む（できれば繰り返し）ことがものすごく重要です！

なぜなら問題文に今後予想される出題の内容が記述されているからです。

例 H 2 4 問題文の中に北条時宗の臨濟宗の寺である円覚寺の記述がある。

↓

H 2 9 円覚寺（記号） 宗派を漢字で記述指定の問題が出題されている。

例 H 2 5 生糸が明治の終わりに生産量・輸出量が世界一の記述がある。

↓

H 3 1 日露戦争の綿糸の輸出量が世界一 ○か✖か？ → ✖ 正誤で聞かれている。

公民のポイントと対策とは？

問題数と解答の時間配分

小問数 8～10 問出題されている（全小問数は 35～40 問）。

試験時間は 30 分であり、地理・歴史の割合が多いため公民にかけられる時間は 8 分前後になる。1 問に 45 秒程度。

問題文の内容が難しい

問題文（800～1,200 文字程度）の文章が出る。

問題文の内容は、

日本国憲法に関するもの・災害・世界のできごと・人口問題・環境問題・

戦争と平和・日本の選挙・年表などに時事が絡んで出題されることが大半を占める。

特に、憲法記念日・終戦記念日に関する新聞の記事（インタビュー記事・演説記事・寄稿）、世の中の様子をとらえた書籍の文章からもよく出る。記事や新聞、書籍からの文章は論說的要素、時事的背景を含んでいるため、小学生では読みづらいのが難点。

問題の出題方法は？

下線部（80%）や空欄補充（20%）にて出題。

→ 一問一答

→ 正誤問題（3～4 問）

→ 下線部の理由などを説明した文章の空欄に 10 文字程度を入れる

→ 記述問題（頻度は低い）

注意事項としては、

問題文の文章は時事がからみ、また新聞の記事などから出題されるため、見慣れない文章に戸惑い、試験時間が過ぎ去る懸念がある。

公民の出る分野

日本国憲法（前文・1条・99条がよく出る）

憲法改正（96条）

基本的人権

内閣・天皇の国事行為

内閣総理大臣 → 総理大臣の名前と写真の一致（戦後）

国際連合 → ユネスコを漢字表記・本部の場所・ユネスコ憲章の穴埋め

核について → 広島原爆が頻出。「爆風」「放射能」を漢字指定

戦争について・9条について

環境問題

災害について

選挙について

民営化

ノーベル平和賞

公民は時事がからむ

国連・戦争や核問題・日本国憲法・災害・日本の政治（国会・内閣・法律など）・世界の政治・
が出題。とくに選挙の年は要注意！

これらの時事が出やすいので、早稲田中の時事対策はまずはこれらを中心に行うこと。

この10年間の「時事」を押さえる

選挙・災害・総理大臣・環境問題に関しては、直近の時事がでるのではなく、この10年間の内容が出題される。そのため、過去の選挙・災害・総理大臣・環境問題を押さえなければならない。この分野の時事は過去10年間の内容を目を通しておくことが大事である。

2018年度の入試 → 2015年のパリ協定の内容一致

2017年度の入試 → 2004～2016年の重要事項の穴埋め

麻生太郎・菅直人総理の穴埋め

2015年度の入試 → 2010年の（ハイチ）の地震

2011年の東日本大震災の正誤

2012年の衆議院選挙の内容一致

早稲田中では記述問題が出る

記述問題の7割は歴史から出題されるが、近年は公民分野から出題されている、
記述の具体的な対策としては、

基本的人権・内閣総理大臣・国際連合・核問題・戦争について

環境問題・災害について・選挙について・民営化の記述問題を必ずやっておくこと。

漢字指定

R2 なし

H3 1① (総務)省 3文字・5文字で→自衛隊・日本赤十字

H3 1② 元首・上皇・慶応

H3 0① (待機)児童

H3 0② 持続可能

H2 9① (経済産業)省

H2 9② 出題なし

H2 8① 非国民・個人・武力・集団的自衛権

H2 8② 歴史的用語だが、公民の設問に出題されていたので記載しておきます。

→ (関東)軍・(南満洲)鉄道・(中国)軍・爆風・放射能

H2 7① 小泉純一郎

H2 7② 出題なし

憲法条文・内閣総理大臣・国際連合・核問題・戦争について・環境問題・災害について・選挙について・民営化、そして話題の語句の漢字は必ず漢字で書けるようにしておく！

難しい語句ではないが、見落としがちなものが出やすいのが特徴。

問題文の内容一致が出る

早稲田中では、前述していますが、問題文が記事や新聞、書籍からの内容になることが多いです。問題文を読み、選択肢から一致させる問題は、問題文を読まなくてはけません。論文的要素・時事的背景を多分に含んでいる文章を読み、内容と合致しているかどうか、選択肢を分けていく作業は高度な内容理解が必要となります。しかも、公民にかけられる時間は8分程度。受験生は与えられた制限の中で問題を解いていかなければならないのです。

勉強方法としては「読解力」や「内容一致」に強くなるというよりも、記事・新聞・書籍の文章を理解する力（似たような文章を事前に読み、文章を理解、文章に慣れること）が必要です。そのためにも、以下のことを参考にしてみてください。

公民対策はこれを読む！

以下のものは早稲田中の問題文に実際に使用されている書籍や関連（傾向）のあるものです。これらの文章を読むことで、早稲田中の公民の文章を読み取る力は飛躍的にアップします。早稲田中の公民の対策にぜひ読んでみて下さい。

- 池上彰の書籍（特に、世の中の動きや情勢に関する内容がいい）
- 「憲法記念日」「終戦記念日」の日に寄せられた社説・論説・記事・コラムを読んでおくといいです。
- ジョン・ダワー氏の記事・インタビュー記事など（ジョン・ダワー氏は公民と歴史にて出題されている。書籍「敗北を抱きしめて」は有名であるが、難しいので、それにまつわる記事などに触れておくといいです）。

正誤問題が頻出（3～4題）

早稲田中は正誤問題が大好きです。地理・歴史でも正誤は頻出しています。

しかしながら、公民の選択肢（ア～エ）は、

- 正誤問題の選択肢（ア～エ）の文が地理・歴史に比べ長い
- 時事事項もからめてあるので、時事を知らないととまどう
- 選択肢に時間的な隔たりがあり迷わせる

→ 例えば、2012年の衆議院選挙の内容をア～エのうちから選べ

選択肢に、2010年、2014年の選挙の内容が含まれていたりする

このように、公民の正誤は地理・歴史に比べ複雑で細かい知識が問われます。

しかも、公民の正誤は最大でも1問につき1分程度しか時間をかけられません。

出題量の多い公民の正誤を攻略するには、正確な知識と、素早い判断力が求められます。

勉強方法

正誤は内容一致問題が中心

- 出る分野・時事・過去10年（選挙・環境問題・総理大臣・災害）について

→ 問題を解いて終わりという勉強は×

→ 選択肢・解説文・参考書を読み、幅広い内容を理解する。

例えば、「内閣について正しいもの」なら、内閣の内容の全体像を一瞬で把握できるような状態にしておかなければいけない

- 戦争・核については戦後〇〇年の節目で聞かれやすい

戦後の核・戦争の日本のあり方の全体像を把握しておく

- 日本国憲法については「理念」が出題されやすい

憲法の条文の空欄補充などの対策もたいせつだが、もっと大きなくくり（内容）を把握しておく

総理大臣について「顔」と「名前」を一致させる

総理大臣については、名前だけでなく顔（写真）を一致させることが重要です。試験には「写真」が出題されるからです。

官邸のホームページには歴代の総理の写真と名前が一覧になり掲載されています。そちらを参照に総理大臣の「顔」と「名前」を一致させておくとよいでしょう。

早稲田実業中等部

15年間の入試分析 社会科の傾向と対策とは？

早稲田実業の社会科のポイント

合格するために優先的にやるものはこれだ！！

過去問の傾向をつかみ出る分野をやる！

2020年の入試は、2007年の入試の過去問をベースに作られている。

2020年だけでなく、15年分の統計をとると、分野別に出るところがかたよっている。

合格を目指すなら、志望校のクセの対策をすること。

つまり、過去問を徹底分析することが重要。

第1志望校なら、15年分やることをすすめます。

漢字指定について

「解答は、とくに指示がない限り、漢字で書くべきところは、正しい漢字を使って答える」と明記。

ふだんから、記号問題でも漢字で解答を書くようにする。

漢字で書けないものは、「書けなかった漢字ノート」をつくっておく。

また、記述問題においても同じことをやる。意外と記述問題の漢字を見落としている人が多い。

早実は記述の割合が高いため、記述においても漢字の対策は絶対やること！

問題数・試験時間・配点

全問題数約40問。試験時間は30分。50点満点

1問にかけられる時間は45秒しかない（40問を30分として考える）

見直しの時間はほぼないと考える。

記述が頻出。記述は1回で書き終える（書き直す時間はない）

大問の構成

大問は3個であり、地理・歴史・公民のいずれかが入る（公民分野が時事や時事の派生問題のときもあり、公民の出題がないときもある）。

大問の順序は地理→歴史→公民のときもあれば、歴史→公民→地理、公民→地理→歴史の順と、毎年のように地理・歴史・公民の順序が変わっている。

15年間の分析をすると、地理・歴史・公民ともに「一定の傾向」が存在します。しかし、地理・歴史・公民の順番を入れ替えただけで、「傾向が変わった」「新しい傾向」と思ってしまう人がいます。これは問題作成者の見ための操作であり、傾向自体は変わっていません。

毎年のように地理・歴史・公民の順序が違うことを事前に知ること、そして、試験が始まったら、問題を一通り眺めて今年はこの順序と確認し、試験に臨んでほしいと思います。

最新の傾向！記述の大幅な変更

早稲田実業は記述対策が必須。

対策としては、細かい知識（応用問題）よりも基本事項をしっかりとっておくことが重要です。

H31より記述（公民の設問）が大幅に変更されました（今までは20～30文字の記述であったがH31は150文字も出題された）。今後もこの傾向が続くかもしれないので、記述（100文字以上）の対策をしておくこと。

今後の傾向はまだ様子見のところがある。地理や歴史においてもこのような文字数の多い記述問題が出るかどうか見定めたいところ。

記述問題の変更・記述の割合が高いのが特徴

記述に関し、はH31に150文字（公民の記述）が出題され、傾向に変化がありました。

次の年である2020年（令和2年）も地理の記述にて150文字以上の記述が出題されました。今後も文字数の多い記述は出てくると思うが、普段は30～50文字の記述をひたすら練習するとよい。文字数が多ければ、語句を増やしたり、つなげたりすればいい。

150文字以外にも30文字の記述（地理・歴史・公民）が数問出題されています

記述の勉強方法は？

- 普段は30～50文字の演習をひたすらやる（作文用紙のマスに字数をはかってやると文字数の感覚がつかみとれる）
- 試験自体が30分のため、難問の記述は出にくい（実際、今までも出ていない。出たとしてもH31のように文字数を多くする形が妥当）本番の解答時間は1分～1分30秒程度が目安。出題者の意図は、標準問題を迅速に、丁寧に正確にミスをすることなく書くことができるか書けるかどうかを試している。
- 記述問題にクセはほとんど見られない
- 普段の勉強は、標準レベルの記述問題をやること（難問は出ない）。また、2日に1回、記述問題をやる。時間を計らなくていいので、理解をこころがけてゆっくりやる。ササっとやらない。間違った記述問題は問題集に付箋を貼っておくか、問題をコピーして「間違った記述ノート」をつくりそこに貼っておくとよい。

R2

- 【公民】 基本的人権とは？の説明を15文字程度で空欄補充
- 【歴史】 1637年にある一揆がおきた理由
- 【歴史】 安土桃山期に陶磁器の生産がさかんになった理由
- 【地理】 自動車会社別販売台数（2018年）、国別生産台数（1999年）、国別生産台数（2018年）、国別国内販売台数（2018年）、アメリカにおける自動車販売の割合の資料、対米自動車輸出の推移の資料を読み取り、トランプ大統領に日本はアメリカの車を買わないのに、アメリカは日本の車をたくさん買っている。この不公平さをどのように説明するか。

H31

- 【歴史】 前方後円墳の分布図より、政権の拠点や支配領域についてどのようなことが推測できるか
- 【歴史】 後三条天皇の政治改革について、その前の3代の天皇と比較し説明（系図をみて説明）
- 【地理】 商品がブランド化されることで、生産者・消費者のそれぞれの立場より説明する
- 【公民】 消費者は消費税が上がる前にどのような行動をするか
- 【公民】 国家福祉のあり方について、2つの意見（方向性）を読む。自分の望む意見を選び、そのマイナスの面をふまえながら、なぜそのようになるのか、150文字前後で説明する

H30

- 【地理】 平日の朝に通学に利用する「時刻表を」選択。その理由を30文字以内で説明
- 【地理】 自動車だけで運ぶのではなく、船や鉄道を組み合わせて運ぶ方法の長所を2つ説明

H29

【地理】福島県が人口減をする大きな要因を説明

【地理】人口の過疎化が進む地域、過密化が進む地域の問題点をそれぞれ書く

【歴史】縄文時代、海岸線が内陸に移動した理由を、指定語句を用いて説明

H28

【地理】長野県のレタスの収穫はなぜ東側に多いのか、「自然条件」「自然的条件以外」を1つずつ答える

【地理】りんごの生産順位、青森と長野県の月別出荷量の表や図を参考に、長野県のリんごの栽培の有利な点を説明

【歴史】世界恐慌のきっかけである、ニューヨークで発生した出来事とは何か

H27

【歴史】奈良時代の税金である「調」について内容を説明する

【歴史】藤原氏が摂政や関白になるためにはどのような条件がひつようだったかを系図を参考に説明する

【公民】「春分の日」「秋分の日」は毎年同じではない。それはどのような条件があるためか説明する

H26

【地理】2012年は前年と比べ、「LNG」の輸入が25%増加している。その理由として考えられることを述べる。

H25

【地理】千葉県の昼夜間人口比率が他の地域よりも低い理由として考えられることを30文字以内で書く

【歴史】日本がソ連と国交を回復するとともに、日本が国際社会で歩むための重要な決定事項がなされた。その決定事項を説明。

H24

【地理】インドネシアは日本向けの魚介類の輸出により、同国の環境が破壊されている。現地はどのような環境の破壊がおこっているか、20文字以内で説明する

H23

【地理】岩手県や宮城県の津波の被害が大きくなると予想された理由を地形の面より20文字以内で説明する。

H22

- 【地理】写真が2枚（雪害・霧害に対する対策）あり、どんな災害に対する工夫かを説明
- 【歴史】江戸時代、朝鮮からの使節はどのような時に遣わされるか。
- 【公民】総選挙という呼び方は衆議院選挙のときだけで、参議院選挙のときは用いない。その理由を書く
- 【公民】18歳に選挙権を下げることでどのような社会的な影響が出るかを書く
- 【公民】高齢化福祉施設において現在どのような問題がおきているか

H21

- 【地理】火山の近くに温泉が出る理由とは
- 【歴史】聖武天皇が大仏を作ろうとした目的とは
- 【歴史】日清戦争の賠償金の使い道を書く
- 【公民】パラリンピックとはどのようなものかを説明

H20

- 【公民】国債費とはどのような支出かを10文字以内で説明

H19

- 【地理】電照菊について、温室にて夜間に電気をつけて栽培する理由を説明
- 【地理】アメリカで自動車を生産する利点を説明
- 【歴史】農民が戸籍を偽った理由を説明
- 【歴史】戦前、女性に対して政治的な差別があった。具体的に説明する。

H18

- 【地理】火力発電所と原子力発電所が地図上に●と▲で位置を示してある。
この位置にある共通の理由を説明。
- 【地理】新エネルギーによる発電量がなかなか増えない原因を説明

H17

- 【地理】米作りを続けるために、各農家はどのような工夫をしているか
- 【地理】東京中央卸売市場に出荷されるレタスの量の表がある。手に入れられるレタスについて表からわかることを書く
- 【地理】表（1970年1980年1990年2000年のさまざまな品目の自給率を示したもの）より、食料自給率が下がる傾向にある理由とは
- 【歴史】昔の千円札は夏目漱石、新しい五千円札は樋口一葉。これらの人物に共通することを説明

【歴史】法隆寺の柱はギリシア建築の影響を受け、どのような形になっているのか

【歴史】遣唐使の廃止が決定し、その後、日本文化に変化がおきたか、具体的に書く。

【公民】新札に施される工夫はどのようなことを目的としているか

【公民】新札が発行されるとなぜ景気がよくなるのか

地理のポイントと対策とは？

小問数・時間配分

小問数は約15問（全問題数40問）

1問平均45秒程度しかかけることができない。

地理にかけられる時間は11～13分（試験時間は30分）

大問の数は？

大問は全部で3つ。地理はそのうち1つ出題される。

図やグラフが多く出題されるのが特徴

グラフ・図で大切なことは、データを入れずに過去問をやっても「勘」で解くことになるということ。最初からグラフ・図の問題をやってはダメ。まずは「データ」を頭に入れることが重要！
とはいっても、あらゆるデータをつめこめばいいものではない。

早実に出るデータ（農業産出額・北海道の農業・漁業・人口など）が大切！

データを頭に入れて（インプット）から問題を解くという手順で勉強すること。

地理のポイントは、いかに速く解くことができるかどうか

早稲田実業の社会科は「図や地形図」が多くみられ、また設問も難しいものもあり、時間を多くかけてしまう

そのためにも過去問や模試で時間配分を身に付けることが重要（早稲田実業は地理・歴史・公民と出題が安定しているため、過去問から時間配分を学びやすい）

地理は10分程度が目安。これ以上をかけられない（本番の目安として、過去問をこの時間で解き、皮膚感覚でわかるようにすること）

「出る分野」は徹底しておく。なぜなら、事前に出そうなところを押さえておくことで、問題の解く速さが速くなる。また、ミスや失点を防ぐことにもつながる。

空欄補充問題が頻出！

問題文（歴史や公民よりも字数は少ない）があり、その空欄に語句を補充するもの。

空欄補充の勉強法は、日頃より問題文や解説文を読み、語句が文章の中でどう使われているかを正確に理解すること。

つまり、空欄補充に語句を当てはめたとき、違和感がなく妥当だと思えるか、違和感を感じるかは、常に正確な文を読み込んでいるかどうかにかかっている。

日頃から文を読むことを徹底することが肝心なのです。

記述の記述の傾向

地理の記述ほぼ毎年記述が出題している（1～2問）。全体では2～4個出題。

記述の文字数に変化が生じている。

今までは30～50文字の記述だけであったが、

H31より、150文字以上の記述問題も出題されるようになった。

H31は歴史にて150文字以上の記述がでたが、R2では地理にて出題された。

150文字以上の記述のほか、30文字の程度の記述が3題ほど出題されるのが特徴。

地理の「出る分野」「テーマ史」

出る分野

- 農業 農業のデータ（果実の都道府県の生産順位は頻出！）
- 漁業 漁業のデータ（都道府県と世界の国の漁獲量の上位5位は重要！）
- 工業 工業のデータ（特に製造品出荷額について）
- 人口 人口のデータ（日本の総人口・人口増加・減少の都道府県は重要）
- 自給率 自給率のデータ
- 雨温図
- 世界の国
- 発電
- 災害
- 世界遺産
- 河川
- 湖
- 半島・島
- 輸入品
- 輸送について
- 都道府県
- 都市

位置関係をつかむことが重要！

島・半島の場所

河川はどこを流れているか、河川の特徴を押さえる

世界遺産の場所

分布図（発電は頻出）

テーマ史

北海道 → 農業・平野・山脈・雨温図、歴史も出る！生産1位のデータも重要！

東日本大震災 → 震災後、震災関連が2年に1回の頻度で出ている

地理でやってはいけない勉強とは？

● 図・グラフ・絵の読み取りの勉強がおろそか。

→ 早稲田実業では図やグラフが頻出するため、それらに慣れておかないと解くのに時間がかかり、最終的に問題が解き終わらないことさえある。

● 地理で出る分野を知らない。

→ 地理は時間がかかるため知っているとも時間の短縮につながる

● 過去問で試験時間の時間配分をおこなっていない。

→ 早稲田実業は融合問題が出ず、大問は地理・歴史・公民とわかれ、大問の構成に至っては安定している。そのため、過去問は時間配分を身につける格好の材料。時間配分をいかに身につけられるかどうか、合否に大きく影響する。

歴史のポイントと対策とは？

歴史の小問数・時間配分

小問数は約 問（全問題数 40 問）

1 問平均 45 秒程度しかかけることができない。

歴史にかけられる時間は 分（試験時間は 30 分）

問題の形式

歴史の問題文の文章が長いのが特徴。この数年は 2000 文字以上。

設問は、「正誤問題」「一問一答」「空欄補充」が中心。

「並べ替え」「史料」「漢字指定」も出題される。

歴史の出る分野—時代の出る順

- 1 江戸時代
- 2 明治時代・平安時代
- 3 鎌倉時代・安土桃山時代・奈良時代
- 4 室町時代・飛鳥時代
- 5 大正時代・昭和（戦時中）
- 6 縄文時代・弥生時代・古墳時代・戦後史

早稲田実業の歴史はここが出る！

縄文時代

- 一問一答 → 黒曜石・貝塚・土偶
- 土偶の写真から説明を選択
- 記述問題 → 海岸線が内陸へと移動した理由

黒曜石などの語句や記述問題など、難易度が高いこと、この数年は特に頻出度が高い

弥生時代

- 卑弥呼について 箸墓古墳（下線部）と史料 → 卑弥呼
魏志倭人伝の史料 → 史料と四択の文章の内容一致
卑弥呼は（魏）に使いを送る（2回）
- 金印に記された文字は？金印が志賀島で発見された（一問一答）
- つりがね型の青銅器とは？
- 環濠集落について正しいものを選択 → 物見やぐら・甕棺墓・柵や掘の文章を選択
- 遺跡 → 佐賀より吉野ヶ里遺跡

弥生時代の設問が少ない。

その中でも「卑弥呼」「金印」の出題率が高い

とくに、卑弥呼の応用問題、史料を丁寧に理解しておくこと

古墳時代

- 一問一答で古墳の名 → 稻荷山古墳
一問一答で古墳の表面に並べてあるもの → はにわ（ひらがな3文字）・はにわの写真も選択
- 正誤 → ヤマト政権の正誤
- 記述問題 → 古墳の分布図をみて当時の政権が日本をどのように支配していたかを答える
古墳自体の頻度がものすごく低い。しかし、H31で急に記述問題が出題された。

飛鳥時代

- 並べ替え → 第1回の遣唐使・白村江の戦い・その他語句を古い順に並べ替える
- 正誤 → 法隆寺の説明を選択・遣隋使の正誤・聖徳太子の正誤・蘇我馬子について述べたもの
- 富本銭 → 「富本」を漢字2文字で書く・富本銭の次の貨幣は？
H26年度の問題文に富本銭の文字がある
- 記述 → 法隆寺の柱の中央部はふくらんでいる
- 空欄補充 → (隋)に小野妹子を派遣・推古天皇の(摂政)である聖徳太子
- 写真 → 法隆寺の写真を選択

聖徳太子に関することが頻出！

税・お金に関すること(富本銭)は重要！

奈良時代

- 写真・図 → 正倉院の宝物の正誤(写真をみて選択)・写真より木簡を答える・長安の位置
唐招提寺の写真を選択
- 記述問題 → 大仏をつくった目的・調について説明する・戸籍を偽った理由
- 山上憶良 一問一答にて2回
- 奈良時代の税 → 庸(一問一答)・調について説明する
- 和同開珎 → 銅が献上されて作られた。その国の名を選択・富本銭の次の貨幣は？
- 難問 → 太安万侶(書かせた)
- 三笠の山の歌(2回) → 奈良にある山の歌は？作者は？

その他、班田収授法、鑑真、天平文化が出題されている。

奈良時代に関することは、ほぼ毎年出題。頻度が高い・記述問題も多い

キーワードとして、山上憶良・和同開珎・三笠の山の歌・

「写真・図」もよく出ている

税や貨幣に関すること(調・庸・和同開珎)は必ずおぼえておく

平安時代

- 平将門・藤原純友 → 親王（空欄補充）・下線部から平将門・藤原純友（選択）・年号
- 遣唐使の廃止 → 菅原道真（一問一答・空欄補充）・唐を空欄補充
- 記述問題 → 後三条天皇が政治を行えた理由・関白になるための条件とは？
どちらの記述も藤原氏関連であり、どちらも系図を参照し解答するものであった
遣唐使の廃止が原因で、その後の日本の文化にどのような変化がおきたか
- 国風文化 → 紫式部（一問一答）
- 正誤 → 荘園に関するもの
- 史料 → 道長の歌。望月の空欄補充（記号選択）
- 平清盛 → この時代に中国銭が使用されたこと・平治の乱にて源義朝を破る・日（宋）貿易・大輪田泊
- 奥州藤原氏 → 奥州藤原氏に関する正誤・源義経

「平将門・藤原純友」「藤原摂関政治」「平清盛」に関することが頻出！

桓武天皇や坂上田村麻呂、院政の出題がほぼみあたらない

摂関政治に関しては、2回記述問題がでていたので、詳しくやっておく

鎌倉時代

- 栄西の臨済宗と道元の曹洞宗
→ 鎌倉仏教の組み合わせで出題・道元の宗派と寺院名その場所・宋に渡り日本に臨済宗と曹洞宗をもたらす・栄西が初代住職をつとめた寺院を選択。臨済宗と曹洞宗の説明を選択・栄西や道元が伝えた新しい仏教をまとめて何というか
- 元寇
→ 徳政令の意味を正誤・鎮西探題（一問一答・漢字指定）・マルコポーロの本の名前・（元）の襲来・石塁はどここの国と戦うために作られたか・
- 鎌倉時代の将軍について・将軍がおこなったこと
→ 地頭・御家人（文の空欄補充）・鎌倉殿とは誰か？・北条義時の時代のものの正誤・北条泰時を文の空欄補充
- 文化 → 東大寺南大門・金剛力士像（写真をみながら一問一答）

鎌倉時代は「3つのポイント」で出題される！

★栄西と道元

★元寇に関すること

★鎌倉時代の将軍について、将軍がおこなったこと

室町時代

●足利義満について

→ 足利義満についての正誤（2回）・勘合貿易のときの中国の王朝名・（明）との間に国交・

●琉球

→ 首里城・並べ替えで琉球王国の統一の語句

●並べ替え

→ 南北朝統一・勘合貿易の開始・応仁の乱・琉球王国の統一

●史料

→ 正長の土一揆の史料（4行）があり、この史料は何の事件のことかを聞いた。

「足利義満に関すること」と「琉球王国」について出題頻度が高い

東山文化（その時期）がほとんど出題されていない

安土桃山時代

●石見銀山の場所を地図より選択

●戦国大名

→ 戦国大名とその領地の組み合わせの正誤（2回）・武田信玄（文章の空欄補充・書かせる）

●織田信長

→ 安土城（文章の空欄補充・書かせる）・正誤

●豊臣秀吉

→ 秀吉の正誤（2回）・検地の正誤・石高制（文章の空欄補充・書かせる）・刀狩の史料の空欄補充・問題文の時代背景を選択（刀狩・検地のものを選択）

●桃山文化

→ 千利休（漢字3文字）

有田（一問一答）・有田の場所を地図より選択・問題文よりこの場所の陶磁器の名産品は？

この時期に陶磁器の生産が盛んになった理由とは？

出雲阿国の絵より歌舞伎・唐獅子図屏風（一問一答）

「豊臣秀吉に関すること」「戦国大名と分国法」「桃山文化」の出題度は高い

織田信長も出題されているが出題数は少ない

江戸時代

●徳川家康

→ 内政よりも外交が出る（朱印船貿易で日本町の形成・ヤンヨーステン・朝鮮通信使・通信使の記述・1609年に薩摩は琉球支配）

●徳川秀忠～家綱

秀忠：1615年の武家諸法度

家光：オランダ商館を（平戸）

家綱：シャクシャインの戦い（一問一答）

●徳川綱吉と新井白石

→ 大岡忠相・綱吉の正誤（2回）・金の含有を減らした小判を作った将軍がポイント
新井白石の正誤

●ペリーの来航とそのあと（幕末）

→ 日米和親条約の（下田）（函館）2回出題、下田は（神奈川）へ

→ 日米修好通商条約の正誤

→ 安政の大獄・生糸の輸出・王政復古の号令（一問一答）、戊辰戦争の並べ替え

●江戸時代の文化

元禄文化 → 松尾芭蕉

化政文化 → 十返舎一九・葛飾北斎・東海道中膝栗毛の文章の空欄補充・歌川広重の絵を選択
択・空欄補充にて（鳴滝塾）

ポイントは、

将軍＝そのときの出来事で出題される。

三代改革の出題率が低い。

文化は化政文化の比重が高いことがあげられる。

明治時代 3つにわけて説明。とくに前半が頻出！！

●明治のはじめ（明治維新・身分・文明開化と殖産興業・西南戦争・大久保利通）が頻出！

五箇条のご誓文の史料を見て何の史料か？書かせる

問題文の空欄補充にて、()年は廃藩置県・年号を書かさせた

1869・1871の政府の政策は？

地租改正の利点について正しい文を選択

士族の下に設けられた身分名は？平民・書かさせた

江戸時代の大名は何とよばれるようになったか？華族・書かさせた

新橋 ← 鉄道の始発駅は？書かせる

牛なべ ← 明治の時期の肉料理・絵を参考に書かせる

富岡製糸場を書かせ、位置を選ばせる（一問一答・絵より）

富岡製糸場の写真がある。その写真について文章があり、空欄補充で女工や生糸を補充

問題文の空欄補充にて大久保利通を書かさせた

大久保利通（一問一答・2回）

西南戦争・書かさせた（一問一答・空欄補充：田原坂がヒント）

西郷隆盛・征韓論・書かさせた（一問一答）

問題文の空欄補充。1873年の（地租改正）により土地所有者に地券～

●国会開設の約束から政党の動き・大隈重信

板垣退助は（自由党）、大隈重信は（立憲改進黨）

政府が国会を約束した年の西暦を書かさせた

国会開設に向けてつくった政党 → 立憲改進黨

1872年～1888年の間の出来事は？選択

→ 板垣退助の自由党、大隈重信の立憲改進黨の結成

二十一箇条の要求をつきつけたときの日本の首相は？大隈重信（書かさせた）

明治時代に下線部。この時代に税の額により制限されていた権利は？ → 参政権

●明治時代の文化と八幡製鉄所。日清日露が出題されにくい

賠償金の使い道は？ → 八幡製鉄所の建設（記述）

八幡製鉄所がつくられたところのこととしての正誤

これ以外にも明治時代の文化、条約改正を成功させた小村寿太郎、1889年の選挙の有権者の資格と投票方法（公開投票）が出題されている。

●貨幣のところで文化が出ている

大正時代

●第一次世界大戦

- サラエボ事件（1914年の年号と一致のもの）・国際連盟の都市は？・
二十一か条の要求のときの総理の名前・二十一か条の要求の正誤
日本は青島を攻略に下線部があり、正しいものを選択
→ 第一次大戦の参加理由である日英同盟を聞いている

●原敬

- 原敬の正誤・原敬内閣のときの有権者の資格・米の高騰のグラフから米騒動
そのほかに関東大震災の後の出来事を選ぶものとして、治安維持法が出題

●史料

- 平塚雷鳥の「青鞥」の史料の空欄補充

●文化として高村光太郎

大正時代は、

「第一次世界大戦から国際協調へ」「米騒動から原敬内閣の流れ」の出題が90%を占める
文化の出題は高村光太郎が出題された。

昭和（戦前）時代

●1929年に発生した世界恐慌は、ニューヨークの何の出来事が理由か（記述）

●戦時中に銅像などが撤去された理由を書く（記述）

●沖縄について

アメリカとの地上戦の島の名前は？第二次大戦の正誤 → 沖縄では地上戦が行われた
戦前に関する記述問題が問われる

沖縄については「地理で米軍基地」「琉球王国」など、よく出題されているため、詳しくやって
おいた方がよい。

他の学校によく出る「年号」などは出題されにくい。

昭和（戦後）時代

- 記述 → 1956年になされた重要な決定を書く
- 空欄補充 → (1972)年・日中共同声明を(北京)にて調印・(1945)年に満20歳以上の男女に有権者の資格
- 一問一答 → 日中平和友好条約(書かせた)・東京オリンピック(1964年がヒント・選択)
- H20の歴史は戦後史のみ出題された
 - 田中角栄、吉田茂、鳩山一郎、佐藤栄作、小泉純一郎の説明文がある。説明文を古い順に並べる。それぞれの首相に関係の深いことがらを選択。
 - サンフランシスコ平和条約の正誤、日ソ共同宣言内容(北方四島のあり方)の正誤・もはや戦後ではないの経済白書がだされたときの総理を選択

絵・写真が頻出!

R2 富岡製糸場の絵より、内容説明の空欄補充

H31 土偶の写真 → 正誤四択

正倉院の宝物ではないものは? 4つの写真の中から正倉院の宝物が3つある。

藤原氏の系図 → 記述問題

H30 出題なし

H29 高村光太郎の作品は? 彫刻の写真が答えになっている。

H27 木簡の写真より、これは何?

藤原氏の系図 → 記述問題

犬追物の写真より、これは何とよばれているか?

明治時代の牛鍋を食べる絵より、料理名を答える。

H26 出題なし

H24 日本地図(長篠の戦いの場所・本能寺の変の場所・延暦寺の場所・大阪城の場所・名護屋の場所)からこの場所と文章が一致しているかどうか出題。

風神雷神図屏風・東洲斎写楽の役者絵・八橋蒔絵螺鈿硯箱・見返り美人、それぞれの作者と一致しているかどうかを聞いてきている。

H 2 3 出題なし

H 2 2 朝鮮通信使の文がり、朝鮮通信使の絵を選択。

ほかの選択肢には、南蛮貿易・ペリーの浦賀来航・琉球王国からの使節の絵がある。

琉球の首里城と守礼門の写真があり、この国名は？地図上のどこか？

征服されたあとの貿易関係を選択

はにわの写真を選択（人物と円筒の2つ解答）

はにわ以外に、土偶・弥生土器・縄文土器が選択肢にある。

H 2 1 石見銀山の場所を日本地図より選択

H 2 0 出題なし

H 1 9 土偶（写真） → この人形を何というか？

高松塚古墳（写真） → この古墳の名前は？

出雲阿国の写真 → 江戸時代のこの踊りを何というか？

見返り美人・東洲斎写楽の絵・喜多川歌麿（ポッピンを吹く女）・葛飾北斎の絵・歌川広重の絵のうち、歌川広重のものを選択

H 1 9 富岡製糸場の絵 → 場所（日本地図より選択）

H 1 8 原爆の被害を伝える公園に下線部 → 長崎平和祈念像の写真を選択。

H 1 7 法隆寺の写真を選択 → 選択肢には円覚寺・法隆寺・正倉院・唐招提寺がある。

中国の地図があり、長安の位置が出題。

東大寺南大門の写真より、東大寺南大門と金剛力士像が出題。

この数年は「史料」が頻出！

- H 3 1 刀狩 → 空欄補充 (一揆) をくわだてるもの
五箇条の御誓文の史料 → この方針は何とよばれていたか？
- H 2 9 二条河原落書の史料 → この時の天皇は誰？
- H 2 8 正長の土一揆の史料 → この一揆の名前を当時の年号を入れて書く
- H 2 7 魏志倭人伝の史料 → 史料の内容と合わないものを選択
東海道中膝栗毛の引用文より、空欄補充
- H 2 5 魏志倭人伝の史料 → 箸墓古墳は誰の墓か？この史料の関係ある人物を書け
三笠山の和歌
- H 1 7 三笠の山の和歌 → 作者名を書け

公民のポイントと対策とは？

公民の出題の特徴

公民が出題される年度と、でない年度がある。

出るときは多く出題されるが、出ないときは全く出題されない。

その年度によって出題量に「差」があるのが早稲田実業の公民の特徴。

公民のクセ

大問のすべての問題が公民の設問ではなく、歴史・地理・時事が必ずといっていいくらい絡んでくる融合問題の作りになっている。

公民と時事との関係

公民に関し、公民の内容がほとんど出題されずに時事問題が中心となることもある（5～8年に1度）。ただし、いつなるか、どのような時事が出題されるかは、過去の傾向を分析しても読めない。

時事は出ても数問のときもあれば、大問全体が時事のときもある。この傾向も読めない。そのため、いつでるか、どのくらいの問題数が出るかはわからないが、対策はやらなければいけない。時事対策は、深く応用問題をやるよりは基本事項をしっかり押さえること。

問題文が長いのが特徴

平均して800～1200文字の問題文の文章が出題されている

H31	600文字
H30	1000文字
H29	800文字
H28	1300文字
H27	800文字
H25	1100文字
H24	900文字
H23	800文字
H22	600文字

公民の「出る分野」とは？

これまでの問題数（過去15年間）が少ない。そのため、分野別に分けようとしても問題数自体が少ないので、分けにくいのが事実（傾向がつかみにくい）。

その中でも、次にあげる出る分野は頻度が高い。対策としてはこの分野を重点的にやっていくことが大切。勉強するときには、まずはこの分野から優先的にやる。そのあとに、ほかのところやるようにしましょう。

基本的人権・憲法改正は空欄補充問題が多い。条文を中心に勉強する。

国会は「国会の種類」「国会の仕事」、内閣は「内閣の仕事」「省庁」が出題。基本事項を押さえる。

「選挙」「税・財政」は難易度が高い。単純な問題ではなく、一步踏み込んだ、考える出題になっている。選挙については時間をかけ、丁寧にやること。複雑かつ記述問題の比重も高い。

公民の内容を前半と後半に分けると、前半分野からは難易度のやさしめの問題が出題。後半部分は難易度が高めの問題が出題される。

三権分立・地方自治・社会保障・国際連合からの出題は非常に少ない。
ここの分野はやらなければいけないが、優先順位はあとにする。

早稲田実業中では「テーマ史」が頻出！

- 東日本大震災について
- 新紙幣・貨幣・お金に関すること
- サミット
- 北海道に関すること
- 沖縄に関すること
- 江戸・東京問題
- 大隈重信に関すること（佐賀県に関すること）

新紙幣・貨幣・お金について

●H26

五千円札の女性作家の名前を書く

夏目漱石と同時期に活躍し、軍医でもあった作家の作品を選択

新渡戸稲造が事務局次長になった機関の本部はどの都市にあったか

二千円札に守礼門が書かれているが、この城の名前を書く

野口英世が病気の研究中に、自身もかかってしまった病気の名前は？

●H17

旧札から新札に以降したときの設問

旧札・新札に書かれた人物名についての設問

夏目漱石・樋口一葉（空欄）に共通していること

夏目漱石・福沢諭吉・伊藤博文の名前の空欄補充

新渡戸稲造の説明している文の説明を選択

お札の図柄を決めた行政機関の名前を書く

新札の工夫はどのようなことを目的としているか

新札が発行すると景気が良くなる理由は？

税・お金に関すること

- H27 調について・関所を置いた理由（通行税）
- H26 徳政令の意味を選択
税・貨幣史（布の税とは・慶長大判の単位は・国内の紙幣についてなど）
- H25 富本銭の次の貨幣は？徳川綱吉の貨幣鑄造について
- H21 もっとも古いお金に刻まれていた文字2文字をかく
質を落とした小判をつくった将軍の名は？
- H20 税のテーマ（設問9問が税・税の歴史に関すること）
綱吉は貨幣の質を下げて大量に発行した
- H17 新紙幣について（大問1まるまる1つ）

大隈重信について

- 大隈重信は（立憲改進黨）
- 国会開設に向けてつくった政党 → 立憲改進黨
- 1872年～1888年の間の出来事は？
→ 板垣退助の自由党、大隈重信の立憲改進黨の結成
- 二十一箇条の要求をつきつけたときの日本の首相は？大隈重信を書かせた
- 二十一か条の要求の正誤
- 令和2年の歴史は、大問が大隈重信についての生涯について

豊島岡女子中学校

15年間の入試分析

社会科の傾向と対策とは？

豊島岡女子中の社会科のポイント

試験の特徴—試験時間・配点・問題数

- ・試験時間は25分（理科と合わせて50分）
- ・50点満点
- ・解答小問数は25問
- ・1問に約60秒の解答時間

合格者の平均点は？何点ミスで不合格？

社会科の合格点は38点とって下さい。

正答率は76%。

本番では6問のミスが合否を分けます。5問までなら合格の範囲内とって下さい。

大問の構成

大問が2つのときもあれば、3つのときもある。

2つのときは、地理・歴史・公民の中から2つ融合し、1つが単体で出題される。

3つのときは、地理・歴史・公民それぞれ大問にて出題される

問題文が長いのが特長

800文字～1,500文字の間の長い問題文がが特長。

大問が2つの場合、1つが1,200文字、もう1つが800文字程度の文章のものがよくみられる。また、大問が3つの場合（大問それぞれが地理・歴史・公民の場合）、地理に関しては問題文が少ないか、ほとんどない場合が多い（地理はグラフ・図が多いため、問題文というよりはグラフや図で設問を構成している）。

問題文が長いといっても、試験のときに問題文を全部すみからすみまで読む人はまずいない。なぜなら、時間がないからです。ほとんどの受験生が、問題文に引かれた下線部、空欄補充の前後に目を通しながら問題を解くことでしょう。もちろん、この解き方でいいですが、豊島岡女子中は下線部や空欄補充の前後だけでなく、もう一步離れたところに「ヒント」があつたりする場合があります。もし、問題を解いていてわからない場合があれば、あせらず、下線部や空欄補充のもう一步離れたところを読むようにして下さい。もしかしたら、そこにヒントがあるかもしれません。

試験の時間はたったの25分

グラフ・地形図の読み取り・正誤問題の多さ・記述問題・漢字指定・並べ替え問題・時事問題と、出題の内容が盛りだくさんの試験であり、時間が足りない。

事前に「出る分野」「出題のクセ」をどれだけわかるかが重要。

3回の試験の傾向と難易度は？

3回の試験とも「傾向」「難易度」は同じです。

試験の難易度は？

難易度はこの15年間（試験回数は36回）において一定で推移している。

問題の出題が偏っているのが特徴。

地理のポイントと対策とは？

地理のポイント

全解答数は25問（理科と合わせて50分・50点満点）

地理は8～9問出題

地理にかけられる時間は8～9分

1問につき約60秒。

地形図やグラフの読み取り・正誤問題・記述問題があり、1問あたりの時間が圧迫する。

結果、試験時間に余裕はない。いかに速く正確に解けるかが問われる。

見直しはもちろん、ゆっくり考えている時間は許されない。

正誤問題が頻出！解くにはスピードと正確さが大切

1問に最大60秒程度しかないため、ア～エの選択肢をそれぞれ読み取るのに時間をかけることができない。

選択肢を行ったり来たりして考える時間はない

選択肢を一つひとつ丁寧に正確に確認し、一発で解答を出すこと

地理の出る分野

- 日本の輸出入・貿易
- 輸送（自動車・鉄道・船・航空機）
- 緯度経度
- 世界の国々について
- 環境
- 都道府県
- 都市名
- 農業
- 電力
- 工業
- 産業
- 地形図
- 新幹線
- 雨温図
- 人口
- 災害
- 鳥・植物
- 空港・港
- 省庁
- 漁業
- 自給率
- 日本の地形（島・湖・半島・海峡）
- 祭り・伝統工芸

地理 漢字指定

豊島岡女子中では「記号選択」が多い。

しかし、漢字指定もあるため、ふだんの勉強は漢字にて書くようにすること。

- R2 ① なし
- H3 1 ① (循環)型社会
- H3 1 ② 国土地理院
- H3 1 ③ 新潟水俣病
- H3 0 ① 京浜工業地帯
- H3 0 ② 湿地 (に関する条約)
- H3 0 ③ なし
- H2 9 ① 政令
- H2 9 ② 国土交通省・人工知能
- H2 9 ③ なし
- H2 8 ① 一汁三菜
- H2 8 ② 液状化
- H2 8 ③ なし
- H2 7 ① なし
- H2 7 ② 小笠原気団
- H2 7 ③ 茨城県
- H2 6 ① 黄砂
- H2 6 ② なし
- H2 6 ③ 立春
- H2 5 ① 十和田湖
- H2 5 ② 遠野
- H2 4 ① 青森県
- H2 4 ② 安積疏水
- H2 3 ① なし
- H2 3 ② 減反
- H2 2 ① 潮目
- H2 2 ② 八戸
- H2 1 ① 扇状地
- H2 1 ② 能登半島
- H2 0 ① なし
- H2 0 ② 保安林
- H1 9 ① なし

- H19② 豊後水道
- H18① 遊牧
- H18② 政令指定都市・佐渡市
- H17① 信濃川・国土交通省・農業用水
- H17② 八郎潟・減反

地形図が頻出！！

- ほぼ毎回の試験で出題される
- 地形図の読み取りは時間がとられる。25分の試験でいかに時間配分ができるかがポイントとなる。

都道府県が頻出！ここがポイント！

都道府県自体の内容もでるが、
都道府県に関するグラフがでるため、事前に「データ」を押さえておくのがポイント。

- 都道府県において工業生産額の多いところ・少ないところはどこか
都道府県ごとの工業生産の割合
- 都道府県において農業生産額の多いところ・少ないところはどこか
都道府県ごとの農業産出の割合
- 耕地面積・田の割合・山地の割合（数字の大きいもの・小さいものに注意）
- 商品販売額・宿泊者数

独特のクセがある

- 気団 → 小笠原気団・オホーツク気団・シベリア高気圧が出題
- 鳥 → キジ・トキ・カラスが出題
- 緯度・経度の計算問題・メルカトル図法の読み取りが出題
「気団」「鳥」に関しては豊島岡女子中のクセである。
1問のミスが合否につながるため、クセは対策することが重要。

歴史のポイントと対策とは？

歴史のポイント

小問数は8～10問

1問を約60秒

歴史にかけられる時間は8分程度

問題文が800文字～1,500文字と長いのが特長。

正誤問題と漢字指定が多く、記述問題も出ることもあるため時間がとられる。

出る時代の順位

1位 江戸時代

2位 明治時代

3位 平安時代

4位 奈良時代

5位 鎌倉時代

6位 室町時代

7位 戦後史

8位 弥生時代・飛鳥時代・安土桃山時代

9位 戦前（昭和時代）

10位 縄文時代・古墳時代・大正時代

歴史の各時代のどのようなところが出題されているのか、分かっているでしょうか？

豊島岡女子中学校を受験するには各時代どのようなところが出題されるのか知る必要があります。なぜなら、そこが点数の要であり、豊島岡女子中学校のクセであるからです。

歴史の勉強において優先順位をつけ、頻度の高いところからやることが、点数を伸ばす最高の手段なのである。

縄文時代は「黒曜石・翡翠が頻出。縄文時代の年号＝キーワードをつなげる」

弥生時代は「弥生時代（3～4世紀）＝卑弥呼・魏・光武帝・漢・楽浪郡をつなげる」

古墳時代は「頻度は低い。キーワードだけではなく、時代の内容を理解できているか」

飛鳥時代は「白村江・遣隋使・隋の統一・藤原京の時期・蘇我氏の暗殺や滅亡が詳細に出題」

奈良時代は「国名・人物名・木簡・聖武天皇＝天平文化＝正倉院＝東大寺」に出題

平安時代は「院政の内容・浄土教の背景・荘園と源平合戦が細かく出る」

鎌倉時代は「クセ＝一所懸命や八幡神社・御成敗式目が頻出・元寇が頻出・幕府滅亡が詳細」

室町時代は「一揆・義満と勘合貿易・室町の経済分野」

安土桃山時代は「石見銀山（尼子家と毛利家の争い）・信長よりも豊臣秀吉が多く出る！」

江戸時代は「綱吉・新井白石・大塩平八郎・三代改革！また、外国との関係が頻出！・

化政文化よりも元禄文化の方が多頻出！」

明治時代は「殖産興業・地租改正・1889年～1890年の出来事・日清戦争」

大正時代は「第一世界大戦・関東大震災・シベリア出兵・治安維持法」

昭和時代（戦前）は「世界恐慌が頻出！語句の並べ替え」

昭和時代（戦後）は「食料不足・戦後教育・アメリカとの関わり・核問題・阪神淡路大震災」

歴史特有のクセとは？

学校ごとに各時代の出題される場所は違いますが、豊島岡女子中学校はその中でもクセが色濃く出題されている学校です。各時代、どのようなところ出題されやすいか、事前にしっかり対策をしておくことが重要です。

歴史 絵・写真の出題傾向

- R2 なし
- H3 1 ① 地図を見て福山はどのような町であったか
- H3 1 ② 八郎潟の地図 → 埋め立てられた理由
1942年・1947年に発行された地図を見て、1942年に飛行場が描かれていない理由
- H3 1 ③ なし
- H3 1 ① なし
- H3 0 ② 遣唐使の航路 → 変更された理由
- H3 0 ③ なし
- H2 9 ① なし
- H2 9 ② なし
- H2 9 ③ 西南戦争に発行された軍用手標
- H2 8 ① なし
- H2 8 ② なし
- H2 8 ③ 沼田市の地形図 → どのような町として形成されたか
- H2 7 ① 貝塚の分布図
- H2 7 ② 地形図（元寇の防塁の位置が描かれている）を見て、防塁の位置が内陸にある理由
- H2 7 ③ なし
- H2 6 ① なし
- H2 6 ② なし
- H2 6 ③ なし
- H2 5 ① なし
- H2 5 ② なし
- H2 4 ① 金閣・平等院阿弥陀如来像・龍安寺・中尊寺より、昨年世界遺産にとうろくされたものを選ぶ
- H2 4 ② なし
- H2 4 ③ 銅鐸・埴輪・石包丁・土偶 → 縄文時代のものを選ぶ
- H2 3 ① なし
- H2 3 ② なし
- H2 2 ① 蒙古襲来絵巻 → 日本軍との戦いについて記述
- H2 2 ② 紀伊国阿氏河荘民の訴状
- H2 1 ① 鳥毛立女屏風・法隆寺金堂壁画・源氏物語絵巻・高松塚古墳壁画
- H2 1 ② 富本銭・和同開珎・天正小判・伊藤博文

- H20① 地図（本郷地区を描いた江戸の切絵図）より、この地図の大名の領地はどこか
H20② なし
H19① なし
H19② なし
H18① なし
H18② なし
H17① なし
H17② なし

漢字指定のポイント

- R 2 ① 白河上皇・世界恐慌
- H 3 1 ① 城下町・正倉院
- H 3 1 ② 光明子・寄合・本願寺・板垣退助
- H 3 1 ③ 武蔵・栄西・鹿鳴館
- H 3 0 ① 郡司・朱子学
- H 3 0 ② 阿倍仲麻呂・徒然草
- H 3 0 ③ 天平・延暦・
- H 2 9 ① 富士山・長屋王・徳政令
- H 2 9 ② 禁中並公家書法度・校倉造
- H 2 9 ③ 小作争議・西南戦争・和同開珎
- H 2 8 ① 大化元年
- H 2 8 ② 太宰府
- H 2 8 ③ 吉田松陰・法隆寺・第五福竜丸・長岡京
- H 2 7 ① 藤原氏
- H 2 7 ② 田沼意次・太閤検地・関所
- H 2 7 ③ 通信使・甲午農民戦争・特需
- H 2 6 ① 石山本願寺・地券
- H 2 6 ② 極楽浄土・蔵屋敷・浮世絵
- H 2 6 ③ 東大寺・一所懸命
- H 2 5 ① 高麗・倭寇
- H 2 5 ② 生糸・遠野・出雲
- H 2 4 ① 台湾・刀狩令
- H 2 4 ② 菅原道真
- H 2 3 ① 松前藩・土族・南蛮貿易
- H 2 3 ② 聖武天皇・正岡子規・日米修好通商条約
おおのやすまろ（ひらがなで書く）
- H 2 2 ① 正倉院・日本国王・核ぬき本土なみ
- H 2 2 ② 地頭・前島密・木簡
- H 2 1 ① 足利義満
- H 2 1 ② 徳政令・田沼意次
- H 2 0 ① 関東大震災・東京大学・中華人民共和国
- H 2 0 ② 蝦夷・石見銀山
- H 1 9 ① 中臣鎌足

- H19② 大阪の陣・板垣退助
- H18① 武家諸法度・戊辰戦争・大阪万博
- H18② 郡里・風土記・守護
- H17① 教育基本法・寺子屋
- H17② 弥生土器・枕草子・鎖国・日本書紀

正誤の傾向と分析

正誤の95%が「～の説明・～の述べたもの」の正誤を選択する問題

下線部の「理由」「結果」「影響」は少ない

ポイント① 例：平城京・一遍・自由民権運動の語句に下線部があり、細かく聞かれる

ポイント② 時間軸を聞いてくる → 紀元前3000年～2000年・8世紀前半の出来事など

ポイント③ 弥生・奈良・平安・室町時代は〇〇時代の説明と、時代ごとの内容が聞かれやすい

江戸時代は「改革」がよく出る

江戸時代は大きな枠で聞かれる → 江戸時代の「農民の統制」「庶民」「農業」「商業」

「交通制度」「幕府の政治」など

ポイント④ 正誤で出る時代は、(1) 江戸 (2) 奈良 (3) 弥生 (4) 室町

(5) 鎌倉・明治・縄文 (6) 平安 (7) 戦後 (8) 飛鳥

(9) 古墳・安土桃山・大正・昭和の戦前

並べ替え問題が頻出！！

※並べ替え問題の文言ですが、ここでは簡略化して記載してあります。

- R2 ① 大日本帝国憲法・内閣制度・富岡製糸場・八幡製鉄所
- H3 1 ① 足利尊氏が鎌倉幕府を滅ぼす・後鳥羽上皇が隠岐に流される
最澄の天台宗・白河上皇の院政・清少納言の枕草子
- H3 1 ② なし
- H3 1 ③ 冠位十二階・百濟滅亡・壬申の乱・隋の中国統一
- H3 0 ① 応仁の乱・桶狭間の戦い・正長の土一揆・鉄砲の伝来
- H3 0 ② 大坂夏の陣・ラクスマンの来航・松尾芭蕉が奥の細道を著す・大塩平八郎の乱
- H3 0 ③ 元禄・承久・天正・天保
- H2 9 ① アメリカ同時多発テロ・日中共同声明・阪神淡路大震災・日米安保の改定・
国際連盟の脱退
- H2 9 ② 関東大震災・米騒動・治安維持法・二十一か条の要求・
- H2 9 ③ 唐招提寺・空海の密教・平城京の遷都・白村江の戦いで敗北
- H2 8 ① なし
- H2 8 ② 魏志倭人伝のものより古いものを選ぶ → 金印・楽浪郡の記載のあるもの
沖縄地上戦・真珠湾攻撃・南京事件・広島への原爆投下
足尾銅山と田中正造・和同開珎・石見銀山・天正小判
- H2 7 ① 沖縄返還・警察予備隊・石油危機・日ソ共同宣言
- H2 6 ① 江戸時代の文化物が5つあり、それを古い順に並べる
- H2 6 ② 銀閣・正長の土一揆・勘合貿易
第一次世界大戦発生から第二次世界大戦発生の間におきたことを選択
- H2 6 ③ 沖縄戦・サイパンの陥落・真珠湾攻撃・東京大空襲・ミッドウェーの海戦
- H2 5 ① ラクスマンの来航・上げ米の制・株仲間の解散・生類憐れみの令・
- H2 5 ② なし
- H2 4 ① 平家滅亡の年より前のものを選択
- H2 4 ② 永仁の徳政令・御成敗式目・六波羅探題の設置・
- H2 3 ① 1899年以前の出来事を選択
- H2 3 ② 韓国併合・教育勅語・シベリア出兵・下関条約・関東大震災
- H2 2 ① 倭の五王・金印・卑弥呼が使いを送る・楽浪郡
- H2 2 ② 日清戦争と日露戦争の間の出来事を選ぶ
望月の歌よりも前に読まれた歌を1～4の中より選ぶ
- H2 1 ① 関東大震災の後の出来事を選ぶ
- H2 1 ② なし

- H20① 縄文時代の語句の並び替え
- H20② なし
- H19① 源頼朝と足利尊氏の間出来事を選ぶ
堀田永年私財法・大仏・良房が摂政となる・平安京・貨幣が初めて発行
- H19② ラジオ開始の同じ年のものを選ぶ
- H18① なし
- H18② 1878年から1888年間に起きていないものを選ぶ
- H17① 院政・遣唐使の廃止・清和天皇の即位・道長の摂政・保元の乱
- H17② 教育勅語と同じ年のものを選ぶ

下線部・空欄補充の問題はここに着目！

実際の例として、正福寺地蔵堂に下線部があり、この下線部が建てられた時期の日本の状況を選ぶ問題が出題された。

下線部のあとの問題文を読見続けると、1407年というキーワードが見つかる（すぐ近くにキーワードはなかった）。

一般的に、下線部の問題、空欄補充の問題は、前後の語句をみれば、おおよその内容が確認できる。しかし、豊島岡女子中は、前後の語句だけではなく、もう少し前か後に「ヒント」が隠されている場合がある。

公民と時事のポイント

公民のポイント

公民は8～9問出題

公民にかけられる時間は8～9分

1問につき60秒。

問題文が1,000文字程度と長いのが特長。

正誤問題・漢字指定が多く、記述問題も出ることもあるため時間がとられる。

出題のクセと傾向

- ・正誤問題の比率が高く難易度が高い（後述詳細）
- ・一問一答は基本問題が中心だが、時事の一問一答も出る
- ・選択問題では、基本4択だが、5択のものもある。
- ・憲法は条文の空欄補充が出る。内容を押さえること。

公民の「正誤」はここを押さえる

- 豊島岡女子の公民は正誤の比率が高い。正誤ができるかどうか合否に大きく関わる
- 基本的人権・女性の権利・日本の産休育休・国会・衆議院の優越・司法制度の改革・三権分立・日本の選挙制度・市町村議会と市町村長の関係など、正誤の95%が語句の説明が正しいか誤っているかを問うもの。
- 語句が非常に広範囲な意味合いを持つ（抽象度が高い）ため、語句に対しての広範囲な内容理解が要求される。「一問一答の問題文」「過去問などの解説文」「参考書」などを読み込むことが大切。
- クセとしては、年度にもよるが「誤っているものを選び」という設問が多く見られる。また、正誤の見分け方が複雑（難易度が高い）である。

出題範囲が他の中学校より広いのが特徴

- 日本国憲法
- 大日本帝国憲法
- 天皇の仕事
- 憲法改正
- 基本的人権
- 結婚・産休・育休・女性について
- 国会
- 内閣
- 裁判所
- 三権分立
- 選挙
- 地方自治
- 民営と国営
- お金と仕事
- 財政
- 社会保障
- 税金
- 景気
- 為替
- カタカナ語
- アルファベット
- 自衛隊について
- 日本の首相について
- 国連

公民の出る順位とは？

- 1位 国会 → 突出！！
- 2位 日本国憲法・基本的人権・裁判所・地方自治・選挙
- 3位 内閣・社会保障・天皇の仕事・憲法改正
結婚・産休・育休・女性について
- 4位 自衛隊について・大日本帝国憲法・日本の首相について
- 5位 為替・アルファベット・カタカナ語・お金と仕事・三権分立・民営と国営・国連・災害
- 6位 景気・財政

時事の対策は不可欠！！

- R2 ①
- H3 1① カジノ法案
- H3 1② 電子書籍の正誤
- H3 0① メキシコへの不法移民を防ぐため国境に壁をつくる理由の記述
- H3 0② ロヒンギャ難民問題
- H2 9② AIを4文字で書く
- H2 9③ 待機児童
- H2 7② クリミア半島の紛争問題
- H2 6① 世界の民主化運動の正誤
- H2 6③ アベノミクスの内容が書かれている文章の空欄補充
TPPの内容の空欄補充
- H2 5① 2009年10月の当時の総理大臣は誰か
- H2 5② 昨年のオリンピックにて、初めて女性選手を参加させた国の名前
- H2 4① 2009年の世界的金融危機の名称
- H2 4② エジプトのムバラク政権
- H2 3① 石油流出の被害が出た地域を地図より選ぶ
- H2 3② ギリシャの財政再建より、ギリシャの場所を選ぶ
- H2 2① ソマリアの海賊について、ソマリアの場所を選ぶ

公民 漢字指定のポイント

- R 2 ① 自衛隊・非政府組織・再審
- H 3 1 ① 上告・阪神淡路大震災
- H 3 1 ② 特別法
- H 3 1 ③ 憲法改正
- H 3 0 ① 厚生労働省・生存権
- H 3 0 ② 公務員
- H 3 0 ③ 公聴会・地方交付税交付金
- H 2 9 ① 政令
- H 2 9 ② 年金
- H 2 9 ③ 待機児童
- H 2 8 ① 発議
- H 2 8 ② 戦力・交戦権・国連平和維持活動・集团的自衛権
- H 2 8 ③ 分業
- H 2 7 ① 表現の自由・信任
- H 2 7 ② 元首・施行
- H 2 7 ③ 直接請求件
- H 2 6 ① 国債・議長・間接民主制
- H 2 6 ② 自衛権・民法・幸福追求
- H 2 6 ③ 支持率・関税・参議院
- H 2 5 ① 生存権・生活保護
- H 2 5 ② 核家族・天皇
- H 2 4 ① なし
- H 2 4 ② 信教の自由・内閣不信任案
- H 2 3 ① 違憲立法審査権
- H 2 3 ② 財務省・国会議員
- H 2 2 ① なし
- H 2 2 ② 勤労
- H 2 1 ① 貴族院・連帯
- H 2 1 ② 国民審査・交戦権・自衛隊
- H 2 0 ① 無党派・国民投票法
- H 2 0 ② 介護年金
- H 1 9 ① 民事裁判
- H 1 9 ② 集会・三権分立・裁判員制度

H 1 8 ① 総辞職

H 1 8 ② 環境省・阪神淡路大震災

H 1 7 ① 違憲立法審査権・原水爆禁止世界大会

H 1 7 ② 財務省

青山学院中等部

15年間の入試分析 社会科の傾向と対策とは？

青山学院中等部の社会科のポイント

試験の特徴—試験時間・配点・問題数

試験時間は25分

50点満点

小問数は30～40問

- ① 1問に40秒程度しかかけられない。解く時間がないのが特徴
- ② 難関中学の割には全体的に問題が易しい傾向である。そのため高得点が予想される。
ミスは許されない試験でもある。
- ③ 正誤問題が非常に多いのが特徴。

解く時間がかかること、また正誤問題の出来不出来が合否を左右する。そのため普段から正誤問題の対策が必要

試験の特徴—出題形式

青学の入試問題の6～7割は「正誤問題」である。

正しくないものを選べ H30は5問・H29は2問 H28は1問 H27は4問

正しいものを選べ H30は4問・H29は6問 H28は3問 H27は3問

正しい組み合わせ H30は5問・H29は5問 H28は0問 H27は7問

また、正しいもの、正しくないものに関して「すべて選べ」「2つ選べ」などと指定される。

対策としては、普段から正誤問題の対策が必須。

試験時間はたったの25分しかないため、正誤に対策をできるかどうか合格のカギとなる。

青山学院中等部の社会科の難易度は？

青学は難関中学校の割に問題はやさしいということがよく言われます。

しかし、R2では計算問題、R2・H3 1では、選択問題（正誤問題）でまぎらわしい語句が出題されていたり、細かい知識が問われました。以前にも地理だけは難しいのが出題されると思っ
てはいましたが、R2・H3 1ともに全体的に難易度が上昇しています。つまり、簡単に問題を解くことができなくなっているのです。もちろん、この傾向はいつまで続くかわかりません。しかし、他の難関中学校でも難易度がアップしているため、青学だけそう簡単にやさしくなるとは思えません。入試は難化していると思われるので、普段から細かい知識に目を配らせることが重要です。

記述問題のポイント

R2 なし

H3 1 なし

H3 0 地租改正のおもな目的について（15文字以内で説明）

H2 9 問題文の文章の空欄補充。村落の重要な立地条件について10字以内で書く

H2 8 なし

H2 7 なし

H2 6 なし

H2 5 なし

H2 4 なし

H2 3 なし

H2 2 なし

H2 1 なし

①記述問題の頻度は非常に低いのが特徴。

②受験勉強は頻度が高い順からやること。なぜなら、記述が苦手だからといって記述ばかりやっても本番に出ない可能性がある。まずは青学に「出る分野」を固めることが先決。

③記述に関しては、出題頻度があまりにも低いので傾向が読めない。

もし傾向としたら、「出る分野」に沿った記述をしておくこと。

④やってはいけないことは、50文字・100文字指定の長い説明問題（今までに出たことがないため）。

⑤記述の対策をするなら、10～20文字程度の記述問題をやること。10～20文字に慣れるように作文用紙に解答を書いてもいい。

⑥記述問題は長くても1分程度しか時間をかけられない。問題の演習をするときは時間を計ってやることが大切。

漢字指定の大事なポイント

漢字指定とは、社会科の解答を「漢字」で書かせることです。

ただし、漢字指定1つ取っても青山学院中等部は「クセ」があります。

そのため、合格するにはしっかりした対策が必要になってきます。

①漢字指定は毎年平均2～3問出題される

カタカナ指定も含めると5つも出るときもある

②地理・歴史・公民・時事の分野のすべての分野に手漢字指定がある。

③同じものが繰り返し出題される

例：木簡は2回出題されている。また出る可能性があるので注意！

また、過去に出されたもの（過去問のもの）は必ず書けるようにしておくこと！

④どんな傾向・対策をしておけばいいの？

歴史・・・人物名がよく出る（足利義政・源義経）

残りは基本事項（律令・木簡・日本橋・富岡）がほとんどなのでふだんから漢字で書くようにすること

地理・・・地名がよく出る（香川県・夕張市・長崎県・限界集落）

クセのある語句が出る（外来種・逆輸入）

公民・・・過去の傾向は基本事項ばかり（連立政権・政令）

時事・・・海の（正倉院）など、基本事項が出題

時事の難しい語句は覚える必要はない

漢字指定であっても歴史・地理・公民に傾向はある。傾向にそった対策を必ずしておくこと。

⑤青学の入試問題は割と難易度は低い。ゆえに、このような問題で差が開くことを頭に入れておくこと。一方で、青学の特徴として、試験は正誤問題が7～8割を占める。そのため、過去問などで対策をしていると記号ばかりの解答になりがち。大切なことは記号問題においても（すべての問題において）「漢字」で書く練習をしておくこと。

地理のポイントと対策とは？

① リード文の空欄補充問題が入試攻略のカギ

正誤問題・一問一答形式も出るが、青学では空欄補充問題が非常に多いです。

穴埋め問題をいかに正確に、しかも速く解けるかが入試を攻略するポイントなのです。

② 大問は1・2が地理になることが多い

1・2について、1の問題量が多く2が2問程度の時があれば、1・2とも量が多い時もある

基本的に大問1・2が地理、そのあとが歴史、公民のパターンがほとんど。

学校によっては地理・歴史・公民の出題構成が毎年バラバラのところもある。つまり、バラバラだと、傾向が変わっているのではと錯覚をしてしまったり、時間配分も想定しづらい。

しかし、青学は大問の1・2に地理がきているので、問題の構成は例年通り、時間配分もしやすい。

試験は比較的取り組みやすいと思われる。

③ 時間の使い方には要注意！

時間がかかる問題（H29・28のように）が最初に来て、時間を使いすぎることがある。

ここでの（地理での）時間配分をいかに気をつけるかが、あとの時間配分にも影響を及ぼす

また、地形図も頻出であり、地形図をゆっくり解いていては時間が足りなくなる

④ 漢字の指定がある

地名がよく出る（香川県・夕張市・長崎県・限界集落）

クセのある語句が出る（外来種・逆輸入）

地名は普段から練習はできるが、クセのある語句は勉強しづらいかもしれない。ただ、クセのある語句は「聞いたことのある言葉」でもある。クセのある言葉の傾向はつかめないが、普段何気ない言葉、知っているよという言葉があれば気に留めておくことが大事です。なぜなら、わかっている言葉や気にかけていない言葉は忘れやすいからです。知っていて、でも漢字で書こうとすると書けない言葉を青学はついてくるのです。

⑤ 小問数は全体30問としたら、地理の割合は30～40%（年度によってバラバラでもある）

⑥ 地理のポイントは、いかに時間を速くとけるかどうか。

図や地形図があり、また問題が難しいものもあり、時間を多くかけてしまいがなのが、青学の特徴です。

過去問で時間配分を体得（皮膚感覚で時間をつかむ）することが重要。

地理の問題を解く時間は8分程度が目安。これ時間以上、地理に時間をかけられない。

頻出の地形図および「地理の出る分野」は徹底しておく。なぜなら、事前に出そうなところをやっておくことで、問題の解く速さが速くなるから。また、ミスをしにくくなる。

でも、普段はゆっくりていねいな勉強を心がける（普段は正確さ・理解度を中心にやる）。試験2ヶ月前から解くスピードを速くしていくこと（速くするというのは自分ではわかりにくいので、必ずタイマーをつけてやる）

⑦ 地理でやってはいけない勉強とは？

漢字指定を知らない

空欄補充問題の対策をやらないこと → 空欄補充が頻出

出る分野を知らないこと → 地理は時間がかかるため知っていると時間の短縮につながる。

普段の勉強から試験時間の時間配分を考えていない。

→入試前2ヶ月は速く解く練習、その前は丁寧に取り組むこと。

地理の出る分野を大公開！！

地理の出る分野—地形図①

10年間に5回出題されているので頻出！

→ H31・29・27・25・22

地形図の読み取りが出る！

- ・地図記号（名称・説明：どのような地図記号であるか・○からみて○の地図記号はどの方位か）
- ・土地利用として正しいものを選択（どのような地形に立地しているか）
 - リアス海岸を示したものを4つの地形図より選択・○市はどのような地形にあるかなど
- ・川はどの方角からどの方角へ流れているの？
- ・雨温図
- ・計算（地図上の2cmは実際どのくらいか？）
- ・地図に出てきた路線の名称
- ・その都市（地形図）の昔の特徴（歴史問題との融合）
- ・地形図からどの都道府県かを答える
- ・標高が最も高い地点（ア～エの中から）を選択

勉強方法は？

地形図の問題は普段から必ずやる

地形図ノート作り（問題集に付箋）

青学の傾向をまとめるノート作り

地理の出る分野—地形図②

地図に出てくる「河川」の深い問題（関連問題）が出題

- ・この川は南から？北から流れているのか？・記号
- ・A川の源流は〇〇の山に属する
- ・〇〇については日本の何番目の河川か？
- ・〇川の説明の正誤問題
- ・〇川が以前流れていた場所は用水路となっている。その用水路名は？・記号

勉強方法は？

「河川」の勉強はしっかりやっておくこと

自分で地形図の問題をやり、河川が出てきたら、その川はもちろん、その川の合流する川などもま
とめておくこと（地図に出てこない河川を聞かれてくるのが青学の特徴）

河川の特徴（源流・〇〇は何番目か）を詳しくやっておく

地形図でその河川が流れる方向

地理の出る分野—世界遺産

青学には世界遺産が頻出！

特徴は、新しいものから古いものまで出題される

H3 1 潜伏キリシタン遺跡が出題 世界遺産に登録された県名を選択

H3 0 沖ノ島が出題 海の（正倉院）

白神山地の特徴を選択・白神山地の場所

日本の世界遺産の正誤問題

H2 9 白川郷・五箇山は何県に属するか

H2 5 2011年、世界自然遺産に登録されたものは？

H1 8 世界遺産に登録されていないところ＝古都鎌倉の文化遺産

勉強方法は？

- ① 新しいもの（時事として）も出るため、その年の世界遺産は必ず頭に入れておく
- ② 内容をしっかり把握・理解する（正誤問題で問われるため）
- ③ 遺産の場所がよく出る
- ④ 今までの世界遺産も②・③を中心にやっておく
- ⑤ 基本事項は「漢字」で書けるようにしておく

地理の出る分野—雨温図

15年間で出題された雨温図

高松市 (H27)

長野市 (H22)

上越市・旭川市・尾鷲市 (H21)

勉強方法は？

問題集で雨温図が出たらをまとめておくこと

地理の出る分野—原子力発電所

H20 中越地震後に調査を受けた原発名

原子力発電の燃料とは

石油危機以降、(原子力) 発電の割合が増加

日本で原子力発電所の最も多い県は？ (記号)

H24 菅直人前首相が運転停止を要請した発電所の名称と地図より位置を選択

H28 再稼働した原子力発電所の名称と地図より位置を選択

勉強方法は？

東日本大震災のあとは「原発」「災害」「地震 (プレート)」に関するものが出ているが、

原発に関しては、東日本大震災前から出題されている

今後は原発の再稼働など、時事に関することを注視しておくこと

地理の出る分野—自然災害・プレート

H31 伊豆半島がのっているプレートの名称

H26 文章中の空欄補充に (ハザードマップ) を書かせた

浸水被害が台地でおこる原因の内容を選択 (記号)

液状化現象の説明の正誤

H24 2009年におこった地震を何というか (記号・時事)

地震発生のメカニズムについてプレートの名を空欄補充で説明

1991年 (雲仙・普賢岳) の大噴火

大問3は東日本大震災が自動車会社の生産活動に与えた影響について

地理の出る分野—「政令指定都市」「都市の人口」

H26 政令指定都市についての大問

→ 政令指定都市の中で道府県庁所在地と異なるものを選択

→ 道府県庁所在地よりも人口が多いところを1つ選択

H21 中国・四国地方で県庁所在地よりも人口が多い都市は？

H17 仙台平野の中心都市の説明に当てはまるものを選択＝政令指定都市
勉強方法は？

数年間に一度「政令指定都市」に関するものが出題される

どこの都市が政令指定都市であるか

県庁所在地と政令指定都市の人口の違い

政令指定都市の内容をつかんでおく

地理の出る分野—石油関連

R2 シェール革命 ← 一問一答 2018年に米国の原油生産量は世界1位より

H28 中東から日本への石油資源の運搬ルート

H23 日本における燃料の最大の輸入品は？（記号）＝原油

H20 大問がエネルギーに関するもの

日本の石油輸入の9割を占める地域（漢字指定）

日本の原油輸入相手国 → サウジアラビア・アラブ首長国連邦・（イラン）

※現在はクウェート

勉強方法は？

石油に関する歴史（中東戦争）

日本の石油輸入国・石油運搬ルートを必ずまとめておく

世界の石油の動向

地理の出る分野—新幹線

- H 2 8 九州新幹線の起点の駅・記号＝博多
東海道新幹線の終着駅・記号＝新大阪
2015年開業の新幹線の路線名と日本地図上のルートを日本地図より選択
- H 2 4 中越地震により（上越）新幹線の脱線・記号

地理の出る分野—瀬戸大橋

- H 2 7 瀬戸大橋の説明文を選択
瀬戸大橋の場所を本州四国連絡橋の中から選択
- H 2 1 瀬戸大橋のルート名を答える（記号） → 児島～坂出ルート

地理の出る分野—バブル崩壊というキーワード

- H 3 0 文章の空欄補充 → 1990年代の（バブル経済崩壊）
- H 2 6 バブル崩壊後、地価の下落などで人口流入する現象とは（記号）＝都心回帰現象

地理の出る分野（時事にも出題されやすい）—環境問題

環境問題はタイムリーな側面が重要

- R 2 中国のプラスチック輸入規制とバーゼル条約
正誤の正しい選択肢 → 座礁による環境汚染・大型船舶による海洋生物の越境移動
- H 3 1 海の汚染 → マイクロプラスチック
- H 3 0 エコツアーリズムの内容一致・記号選択
- H 2 4 COP17の内容の正誤問題
- H 2 0 バイオエタノールについての問題点を選択
（メタンガス）＝赤外線を吸収する・（京都）議定書：文章の空欄補充

地理の出る分野—自動車

- H2 3 海外で生産された自動車が日本に輸入されること（一問一答・漢字指定）
- H2 4 東日本大震災が自動車会社の生産活動に与えた影響について・四択
自動車会社が操業を停止した理由・その自動車生産の仕組みとは・記号選択
自動車会社が海外で生産を増やす理由・四択（正誤）
世界の自動車の生産台数の推移のグラフより、アメリカ・中国・日本を選択
- H2 8 車社会のことを別の言葉で表す・記号選択
日本初の高速道路は（ ）・記号選択
自動車の交通の特色について・内容に合う文章を選択

地理の出る分野—日本の地方

- H3 0 中部地方（静岡県・伊豆の地形図）
- H2 9 中部地方（富山県の地形図）
- H2 7 四国地方（香川県の地形図）
- H2 6 東京
- H2 2 長野県の地形図
- H2 1 中国・四国地方

青学は「四国地方」の出題率が高い。

H2 7・2 1・1 7で四国地方が出題されている。

とくにH2 7は大問まるまる四国地方あであった。

1 5年間分析して日本の地方で一番出ているのは四国地方である。

- ・河川（吉野川と香川用水・仁淀川）
- ・雨温図（高松市）
- ・都市（県庁所在地 → 高松市）
- ・農業（ため池は2回・高知平野の促成栽培）
- ・瀬戸大橋 → 場所を地図より選択（2回） 瀬戸大橋の内容を選択
- ・路線（予讃線）

地理に出る分野—地形

H 3 1 日本の島について

→ 2種類の島の説明文があり、それぞれの島の名称を記号で選択

H 2 9 村落に関する文章の空欄補充

→ 扇状地・台地・三角州・輪中を空欄に当てはめていく・記号

H 2 6 東京に関する文章の空欄補充

→ 下町・武蔵野台地・山の手の場所を空欄補充・記号

H 2 5 海岸について

→ 福井県の（若狭）湾・秋田県の（男鹿）半島・記号

海岸線2位は（長崎）県・漢字指定

リアス海岸を説明している文章の空欄補充・リアス海岸の地形図を4つのうちから選

択

日本で3番目に大きい湖は（サロマ）湖

H 2 4 桜島は（大隅）半島とつながっている

H 2 2 長野県＝扇状地

H 2 1 （カルスト）地形

H 1 8 半島について

→ 半島の説明文（5つ）を読み、その半島の図を北から並び替え

半島の説明から県名を書く・漢字指定

H 1 7 有明海の造成の方法とは？ひらがなで書く

歴史のポイントと対策とは？

歴史の出題について

歴史は、「語句・文章の並べ替え」・「年表挿入」・「史料」「絵・写真」「正誤問題」・「一問一答」から出題される。青学の歴史の勉強法これらを押さえることである。

歴史の出題割合は？

大問1・2が地理、最後の大問2～3つが公民・時事。それ以外が歴史。

歴史の割合が高いのが特徴。

歴史にかけられる時間は多くても10分

漢字指定がある

- (1) 人物名がよく出る（足利義政・源義経など）。人物名は漢字で書けるようにしておく！
- (2) 残りは基本事項（律令・木簡・日本橋・富岡）がほとんどなのでふだんから漢字で書くようにすること。

記述問題が出るときもある

記述はこの15年に1回だけ。「地租改正のおもな目的は？」という問題が出題された。

記述の頻度は低いので、記述の対策は後回しにしてもいいが、突然出ることもあるので、記述問題の基本問題（基本事項の説明）はできるようにしておいた方がいい。

歴史の難易度

ここ数年、歴史は若干難しくなっています。

R2の入試の歴史は正誤問題の選択で「すべて当てはまるものを選べ」という設問が多く、受験生を悩ませたのではないのでしょうか。

青学では平氏に関するものが頻出し、今までは平氏に関しての基本問題（重要問題・クセのない問題）ばかりでした。しかし、H31に関しては、（後白河）天皇の武士として戦うことや、孫が（安徳）天皇になることが出題。一步難しい問題が出題されていた。これは平氏だけでなく入試全体的に細かい部分が出題されていました。

過去問の解説などで、青学の問題は易しいなどと書いてありますが、「易しい」「基本問題だから大丈夫」と思っていては危険です。今後は細部にわたる勉強もすることが重要です。

歴史の「出る分野」

- 年号
- 特産物「調」「木簡」
- 聖武天皇・大仏・光明皇后
- 源義経（平泉）
- 平家について
- 元について
- 北条氏（戦国時代）
- 豊臣秀吉
- 徳川家光のころの出来事
- 江戸時代の船
- 長州藩の攘夷
- 井伊直弼
- 地租改正
- 富岡製糸場
- 五街道
- 下関条約
- 五日市憲法
- 関東大震災
- 満州について
- 戦後の外交
- 沖縄について

「歴史の史料」が出る！

R 2 なし

H 3 1 五日市憲法の史料 → 憲法案の名称

H 2 7 鎖国に関する史料 → 鎖国にいたる過程の出来事の記事を並べ替える

H 2 5 五箇条のご誓文の史料 → 史料に関して正しい文を選択

十七条の憲法 → 史料の関係深い人物が行なったことの正しいものを選択

→ この2つの史料の年代の隔たりはどのくらいあるか？

H 2 4 刀狩の史料 → 百姓たちに従わせるための口実を漢字2文字にて空欄補充する

H 2 2 地租改正・慶安の御触書・五日市憲法・下関条約の史料 → 史料を読んで設問

H 2 1 魏志倭人伝・律令・平家物語（平家でなければ人ではない）・秀吉の禁教令・

日本の下層社会（製糸工女の実態）の史料

→ 各史料に関してそれぞれ設問がある

また、律令の史料と最も関係の深い史料（徴兵令・公事方御定書・異国船打払令・貧窮問

答歌）を選択。史料と史料を結びつける問題も出ている

H 2 0 検地の史料 → 豊臣秀吉の出した命令がヒント。また史料の内容を読み、検地の語句を空欄補充をする

語句・文章の並べ替えが出る！

R 2

教育基本法制定・日本国憲法公布・朝鮮戦争勃発・ソ連と国交回復

H 3 1

並べ替えではないが、1964年以前のできごとを①～⑤の語句からすべて選べという問題が出題

H 3 0

玉音放送・東京大空襲・沖縄占領・広島に原爆投下の語句を並べ替え

H 2 9

文章と写真を順番に並べ替え

徳川家光の時期（自己紹介の文章）

聖武天皇の時期（自己紹介の文章）

足利義政の時期（自己紹介の文章）

厳島神社（写真）

平等院鳳凰堂（写真）

H 2 8

写真の並べ替え

広島原爆投下（写真）

日本と米英開戦の新聞（写真）

ミッドウェー海戦の新聞（写真）

リットン調査団（写真）

H 2 7

語句の並べ替え

●源平の戦いについて。一の谷の戦い・石橋山の戦い・屋島の戦い・壇ノ浦の戦いの起こった順に並べ替え

●ポルトガル船の来航禁止・鎖国令の史料・島原天草一揆の語句や史料の並べ替え

H 2 5

絵の並べ替え

富岡製糸場（絵）

下関講和会議（絵）

八幡製鉄所（絵）

大日本帝国憲法の発布式（絵）

H 2 4

3～4行の文章の並べ替え、古い方から3番目を選択

鉄砲伝来の文章

武士の形成の文章

豪族の古墳・権力に関する文章

刀狩の史料

徴兵令発布の文章

開国と攘夷の文章

H 2 0

文はどの時代か？を読み取って、並べ替えをする

ア～オには各時代の農業の説明をした文章が書かれている。並べて3番目に来るものはどれか

H 1 8

絵の並べ替え。

これらを起こった順に並べると、2番目・3番目になるのは？

源氏と平氏の最後の戦い（絵）

元寇・文永の役（絵）

シャクシャインの蜂起（写真）

原爆投下後の原爆ドーム（写真）

H 1 7

語句の並べ替え問題

日中戦争・国連脱退・満州国をつくった・ドイツ・イタリアと三国同盟を締結・アメリカとの戦争が始まった

年表の挿入問題が出る！

以下の語句は年表のどの時期に当てはまるか？が出題

- R 2 PKO により自衛隊がカンボジアに派遣・民主党政権成立・日韓基本条約・日本の国連加盟
- H 3 1 平清盛について → 1156年に後白河天皇の武士として戦う・1180年に孫が
安徳天皇になる
- H 3 0 大日本帝国憲法・西南戦争・薩英戦争・廃藩置県
- H 2 9 アメリカ同時多発テロ・サンフランシスコ平和条約・日韓基本条約・ベルリンの壁崩壊
- H 2 8 薩長同盟・日米修好通商条約
- H 2 7 沖縄戦の終結日を選択
B 2 9 による東京大空襲・ドイツの降伏・ソ連が日本に参戦・ポツダム宣言の受諾
- H 2 6 ドイツの降伏・五・一五事件・ニ・ニ六事件・世界恐慌・広島に原爆投下・世界恐慌
満州国の建国
- H 2 5 北朝と南朝に分裂・守護と地頭が置かれた・承久の乱がおこる
- H 2 0 大問が年表に関するもの。年表に書かれた「年号」「出来事」に関して設問がある
青学の年表問題は、年表に語句を挿入するもの。しかし、H 2 0 は年表が長く、語句の挿入はもちろん、年号や出来事から派生する問題が出題された。

「絵・写真」が出る！

- R 2 なし
- H 3 1 なし
- H 3 0 平治物語絵巻 → この戦いに勝った人物と地位
- H 2 9 巖島神社・平等院 → この建物が建てられた時代を時代順に並べ替え
- H 2 8 銅鐸・木簡 → 写真の名称をそれぞれ答える。その時代の内容を選択
蔵屋敷 → 絵に描かれている都市名を選択
被爆後の原爆ドーム・米英開戦の新聞・ミッドウェー開戦の新聞・リットン調査団
→ 起こった順に並べ替え
- H 2 7 ベルリンの壁の崩壊 → 写真の出来事の空欄補充
- H 2 6 日露戦争の風刺絵 → 風刺画から日露戦争に関する設問
東洲齋写楽の役者絵 → 作者は？ 現存する一番古い芝居小屋のある都道府県は？
- H 2 5 富岡製糸場・下関条約講和会議の様子・八幡製鉄所・大日本帝国憲法発布の様子
→ 富岡製糸場・下関講和会議の様子の関係の深い場所を日本地図より選択
→ 古いものから時代順に並べ替える
- H 2 4 古墳のはにわ・古墳の副葬品である鉄剣や鉄兜
→ この2つの写真の時代を説明した文を選択
- H 2 3 はにわ・土偶・銅鐸・縄文土器・石包丁
→ 縄文時代の内容を説明した文章があり、その時代と写真とをつなげる
- H 2 2 民政派の演説の様子・大日本帝国憲法発布の様子・ビスマルクを崇拝する伊藤博文の風刺画・ノルマントン号事件の絵の4つがあり、この中から「五日市憲法」と最も関係のあるものを選択する
日清戦争の風刺画 → 図の魚と人物はどの国を表しているか？
- H 1 9 金銅製のかんむりの写真 → これが発掘され古墳の名前を書く＝藤ノ木古墳
- H 1 8 源氏と平氏の最後の戦い・元寇・文永の役・シャクシャインの蜂起・原爆投下後の原爆ドーム
→ おこった順に並べる
→ また、それぞれの「絵や写真」に設問がある

「絵」「写真」のポイントは、「絵」「写真」にヒントがあるかどうかを確認する。

例えば、H 3 0 の平治物語絵巻なら、「絵」に平治物語絵巻と記載されている。そこから、平治の乱
→ 平清盛の設問に派生すると予想がつく。

しかしながら、H 2 6 の東洲齋写楽の役者絵、H 2 5 の下関講和会議の様子はどの説明もない。ヒントもないなか、全く見たことのない絵が出題されてしまったらお手上げである。

青学の対策として常々意識しなければならないのは、「絵」「写真」。ヒントはないことが多い。普段問題を解くとき、「絵」「写真」があれば切り抜いてストックノートにまとめておくこと。

時間配分には要注意！

地理は比較的時間がかかる問題が出題され、歴史の時間がなくなるのが出題者の意図。

そのことにより、公民や時事の解答時間も圧迫される。

青学は毎年の大問の構成（地理→歴史→公民・時事）はほぼ変わらない。そのため、あらかじめ○分で解く（○分以上はかけられない）ことを予想できる（例：慶應中等部は問題の構成が毎年バラバラなので時間配分が予測できないが、青学はできる）。青学は試験の時間が25分しかないため、時間配分は意識して取り組むことが重要。

過去問をやるとき（模試のとき）には時間をはかって取り組んでみて下さい。

公民のポイントと対策とは？

出題数が少ない上、範囲が広いのが難点

公民だけの出題数をみると問題数30～40問中、1～4問程度しかない。

一方で「社会保障」「国債」「住民投票」「景気」など1回しか出題されていない分野もあり、公民の勉強の時間をどこまでかけていいかが悩みどころ。

まずは出る分野（それに関する時事）を優先的におこない、その後、広範囲に裾野を広げていくことをすすめます。

問題の構成と時間配分

問題の構成は、地理→歴史→公民・時事の順で出題される。

試験の時間が25分であり、地理と歴史で時間をとりすぎてしまうと公民に時間をかけられなくなる。青学は、慶應中等部のように問題の構成が毎年バラバラで、時間配分を予測できない学校ではないため、過去問を通じて構成になれ、時間配分を意識した演習の取り組みをするようにしましょう。

難易度は？

レベルは基本問題が中心。応用よりも基本を徹底忠実にやる

出題方法は「正誤問題」が9割

文章の空欄補充などもあるが、正誤問題の割合が突出している。

正誤問題を攻略するためには、「内容の理解」を徹底することが大切

やってはいけない勉強とは？

やってはいけない勉強＝青学の傾向を無視した勉強＝点数をとるのに効率の悪い勉強

「一問一答のみの勉強」「応用（難問）」「理解しない勉強」

青学の公民は正誤が中心のため、勉強は「内容を理解」することに重点をおくこと

公民の出る分野

公民に出る分野を押さえることが重要です。

理由としては、事前に知ることによって問題を解くスピードを速くする（試験時間が短いため、解くスピードを速められるかがカギ。そのためにも事前の知識の準備が重要不可欠）
事前に出る分野を知ること、ミスや誤答を減らすことができるからです。

●日本国憲法（三大原則・三大義務・基本的人権）

●国会

●内閣

●裁判所

●選挙

●社会保障

●国債・財政・税

●国連

これらが出題の中心となっている

公民の勉強は時事をからめることが重要

具体的には、公民の出る分野に「選挙」があるが、選挙は教科書的な内容と時事の内容を同時にやることが重要

「選挙」と「国連」の分野は、公民分野と時事分野を両方勉強する！

公民の「選挙」と「国連」の分野は、教科書的な内容を勉強することはもちろん、時事の内容を同時にやること。過去問の傾向をみるとどちらからも頻出しています。

時事のポイントと対策とは？

青学の時事の傾向

H30年より以前（H29・28・27・・・）は大問6・7など最後の大問に時事がまとめて出題されていた。

H30は大問1の地理に、大問2の公民に時事が組み込まれていた。

H31も歴史（潜伏キリシタン遺跡）・公民（参議院選）に組み込まれていた。

R2は地理にプラスチックの輸入規制とその条約名・アメリカのシェール革命・オリンピックの開会式に伴うもともとの祝日の移動について歴史の年表問題から出題・昨年参議院選挙後の国会の種類と改正された議員定数・消費税10%の文章の正誤・アフガニスタンで医療活動に従事していた日本人の名前

また、環境問題（プラスチック）が最後の大問に出題されていた。

青学の時事特有のクセとは？

青学は時事問題に傾向があります。つまり、時事に出やすい分野と出にくい分野があるのです。

一般的に、時事問題に出題の傾向はありません。

青学の時事について、傾向があるということはそこをやれば点数につながるというわけです。

時事の「出る分野」

- 核について（原発・核兵器など）
- 選挙
- 世界遺産
- 世界の出来事
- 国連に関すること
- 環境問題
- 自由貿易
- 景気・財政・社会保障（派生問題で出やすい）
- オリンピック

時事の難易度は？

基本問題が中心だが、年度によっては高いものも出題される。

近年はその傾向が顕著。

例： H31（マイクロ）プラスチック

時事で「地図の位置」が出題される！

原発再稼働の発電所の場所

キューバの場所

ニュージーランドの場所

ロシアのウクライナ介入の場所

ユーロ危機の2つの国

シリアの場所

時事の出題の割合

全体の小問30～40問中、3～5問出題。

時事の対策

①時事問題対策は必ずやること。

②具体的にやるべきことは

(1) 基本事項の確認（11月発売の時事の本がおすすめ）

(2) 出題分野はより多くの時間をかける。まずは出る分野を中心に勉強する

時事問題の出題範囲

学校によっては「数年前」の時事も出題することもあります。

青山学院中等部はその年の出来事（試験のある前の年の4月～12月と、参議院選挙がある年は次の年の7月の選挙の内容まで出題される）を押さえれば大丈夫です。

時事問題の対策でやってはいけないこと

青学には「時事」が出ます。ところが、時事が出るからといって勉強方法を間違ってしまうと点数はとることはできません。

青学の時事の勉強で大切なことは？

- ① 基本が出る
- ② 出る分野を知り、そこを重点的にやる＝受験勉強
- ③ 地図で場所を知ること（特に国の場所）
- ④ 漢字で書けるようにする

逆に言うと、これら4つのことを無視したような勉強、「我流でやる」「応用ばかりやる」「細かいところまで必死に覚える」「地図を確認しない」「漢字書く勉強をしていない」は点数が伸びにくいのです。

時事対策で失敗したくないなら（青学では3～5問出題されます）、お子さんが時事対策でどのような勉強をしているのか確認してみてください。

公民と時事について（まとめ）

公民（時事）の出題割合

公民と時事問題は重なるためひとくくりで見えていきます。

R2 小問数は7問。そのうち公民の設問は2問。あとは時事問題。

H31 小問数は7問。そのうち公民の設問は3問。あとは時事問題

H30の小問数は7問。そのうち公民の設問は1問。あとは時事問題。H29・28も同様

H27は公民が4問で時事が3問。

公民・時事は30～40問の小問数の中で7問程度の出題。

しかし、そこを落としたら不合格。

公民（時事）の勉強方法とは？

おそらくほとんどの受験生が公民や時事において「何」を勉強していいかわからず、非効率な勉強をしている。

では、どこを勉強すればいいのか？

時事は「核」「選挙」なら時事的要素「世界の出来事」「世界遺産」を中心に！地図も！

公民は「国会なら法案を！」「国連なら数字を！」

まずはそこをやる。なぜなら過去の傾向がそうだから。

効率よく勉強し、点数を取りたいなら「傾向にのっとった勉強をすること」これが受験勉強であり、勉強のやり方です。

ほとんどの受験生は押さえるポイントがつかめず、広範囲にやる。絞り込めず、ダラダラやるから頭に入らず、点数も取れないのです。しかもこの時期は受験の追い込み時期。算数や国語で頭がいっぱいになり、公民や時事の時間すら取れないのです

たった7問に対する戦略的な勉強をせず、時間ばかりかけているような勉強をしていては点数を落とし、不合格になってしまうのです。

浦和明の星女子

15年間の入試分析

社会科の傾向と対策とは？

浦和明の星女子中の社会科のポイント

試験の特徴—試験時間・配点・問題数

試験時間は25分（理科と合わせて50分）

50点満点

大問は平均2つ

全小問数は約30～35問

1問に45秒程度

合否は5問ミスが分かれ目

浦和明の星の合格点をみると、社会科は4問ミスまでなら合格点でいますが、5問ミスとなると年度によっては不合格の可能性もあります。一問一問が非常に重く重要な試験であるということのを思い、日々の勉強、本番に臨んで下さい。

浦和明の星女子の社会科の難易度は？

近年、難易度が上昇している。浦和明の星が第一志望ではなく、第二、第三志望で、模試の結果などから「受かると思う」「判定は大丈夫」と思っている受験生は注意した方がいいです。なぜなら、浦和明の星は難易度が上昇していること、また、偏差値が高いか低いかではなく、入試に独特のクセがあり、それを攻略できないと落ちる可能性が十分あるということを理解していただきたいのです。第一志望校より偏差値が低い、模試の判定から問題なしと思っている方、浦和明の星の入試が難しくなっていることをご存知でしょうか？また、浦和明の星の「クセ」の対策はしているでしょうか？

受験校を「偏差値」「模試の判定」で勝手に判断すると危険です。大切なのは、難易度やクセを頭に入れ、7～8割とれる勉強（受験勉強）をしているかどうか肝心なのです。

正誤問題を攻略できるかどうか、合否の分かれ目

正誤問題が非常に多いのが特徴。解く時間がかかること、また正誤問題の出来不出来が合否を左右する。そのため普段から正誤問題の対策が必須。

地理のポイントと対策とは？

地理のポイント

地理の問題数は、10～13問。

地理にかけられる時間は約7分～8分。

1問にかけられる時間は45秒程度。スピードが非常に重要。

頭に入れた知識を、「正確に」「迅速に」解答につなげるかどうか、情報処理能力が試される。

正誤問題が頻出！解くにはスピードと正確さが大切

1問に45秒程度しかないため、ア～エの選択肢をそれぞれ読み取るのに

1つの選択肢を読み取るのに10秒程度しかとれない。

選択肢を行ったり来たりして考える時間はない。

選択肢を一つひとつ丁寧に正確に確認し、一発で解答を出すこと。

見直す時間はほぼないと思っていた方がよいです。

漢字指定がある

浦和明の星女子中では90～95%の問題が「記号選択」。

しかし、漢字指定もあるため（漢字の指定自体は頻度的に2年に1回1問程度）、

頻度的、問題数的には漢字指定は少ないが、普段の勉強は漢字にて書くようにすることが重要

（漢字自体易しいので、書けないと差がつく）

→ 漢字指定の例：（限界）集落・扇状地・（防風）林など。

地理の出る分野

- 地形図 → 入試では2回に1回の割合で出題
- 埼玉県に関するもの → 高速道路・都市が出る！
- 都道府県に関すること
 - 北海道・青森県・秋田県・宮城県・千葉県・福井県・兵庫県・山口県は過去2回以上出題
- 世界の国 → 国の場所・特徴・国と国の接し方・州や協定にどんな国があるか
- 貿易輸出品 → グラフ・表が出る！
- 農産物・畜産物（都道府県生産順位 → グラフ・表が出る！）
- 人口について → グラフ・表が出る！
- 外国人について（外国人観光客の地域別順位 → グラフ・表が出る！）
- 電力の構成・作られ方（日本の電力の構成・発電量の推移→ グラフ・表が出る！）
- 自給率
- 緯度
- 政令指定都市
- 工業・地場産業
- 風・気候について
- 伝統工芸品
- ドイツについて → 歴史もからめ、ドイツが頻出！

地形図が超頻出！

地形図は「読み取り（地図記号は必須）」「標高」

→ 入試では2回に1回の割合で出るほど頻出の高い分野。

→ 入試に臨むポイントとして、地形図の読み取りに時間をかけていると他の問題で時間が足りなくなるので、時間配分の感覚が大切（地形図の小問数はせいぜい3問程度。この3問をどれだけの時間で終わらせることができるかが、重要である）

ふだんの勉強では「地形図」の読み取りには慣れておくこと（素早く正確に解くために、普段から徹底した対策をすること）

埼玉県に関するものが出る！

埼玉のもの（人口・面積・都市・工業・高速道路）をまとめておくこと

- 高速道路（関東地方を通る高速道路。とくに埼玉県を通る高速道路は重要）
- 都市（埼玉県の都市の内容を把握しておく：さいたま市、深谷市、和光市など）
- 埼玉県に関する歴史上の人物（松平信綱、渋沢栄一）

都道府県が出る！正誤で頻出！

- 都道府県で「〇〇1位」のものはよく出る
- 都道府県の歴史と絡めて出題されやすい
- 北海道・青森県・秋田県・宮城県・千葉県・福井県・兵庫県・山口県は過去2回以上出題されている

海外の国が出る！

海外の国をやっておかないと試験に太刀打ちできない！

- 国の場所（地図で確認）
- 国の特徴
- その年（時事）で取り上げられた国のことが出題されやすい
- どんな国が州・地域協定に含んでいるか
- 国と国がどのように接しているか

グラフ・表・データに強くなること！

読み取る力がない＝試験時間が足りなくなる

- 外国からの資源の輸入先のグラフ
- 農産物の生産順位（データ）
- 人口密度の表・人口ピラミッド・人口構成
- 日本の電力の構成・発電量の推移
- 外国人観光客の地域別順位

出にくい分野はこれ！

出にくい分野は最後にやる！まずは出やすい分野から勉強することが大切！

- 雨温図
- 新幹線に関するもの
- 地図の読み取り（山・川・平野・半島）
- 論述問題（記述問題）

歴史のポイントと対策とは？

歴史のポイント

全小問数は約30～35問。そのうち、歴史の問題数は、13～15問。

地理や公民（時事）に比べ、歴史の割合が高いのが特徴。

歴史にかけられる時間は約10分。

1問にかけられる時間は45秒程度。スピードが非常に重要。

知識を頭に入れ、解答につなげる情報処理能力が試される。

試験時間の割に問題文が長い

試験は500～1000文字の問題文、もしくは、

1ページにわたる会話文が出題され、そこに空欄や下線部がある。

出題方法としては、

→ 空欄補充・四択問題

→ 正誤問題（正誤は見直す時間はほぼない）

正誤問題が頻出！解くにはスピードと正確さが大切

1問に45秒程度しかないため、ア～エの選択肢をそれぞれ読み取るのに

10秒ずつしかとれない。

そのため、選択肢を行ったり来たりして考える時間はない。

選択肢を一つひとつ丁寧に正確に確認し、一発で解答を出すこと。

見直す時間はない。

歴史の出る時代の順位

1位：江戸時代 2位：明治時代 3位：奈良・平安時代 4位：戦後史

時代ごとのポイント

縄文 出ると難易度の高いものが出る → 丸木舟・縄文海進
弥生 「卑弥呼」「米に関する内容が出題」「吉野ヶ里遺跡」
古墳 「ヤマト政権の内容が細かく出題」「磐井の乱」「仏教伝来」
飛鳥 「聖徳太子に関する出題が大半」「蘇我馬子もよく出る」
奈良 「奈良時代の寺」「大宝律令の内容が応用レベル」「聖武天皇関連が出題」
平安 「国風文化・藤原氏の頻度が高い！」
鎌倉 「元寇」「幕府の位・役職」
室町 「一揆」「勘合貿易」「足利学校」
安土桃山 「安土桃山時代の60%が豊富秀吉に関するもの」
江戸 「慶長・元和・寛永時期の出来事」「三代改革」「身分・役職・商業・生活」
明治 「1871～73年の出来事」「日清～韓国併合まで・統監府は頻出」「文化」
大正 「第一次対戦の日本・間の出来事・あとの出来事」「関東大震災」
昭和 「満州のこと」「日独伊三国同盟」「ポツダム宣言」頻度が低い
戦後 「民主化」「戦後の外交・条約」「2000年以降の出来事」

時代ごとのクセを知る

例：古墳時代は難易度が高いので注意！

- ① ヤマト政権の成立・・・成立した年代・場所が細かく聞かれる
- ② 磐井の乱
- ③ 仏教の伝来・・・どこの国からもたらされたか？・いつ？・誰が？・当時の日本の天皇は？

→ ヤマト政権の成立は細かいところまで内容を理解しておくこと

「磐井の乱」は他の学校では聞かれない浦和明の星の独特のクセが出る

このようなところをしっかりとやっているかどうか差につながる

→ 古墳時代の全体を勉強したあと、①②③に力をかけること

江戸時代は他の学校に比べ、非常にクセがある

① 慶長・元和・寛永のできごとが出る！

この時期の出来事の並べ替えが出題。

正誤問題で、本来は「慶長」の時期のものを「慶安」となっていた。

クセは何度も出る。

特に元号が平成から令和に変わったのでここは狙われやすい。

この時期のできごとを時系列に整理しておくこと。

② よく出る人物

(1) 三大改革が出る！

徳川吉宗（5回以上）・松平定信（1回） 問題の選択肢としては5回以上

水野忠邦（1回）

(2) 新井白石（2回）

(3) ペリー（2回）

(4) 徳川慶喜＝水戸藩＝大政奉還（3回）

(5) 文化史

十返舎一九・菱川師宣・シーボルト

③ 役職・商業・生活・航路・五街道

この分野は非常に難易度が高い！

◆役職

→ 幕府の直轄地を管理している奉行の種類は？正誤問題

→ 将軍の補佐となる老中はどの人々から選出したの？正誤問題

→ 江戸時代の老中・奉行・評定所はどんな仕事？正誤問題

◆商業

→ 江戸時代に作られた貨幣の流通の正誤問題

◆生活

→ 江戸の町の水は玉川上水であることが出題

◆航路

→ 西廻り航路の港名が出題

◆五街道

→ 碓氷峠は現在のどの都道府県を通るかの正誤問題

重要ポイント

江戸時代は歴史の中でも一番出る割合が高いので勉強の時間をかけること。

出題がほかの学校と比べて非常にクセがある。

とくに①④は他の学校はあつかわない問題であるため、江戸時代だけの勉強をしても点数に直結しない。

重要なのは①④のクセに適した勉強をやること。これが受験勉強。

浦和明の星女子中の歴史の特有のクセとは？

- 磐井の乱（古墳時代）
- キリスト教に関するもの
- 統監府 ← 伊藤博文や統監府の年号が頻出
- お金に関するもの
- 武士団・武家政権について

クセを知ること、問題を速く解くのにつながり、ミス・誤答を防ぐのに役立つ

歴史には出にくい分野がある

- 記述（論述）問題は出ない
- 歴史の史料問題は出にくい

歴史の絵・写真は出る（頻度は低い）

- 過去には、興福寺の阿修羅像・興福寺の仏頭・シルクロードの宝物が出題

場所（地図より選ぶ）を聞く問題が出る（頻度は低い）

- 源平合戦の戦いの場所（一の谷の戦いの場所）が出題
- 備前について現在の場所が出題

公民（時事）のポイント

公民のポイント

全小問数は約30～35問のうち、公民（時事）の問題数は、10問程度。

公民（時事）にかけられる時間は約6～7分。

1問にかけられる時間は45秒程度。スピードが非常に重要。

知識を頭に入れ、解答につなげる情報処理能力が試される。

公民は時事と融合しているため、公民単独で出題されるときもあれば、公民と時事、もしくは時事だけで出るときもある。

公民で出る分野

- 日本国憲法全般
- 平和主義
- 参議院について
- 選挙全般・
- 労働について
- 外国人について（観光客・日本における権利・外国人労働者）
- オリンピックのこと
- 貿易について
- 湾岸戦争とPKO
- 国連について
- ノーベル平和賞

これらの頻度がものすごい高い

公民の出にくい分野とは？

国会・内閣・裁判所・地方自治・財政・少子高齢化

これらの分野は過去に出題されているが、頻度が非常に低いのが特徴。

公民の対策の重要ポイント

公民の「正誤問題」は見分けるのが難しい問題が多い。

そのため、試験では時間がかかる（公民には6～7分しかかけられないので、あせってやるとミスをする。そのため、公民分野は差がつきやすいところでもある。

普段の勉強で大切なのは、内容を「理解」すること。

一問一答だけの勉強法は対策にならない。内容を理解することが最重要である。

例：

日本の憲法や法律に定められた制度について正しいもの

→ 日本国籍をもたない外国人でも公立の小中に通うことを認めている

選挙区において法の下での平等に反する状態におかれている理由として正しいもの

→ 選挙区を定めた後、選挙区では人口の減少や増加がおこることがあるため

時事対策のポイント

時事の出題の仕方とは？

問題文（見た目）は時事であるが、出題の内容は歴史・地理・公民・時事を聞いてくる。つまり、時事の派生問題ができるかどうか合格のカギとなる。

出題の事例

9月に自由民主党の総選挙にて安倍晋三が連続3選（問題文は時事）

↓

自由民主党の初代総裁は誰か（歴史からの出題）

時事の対策の重要ポイント

- 時事は日本・世界の時事すべてにわたって出る
- 時事に傾向はない（青山学院中等部のような時事の傾向はない）
- 時事は応用のような細かい語句を覚える必要はない。
- 時事は内容を理解し、歴史・地理・公民がどのように結びついているか、いわゆる派生を意識する。結びつきがわからなければ先生に聞くこと。
- 時事の対策は一問一答だけでは不十分。内容理解が最重要。
- 時事そのものではなく派生内容が問われるため、対策がしづらく差がつきやすいところでもある。

地理・歴史・公民の横断的な分野も出る

浦和明けの星女子中では、

- ドイツ
- オリンピック
- ノーベル平和賞
- 沖縄について
- 都道府県
- 埼玉県について

について地理・歴史・公民（時事）に関係なく、横断的に出題される

ドイツの例：

- H31 ドイツへの移住者はどこの国が多いか。出身者を示したグラフを選択
- H28 ドイツについて述べたものの内容一致 → ヒトラーの文章を選択
- H27 ウクライナ（時事）と国境を接していない国は？ → ドイツが聞かれる
お雇い外国人について → ドイツのナウマン
- H26 ドイツと日本の関係
→ 第一次対戦中、日本はドイツが中国に持つ山東省の権益を受け継ぐことを要求した
- H25 世界の人口について表から誤りを読み取る
→ ドイツは人口が増加し続けている

重要ポイント

ドイツについて、歴史（江戸～）をまとめておく。

ドイツについて、世界の地理から国の位置関係・人口が頻出している。

また、面積・工業・環境問題・自動車などもおさえておく。